



HP Pro スキャナへようこそ

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

このヘルプでは、HP Pro スキャナを使用するのに必要なすべての情報について解説します。

情報は3つのカテゴリに分かれています。カテゴリを選択するには、各トピックの左側にあるナビゲーションブロックを使用してください。

実際に使用する前に行う必要のあるシステムのセットアップ手順については、「[初めて使用する前に](#)」を参照してください。

また、最高のカラー品質を得る方法については、「[カラー精度の最適化](#)」を参照してください。

初めて使用する前に

初めてコピーを取る前に必要なシステムのセットアップ手順について説明します。プリンタのセットアップ、初期保守、およびメディアプロファイルの作成などの作業があります。

[HP Pro スキャナを初めて使用する前に](#)

使用方法...

...原稿の取りつけ方法、コピーの取り方、スキャナの保守方法について説明します。

[...使用方法...](#)

問題の解決...

...コピー/スキャン中に発生した問題の解決方法を説明します。

[...問題の解決...](#)

ナビゲーションブロックから索引(アルファベットおよび50音順)にアクセスすることもでき、トピックを簡単に見つけることができます。

基本的な作業手順は、スキャナに付属の『クイックレファレンスガイド』にも記載されています。

HP ワイドフォーマット プリンタの詳細については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



手順：?(操作手順)

HP Pro スキャナ

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ アルファベット索引

[コピーを作成するには?](#)

(クイックコピー、テンプレートの選択、入出力サイズの設定、拡大縮小、メディアプロファイルの選択、品質、バッチ、複製の保存...)

[スキャンしてファイルに保存するには](#)

(一般的な手順、原稿のテンプレート、入力サイズ、サイズ変更、拡大縮小、解像度、品質、バッチ、スキャンしてフォルダに保存、スキャンして電子メール送信、マルチページファイル...)

[ファイルから印刷](#)

(ファイルから印刷、印刷リストの設定と保守、コンピュータからのファイルの削除...)

[システム上のファイルを管理する](#)

(ファイルの参照、ファイルの移動、ファイル名の変更、ファイルの削除、ファイルのコピー)

[コピーオプションとツールの使用方法](#)

(プレビュー、部数、レイアウト、アライメント、印刷キュー、マージン、回転、ページ順序、排紙先...)

[コピーツールのカスタマイズ方法](#)

(原稿のテンプレートの作成、サイズプリセット、メディアプロファイルの作成...)

[システム保守/修復/アップデートの実行方法](#)

(保守、キャリブレーション、部品の交換、修復、ソフトウェアアップデート、シャットダウン、スキャナステータスの参照、デバッグファイルの作成(トラブルシューティング)...)

[システムの設定方法](#)

(スキャナ設定オプション、環境設定、インタフェースオプション、アカウントリング、ネットワーク接続、プリンタのインストール、日付と時刻、言語...)

[厚い原稿をスキャン/コピーするには](#)

(厚い原稿のコピー/スキャン、挿入スロットの高さの変更)

コピーするには

トピックを選択してください...

[...コピーの取り方](#)

[...原稿のテンプレートを選択](#)

[...入力サイズの設定](#)

[...出力サイズの設定](#)

[...メディアプロファイルの選択](#)

[...コピー品質の設定](#)

[...カラー精度の最適化](#)

[...拡大縮小の倍率の設定](#)

[...プリンタのメディア幅の設定](#)

[...すべての原稿のバッチコピー](#)

[...部単位コピー](#)

[...コピーの複製をファイルに保存するには](#)

スキャンしてファイルに保存するには

トピックを選択してください...

[...スキャンしてファイルに保存](#)

[...原稿のテンプレートを選択](#)

[...スキャン解像度の設定](#)

[...スキャン品質の設定](#)

[...原稿のサイズ\(入力サイズ\)の設定](#)

[...\[サイズ変更\]オプションを使用した出力サイズの設定](#)

[...出力サイズの設定](#)

[...倍率の設定](#)

[...ネットワークフォルダにスキャンファイルを保存してアクセスする](#)

[...スキャンしてFTPサーバに保存](#)

[...原稿のバッチ全体をスキャンしてファイルに保存](#)

[...コピーの複製をファイルに保存](#)

[...システム上のイメージファイルの管理](#)

[...スキャンして電子メール送信](#)

[...ファイルの自動命名設定](#)

[...複数ページの単一ファイルへのスキャン](#)

ファイルから印刷するには

トピックを選択してください...

[...ファイルから印刷](#)

[...ファイルから印刷するときの品質の設定](#)

[...印刷リストの設定](#)

[...印刷リストの管理](#)

システム上のファイルを管理するには

トピックを選択してください...

[...システム上のイメージファイルの管理](#)

[...ネットワークフォルダへのアクセス...](#)

[...\[ファイル管理\]ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択](#)

[...イメージファイルのコピー...](#)

[...イメージファイルの移動...](#)

[...イメージファイルの削除...](#)

[...イメージファイルの名前の変更...](#)

[...新しいファイルフォルダの作成...](#)

[...印刷リストへのイメージファイルの追加...](#)

コピーオプションとツールの使用方法

トピックを選択してください...

[...プレビューツールの使い方](#)

[...コピー部数の設定](#)

[...複数のプリンタでの印刷](#)

[...ネスティング](#)

[...パネリング](#)

[...パネリングとタイリングのオプションの設定とパネルの組み立て](#)

[...イメージを自動的に揃える](#)

[...印刷キューの表示](#)

[...出力マージンの設定](#)

[...プリンタのマージンによる内容のクリップ](#)

[...縦方向入力および横方向出力](#)

[...出力の90°回転](#)

[...ページ順序の設定](#)

[...出力先の設定](#)

[...折り畳みオプションの設定](#)

コピーツールのカスタマイズ方法

トピックを選択してください...

[...原稿のテンプレートの定義](#)

[...原稿のタイプの設定](#)

[...任意の倍率の作成](#)

[...カスタム用紙サイズプリセット\(入力サイズ/出力サイズ\)の作成](#)

[...メディアプロファイルの作成](#)

システム保守/修復/アップデートの実行方法

トピックを選択してください...

[...保守手順](#)

[...スキャナメッセージの表示](#)

[...スキャナ部品の交換](#)

[...ガラスプレートの交換 - HP SD Pro スキャナ](#)

[...ガラスプレートの交換 - HP HD Pro スキャナ](#)

[...カバー裏にある白いプラテンの交換](#)

[...スキャナランプの交換](#)

[...スキャナシステムの電源オン/オフタイマーの設定](#)

[...システムの修復/ソフトウェアのアップデート](#)

[...システムのシャットダウン](#)

[...スキャナに関する情報の表示](#)

[...サポート/デバッグ用データファイルの作成および取得](#)

[...ヘルプページの印刷](#)

システムの設定方法

トピックを選択してください...

[...環境の設定](#)

[...ユーザインタフェースオプションの設定](#)

[...原稿の取りつけ方法\(自動または手動\)](#)

[...メディアオフセットの設定](#)

[...厚い原稿の場合に必要な調整処理](#)

[...デフォルトの管理者パスワードの変更](#)

[...ネットワークへの接続](#)

[...ネットワークの設定](#)

[...別のコンピュータから共有ファイルにアクセス](#)

[...自動電源オン/オフ](#)

[...アカウントの使用](#)

[...アカウントの作成/削除/無効化](#)

[...既存のアカウントの選択/有効化](#)

[...インタフェース言語の変更](#)

[...プリンタの設置とプリンタドライバのインストール](#)

[...日付と時刻の設定](#)

[...ネットワーク接続の保存の有効化](#)

厚い原稿をコピー/スキャンするには

トピックを選択してください...

[...厚い原稿のコピー/スキャン](#)

[...挿入スロットの高さの変更 \(厚い原稿のスキャン\)](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

使用方法...保守手順

保守作業を行う際には、[スキャン領域のクリーニング](#)から[カメラのアライメントとキャリブレーション](#)まで、すべての保守手順を実施する必要があります。

スキャナの保守作業は、月に1回以上実施することをお勧めします。

スキャン領域のクリーニング

1. スキャナの電源をオフにして、スキャナの電源ケーブルを外します。

2. スキャナのカバーを開きます。

- 2個の解除ボタンを押してロックを外し、カバーを開きます。解除ボタンは、スキャナのモデルに応じて、スキャン領域カバーの側面にある挿入スロットの近くか、カバーの後ろにあります。
- これでスキャン領域が解放され、クリーニングを実行できます。

3. ガラス プレートを丁寧に拭きます。

糸くずの出ない布と、刺激が少なく研磨剤が入っていないガラス クリーナを使用してガラスをクリーニングします。

注意：研磨剤、アセトン、ベンゼン、またはこれらの薬品を含んでいる液状クリーナは使用しないでください。ガラスプレートやスキャナに液状クリーナを直接吹き付けしないでください。

注意：ガラスプレートの寿命は、ガラスプレートを通過する用紙のタイプによって異なります。マイラーのような研磨紙は劣化が早まる原因になります。このような場合、ガラスプレートの交換はお客様の責任になります。

4. 保守キットに含まれている布と同様の、糸くずが出ない乾いた布を使用してガラスを拭き、水分を完全に取除きます。

5. カバー裏の白いプラテン/白いローラをクリーニングします。

白い圧力プラテンがついたスキャナの場合、カバー裏の白いプラテン(白い金属部分)は、スキャン領域カバーに固定されています。カバーを押さえながらクリーニングします。警告：白いプラテンは取り外してクリーニングしないでください。取り外すのは、[交換する](#)場合に限りです。

白い圧力ローラがついたスキャナの場合、白いローラは搬送ローラの間下部にあります。

糸くずの出ない布と、刺激が少なく研磨剤の入っていないガラスクリーナを使用して、白いプラテンとローラを拭きます。布にクリーナを付けてプラテンの白い部分を拭いてください。

6. 上下の搬送ローラと周辺部をクリーニングします。

糸くずの出ない布と、刺激が少なく研磨剤の入っていないガラスクリーナを使用してローラを拭きます。

注意：研磨剤、アセトン、ベンゼン、またはこれらの薬品を含んでいる液状クリーナは使用しないでください。

7. 糸くずの出ない乾いた布を使用して白いプラテン、搬送ローラ、および周辺部を拭き、水分を完全に取り除きます。

8. スキャナの表面もクリーニングして、汚れや埃が原稿と一緒にスキャン領域に入らないようにします。

9. スキャナ カバーを閉じます。カバーがロックされます。

これでスキャナのキャリブレーションを行うことができますようになりました。

カメラのキャリブレーション(カメラのアライメントを含む)

キャリブレーションを行う前に、スキャン領域のクリーニン

グを実行したことを確認してください。スキャン領域が汚れていると、キャリブレーションが正しく行われません。カメラのキャリブレーションは、完全に自動化された処理で、画面の指示に従って開始するだけで自動的に実行されます。


1. スキャナの電源ケーブルを接続します。

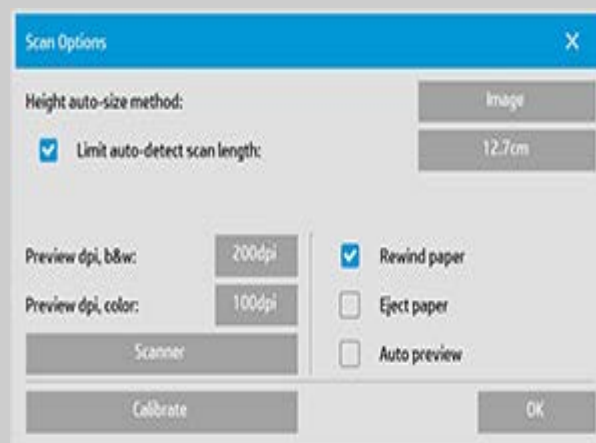
2. スキャナの電源をオンにします。

3. スキャナがウォームアップするまで待ちます (HP HD Pro スキャナの場合のみ)。

カメラのキャリブレーションは、スキャナをオンにしてから1時間以上経過してから実行してください。スキャナの電源をオンにした直後は、ランプの輝度が微妙に変化したりカメラが移動することがあります。ウォームアップ時間を十分にとることで、ランプの状態とカメラの高さが安定します。

4. [セットアップ] タブを選択します。

5.  -> [スキャニング] を押します。



6. [補正] ボタンを押して、キャリブレーションウィザードを開始します。



【カメラ位置調整】と【完全補正】のいずれかを選択します。

- カメラ位置調整では、イメージスティッチングが正しく行われるように水平キャプチャが調整されます。
- 完全補正では、同じセッションの中でカメラ位置調整、白/黒補正、およびカラー補正が行われます。

7. システムに同梱されていたキャリブレーションシートを挿入します。

シートの中心矢印をスキャナの中心矢印に揃えて、シートをスキャナに給紙します。

8. キャリブレーションが完了したら、キャリブレーションシートをスキャナから取り出して保護カバーまたはチューブに戻します。直射日光の当たらない乾燥した場所にキャリブレーションシートを保管します。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

コピーの取り方

コピーを取るには、以下の手順に従います。通常は、基本的なオプションは既に設定されており、変更する必要はありません。

コピーするには...

1. 原稿を取りつけます。原稿を送る方向に合わせてその最先端を、スキャナの挿入口に入れます。
2. 原稿を挿入スロットに入れ、開始位置に引き込まれるまでそっと差し込みます。
3. [コピー] タブで、[カラー] または [白黒] を選択します。これにより原稿のタイプが決定されます。
4. [原稿のタイプのテンプレート](#) を選択します。
5. コピーの [明度](#) を設定します。
6. コピー品質を設定するには、[品質] ボタンを押します。[こちら](#) を参照してください。
7. [入力サイズを設定します](#)。通常、入力サイズは原稿と同じサイズに設定します。原稿のサイズをスキャナに検出させることもできます。
8. コピーの [出力サイズ](#) を設定します。
9. [メディアの種類](#) を選択します。
10. [部数] を 2 以上に設定すると、[\[工合い\]](#) が設



定されます。

等倍でコピーする場合は、原稿のサイズを指定します。
[倍率]を使用してコピーのサイズを決定することもできます。

11. [コピー] ボタンを押します。



印刷する前にイメージをプレビューすることができます。プレビューには、コピーが実際に出力される状態 (WYSWYG) が表示されます。コピーのプレビューを読み込むには、[プレビュー] ボタンを押します。



[停止] ボタンを押すと、実行中のコピー処理をキャンセルまたは中止できます。このボタンを押して、読み込み中にイメージファイルのプレビューをキャンセルすることもできます。



[リセット] ボタンを押すと、それまでの設定をクリアして、アプリケーションのすべての設定をスキャナ ソフトウェアのデフォルト値にリセットできます。





挿入スロットの高さを変更するには (厚い原稿のスキャン)

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

注記：厚さの調整と以下の手順は、HP HD Pro スキャナのみにも適用されます

ボール紙、フォームボード、ゲイターボードなどの厚い原稿に印刷または貼付された文書や図面をスキャンすることが必要となる場合があります。このような原稿をスキャンするには、挿入口を原稿の厚さに合わせる必要があります。一部のスキャナモデルでは、圧力プラテンを原稿の厚さに合った高さまで上げること、この調整を行うことができます。

ご使用のスキャナにメディア厚自動調整機構 (ATAC: Automatic Thickness Adjustment Control) が搭載されている場合、下図に示す上下のキーがパネルにあります。

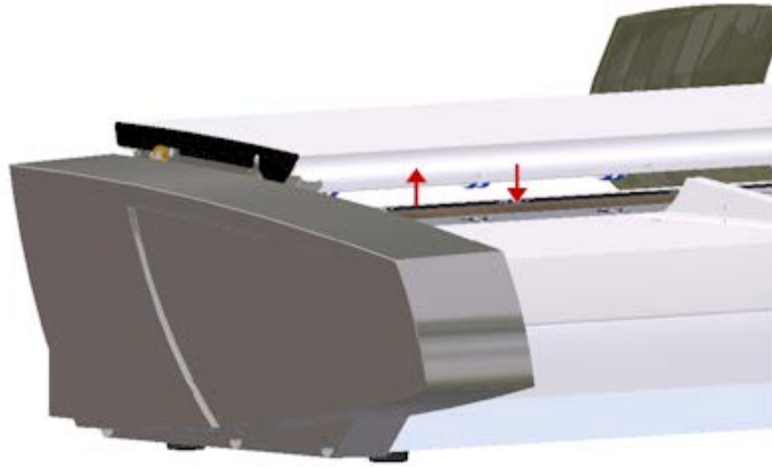


1. ATACの上キーを押して圧力プラテンを上げます。



2. ATACの下キーを押し、圧力プラテンを原稿の厚さに合わせます。

上下キーを使用して圧力プラテンを上げ下げすることにより、スキャナの挿入スロットのサイズ (圧力プラテンの高さ) を2mm~15mm (最大0.6インチ) の範囲で調整できます。2mm以下の厚さの原稿は、圧力プラテンを完全に下げた状態 (標準の位置) でスキャンしてください。原稿の厚さが2mmを超える場合は、ATAC機能を使用する必要があります。



挿入スロットの高さが「標準」になっていない場合は、タッチスクリーンのプレビューウィンドウの下に以下の警告が表示されます。

用紙ガイドの高さが拡張位置になっています

厚い原稿用に挿入スロットを調整するには...

1.オペレータパネル上のATACの上キーを押し続け、圧力プラテンを上げて、厚手の原稿が入るだけのスペースができるまで挿入スロットを広げます。

2.ATACインジケータが黄色で点滅し、スキャナがATACモードであることを示します。

3.厚手の原稿をまっすぐスキャンできるように均等に挿入します。

4.ATACの下キーを押し続け、圧力プラテンを原稿の上で止まるまで下げます。

5.圧力プラテンが正しい位置にセットされ、厚い原稿のスキャンが可能な状態になると、ATACインジケータの点滅が止まり、黄色に点灯したままになります。

6.スキャンが終了し、厚手の原稿を取り出したら、ATACの下キーを押し続け、圧力プラテンを標準位置に戻します。ATACインジケータLEDが消えます。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

厚い原稿をコピー/スキャンするには

厚い原稿をスキャンする必要がある場合は、以下のガイドラインに従ってください。

まず、厚い原稿に対応するように挿入スロットの高さを調節します。参照：

...[挿入スロットの高さの変更](#)

注記：厚さの調整と以下の手順は、HP HD Pro スキャナのみ適用されます

厚い原稿をスキャンするには、挿入スロットを広げる必要があります。これによって、カメラ間の境界線の自動制御（ステッチング）に影響が出ることがあります。補正の手順については以下を参照してください。

厚い原稿をコピーするには...


1. 挿入スロットの高さを原稿に合わせて調整します。調整方法については「[挿入スロットの高さの変更](#)」を参照してください。
2. テスト スキャンを実行します。

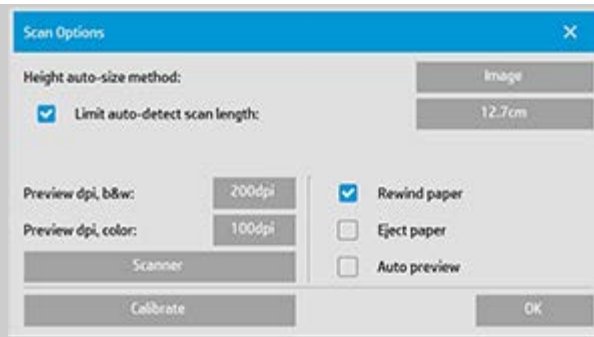
厚い原稿をスキャンする場合は、挿入および取り出し時に原稿を両手で支える必要があります。

ステッチング エラーが発生しているかどうかは、はっきりとした対角線が1つまたは複数あるイメージをスキャンすることで容易に確認できます。

通常、硬い原稿だけがステッチングに影響を与え、やわらかい原稿は厚さに関わらず正しくステッチされます。

線が均等になっていない場合は、以下の手順を実行してください。

3. [セットアップ] タブを選択します。
4.  > [スキャニング] を選択します。



5. [スキャナ] ボタンを選択します。



6. [標準以上の厚さ] ボタンを選択します。
7. [厚い原稿の処理設定を使用する] チェックボックスをオンにします。
8. スキャナの各カメラの値を変更します。通常、正の値のみを使用します。
9. テスト スキャンを実行し、線が正しくスティッチされるまで値を再調節します。
10. [OK] をクリックして設定を決定します。
11. 良好な結果が得られるまで上記の手順を繰り返します。





原稿のテンプレートを選択

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

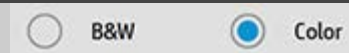
→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

原稿のタイプのテンプレートにより、入力する原稿が定義されます。原稿のタイプのテンプレートは、コピージョブにもスキャンしてファイルに保存するジョブにも使用できます（[コピー] タブおよび [スキャン] タブ）。

原稿のタイプのテンプレートを選択するには...

1. [白黒] または [カラー] を選択します。これによって、次の手順で表示される原稿のタイプのテンプレートが決まります。
2. [原稿のタイプ] ボタンを押します。
3. 原稿のタイプのテンプレートのリストから、現在の入力に最も近いテンプレートを選択します。手順¹で選択したカラーまたは白黒に従って、原稿のタイプのテンプレートが表示されます。



以下も参照してください。

...[原稿のテンプレートを定義するには...](#)

...[原稿のタイプのテンプレートを設定するには](#)





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

原稿のテンプレートの定義

原稿のタイプのテンプレートの設定に調整を加えても、その内容はプログラムを終了すると通常は破棄されます。ただし、新しい原稿のタイプのカスタムテンプレートとして、調整内容を保存することもできます。原稿のタイプのテンプレートは、コピー（[コピー] タブ）、スキャンしてファイルに保存（[スキャン] タブ）の両方に適用されます。

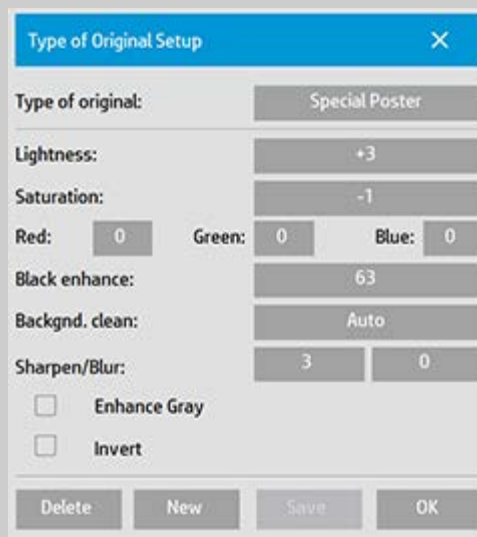
原稿のテンプレートを定義するには...

1. [コピー] タブまたは [スキャン] タブを押します。
2. コピーモードを [カラー] または [白黒] に設定します。

3. [原稿のタイプ] ボタンを押して、[原稿のタイプ(テンプレート)] メニューを表示します。



4. [ツール] ボタンを使用して、[原稿のタイプの設定] ダイアログを表示します。



コピーのプレビューが現在表示されている場合は、イメージフィルタプレビューと、変更の効果をオンラインで評価するための個別の画面を表示した「原稿のタイプの設定」ダイアログが表示されます。

5. 設定を行って、それらが現在の原稿に適切であることを確認したら、「新規」ボタンを押します。

テンプレートの設定については、以下を参照してください。

...[原稿のタイプのテンプレートを設定するには](#)

上のプレビューパネルには、テンプレート設定変更後のイメージの変更が表示されます。

6. 新しいテンプレートの名前を入力します。例えば「果物の写真」など、コピーの種類を表す名前を指定します。
7. [保存] ボタンを押して、新しい原稿のタイプのテンプレートを作成します。

新しい原稿のタイプのテンプレートが、既存のテンプレートのリストに追加されます。原稿に最も近い原稿のタイプを選択して、それを新しい名前で保存して必要に応じて変更することができます。プレビューを使用して設定をテストします。

現在の原稿のタイプのテンプレートの設定を変更して [OK] ボタンを押した場合、それらの値は現在のコピージョブでだけ使用されます。次回このテンプレートを呼び出すと、以前の設定が読み込まれます。

8. 完了したら [保存] ボタンを押します。
9. [OK] を押して終了します。

以下も参照してください。

...[原稿のタイプのテンプレートを選択するには](#)

...[原稿のタイプのテンプレートを設定するには](#)





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

入力サイズの設定

入力サイズを選択するには...

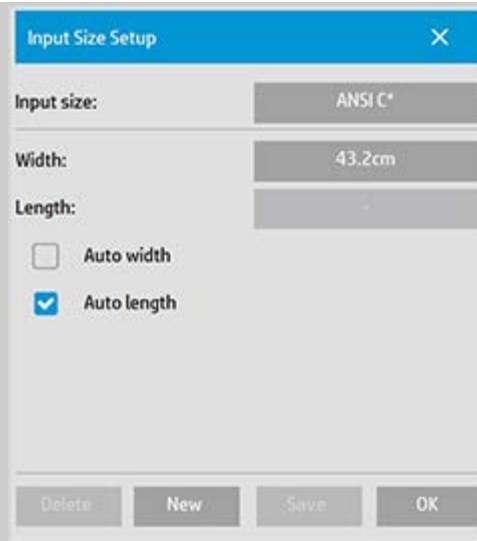
1. コピーを実行する場合は[コピー]タブを押し、スキャンしてファイルに保存する場合は[スキャン]タブを押します。
2. [入力サイズ] ボタン ([コピー] タブ) または [サイズ] ボタン ([スキャン] タブ) を押して、[入力サイズ] メニューを表示します。



入力サイズの自動サイズ検出機能を使用したり、プリセットされている標準サイズやカスタムサイズを選択できます。使用可能なサイズを表示するには、ダイアログの[入力サイズ] ボタンを押します。

3. 入力サイズを選択するか、[ツール] ボタンを使用して、[入力サイズの設定] ダイアログを表示します。





4. 入力サイズを設定するには、以下のいずれかの手順に従います。

- 幅と長さを指定します。原稿の幅は、スキャナの挿入スロットにあるルーラで確認できます。
- [幅を自動的に検出] または [長さを自動的に検出] を選択して、挿入した原稿の入力幅と長さ (あるいはそのいずれか) をスキャナに検出させます。
- 使用可能なサイズを表示するには、ダイアログの [入力サイズ] ボタンを押します。

[幅を自動的に検出] と [長さを自動的に検出] チェックボックスの両方をオンにして、入力サイズを完全に検出することもできます。自動サイズ検出では、原稿がプレスキャンされてからコピーが行われるため、手動でサイズを設定した場合よりも時間がかかります。

5. [OK] ボタンを押してメインの設定画面 ([コピー] タブまたは [スキャン] タブ) に戻ります。

設定を新しいサイズプリセットに保存することもできます。
「[カスタム用紙サイズの作成](#)」を参照してください。

倍率を使用して出力サイズを拡大縮小することもできます。
参照：

...[拡大縮小の倍率の設定](#)

以下も参照してください。

...[出力サイズの設定](#)





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

出力サイズを設定するには

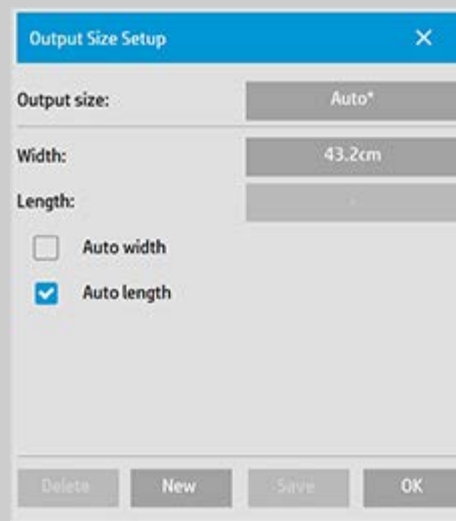
出力サイズを選択するには...

1. [コピー] タブを開いている場合は、[出力サイズ] -> [出力サイズ] を押して [出力サイズ] メニューを表示します。[スキャン] タブを開いている場合は、[サイズ変更] -> [サイズ] を押します。



自動サイズ検出機能を使用したり、プリセットされている標準サイズやカスタムサイズを選択したりできます。

2. 出力サイズを選択するか、[ツール] ボタンを使用して、[出力サイズの設定] ダイアログを表示します。



3. 出力サイズを設定するには、以下のいずれかの手順に従います。

- 1対1のコピーを作成するために、プログラムで入力サイズを使用して出力サイズとして使用する場合は、[自動]を選択します。
 - 出力サイズとしてリストから標準サイズを選択します。
 - カスタムサイズを作成して、プリセットとして保存できます。出力サイズを[幅]と[長さ]を設定して指定することができます。[ツール]ボタンを押して[出力サイズの設定]ダイアログを開きます。
4. [OK] ボタンを押して、[コピー] タブに戻ります。

倍率を使用して出力サイズを拡大縮小することもできます。

参照：

[...コピーの拡大縮小](#)

以下も参照してください。

[...入力サイズの設定](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



拡大縮小の倍率の設定

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

スキャンしてファイルに保存する際にコピーまたはイメージを拡大縮小するには...

1. 入力設定後、次のことを行います。[コピー] タブを開いている場合は、[出力サイズ] -> [拡大/縮小] を押します。[スキャン] タブを開いている場合は、[サイズ変更] -> [倍率] を押します。これで、あらかじめ定義された標準またはカスタムの倍率ファクタのリストが表示されます。
2. 目的に適した倍率値を選択します。倍率を100%にすると、等倍でコピーされます。100%未満の値を指定するとイメージが縮小され、100%を超える値を指定するとイメージが拡大されます。
3. 倍率を新しく定義するには、[ツール] ボタンを選択して [倍率の設定] ダイアログを表示します。[値] ボタンを使用すると、倍率を手動で設定できます。
4. あらかじめ定義された倍率のリストに新しい倍率を追加して保存するには、[新規] ボタンを押して新しい倍率の名前を入力します。次に [値] ボタンを押して値を入力します。最後に [保存] ボタンを押してリストに追加します。

ヒント：サイズの大きいコピーの縮小版をすばやく作成するには、[倍率] を 25% に設定します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

コピー部数の設定

コピー部数を設定するには...

幅の広い原稿のコピーには時間がかかります。ただしこのオプションを使用すれば、システムを無人で一晩中稼働させたり、他の作業に専念できるようになります。

1. 取りつけた原稿のコピーを複数作成する場合は、[コピー] タブの [部数] ボタンを押します。
2. 編集フィールドに部数を入力します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

プレビュー ツールを使用するには

Preview (プレビュー) ボタンは、それを押すたびにコピーのフレッシュなプレビューをロードします。



入力されたイメージに常に最後の設定が適用され、設定の効果が新しいプレビューに表示されます。この機能により、コピーを印刷する前に設定を微調整して、その効果を確認することができます。

手順...

...[イメージ全体を表示するには...](#)

...[特定の領域を拡大するには...](#)

...[特定の領域を縮小するには...](#)

...[等倍で表示するには...](#)

...[用紙フレームのサイズを変更するには...](#)

...[イメージを移動するには...](#)

...[用紙フレームを配置するには...](#)

...[イメージを揃えるには...](#)

イメージ全体を表示するには...



[全て拡大] ツールを使用して、大判の原稿を [プレビュー] ウィンドウで表示することができます。[全て拡大] ツールでは、現在のズームレベルに関わらず、[プレビュー] ウィンドウに合わせてイメージのサイズが変更されます。

特定の領域を拡大するには...



詳細な設定や位置合わせのために詳細を見たい場合は、[拡大] ツールを使用します。すぐに拡大され、ズーム軸が [プレビュー] ウィンドウの中央に表示されます。場合によっては、ズームする前にイメージを特定の領域の中央に移動する必要があります。この作業は、[イメージを移動] ツールを使用すると行うことができます (以下を参照)。イメージをさらに拡大する場合は、必要な詳細レベルになるまで [拡大] ボタンを押し続けます。


特定の領域を縮小するには...



[縮小] ツールを押すと、[プレビュー] ウィンドウに表示されているイメージが縮小されます。イメージをさらに縮小する場合は、必要な大きさになるまで[縮小] ボタンを押し続けます。

等倍で表示するには...

1:1

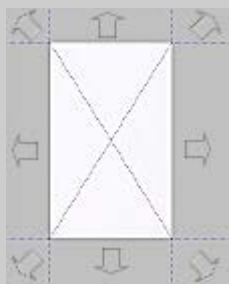
スキャンしたピクセルと画面上のピクセルを1対1で表示する場合は、[1:1] ツールを使用します。プレビューの解像度が低いため、実際にコピー/スキャンすると精度が増す場合があります。プレビューの解像度を設定するには、[セットアップ] タブ ->  -> [スキャ

ニング] を選択します。 [操作手順はこちらを参照してください。](#)

用紙フレームのサイズを変更するには...



[用紙フレームのサイズ変更] ツールにより、[プレビュー] ウィンドウに表示されている用紙フレームのサイズを対話的に変更できます。



このツールを選択すると、用紙フレームの周囲の領域がセクションに分割されます。セクションに触れると、最も近いフレームの辺または角が新しい位置に移動します。角をドラッグしてフレームのサイズを変更することもできます。

イメージを移動するには...



[イメージを移動] ツールは、以下の2つの方法で使用できます。

ドラッグ：イメージ ウィンドウの任意の場所でドラッグします。イメージをつかんでウィンドウ内でドラッグすることができます。

センタリング：画面上のある場所に触れると、その場所が[プレビュー] ウィンドウの中央に表示されます。選択した場所が画面の中央に

配置されるようにイメージが移動します。この機能は、ズームインしてイメージの詳細を表示する場合に便利です。ズームインする前に必要な場所を選択して、その場所を中央に配置することができます。

用紙フレームを配置するには...



[用紙フレームの配置] ツールは、以下の3つの方法で使用できます。

ドラッグ：画面上の任意の場所でドラッグできます。フレームをつかんでイメージ上でドラッグすることができます。

センタリング：画面上のある場所に触れると、その場所が用紙フレームの中央になります。選択した場所がフレームの中央になるようにフレームが移動します。この機能は、プリンタに出力するための一時的なテストストライプを作成する場合に便利です。これにより、テストする領域にすばやくフレームを配置することができます。

角をドラッグ：用紙フレームのサイズを変更できます。[用紙フレームのサイズ変更] ツールの代わりに使用できます。

イメージを揃えるには...

原稿をまっすぐに挿入しなかったために、[プレビュー] ウィンドウに原稿が斜めに表示されることがあります。再度原稿を取りつけ直さなくても、これを修正することができます。まっすぐな用紙フレームの辺を基準にして揃え直します。



イメージを左に傾ける場合は、[左揃え] ツールを押します。



イメージを右に傾ける場合は、[右揃え] ツールを押します。





スキャナの設定

HP Pro スキャナ


→ [使用方法...](#)


→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

スキャン/ユーザ インタフェース オプション

1. [セットアップ] タブを押
します。

2. スキャナ関連のオプションを設定するには、 ->
[スキャンング] を押します。

ユーザ インタフェース オプションを設定するには、
 -> [一般設定] を押します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



スキャンしてファイルに保存

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

スキャンしてファイルに保存するには...

1. 原稿を送る方向に合わせてその最先端を、スキャナの挿入口に入れます。
2. [スキャン] タブを選択します。ここでスキャンのさまざまな特性を設定できます。詳細な手順は以下で説明します。

[マージン]、[レイアウト]、[メディアプロファイル]などの出力設定は、後でファイルを印刷するときに設定できます。



3. [カラー] または [白黒] を選択します。
4. 原稿に最も近い原稿のタイプのテンプレートを選択します。詳細な設定を行うには、「[原稿のタイプのテンプレートを設定するには](#)」を参照してください。
5. [スキャン解像度] を設定します。この設定でイメージ品質が決定します。カスタムのdpi値、[自動] (原稿のタイプに基づいてプログラムにより決定)、[デスクリーン] (スキャナの光学解像度)、[ターボモード] を設定できます。
6. [サイズ] と [サイズ変更] オプションを使用して、スキャンするイメージの寸法を指定します。[サイズ] に [自動]、[サイズ変更] に [なし] を設定すると、原稿のサイズがそのまま使用されます。「[入力サイズの設定](#)」および「[サイズ変更オプションの使用に関するヘルプ](#)」を参照してください。
7. [ファイルフォルダ] として、保存先フォルダまたは「[スキャンtoEメール](#)」を設定します。
8. ファイル名を設定します。ファイル名は、入力したテキ

ストと自動的に付加される1つ以上の要素で構成できません。デフォルトのファイル名はプログラムによって設定されます。デフォルト名を変更するには、[ファイル名] ボタンを押して、新しい名前を入力します。

自動的に付加されるファイル名の要素：要素を指定するには、画面のカーソルを[ファイル名] フィールドに合わせ、[要素の挿入] ボタンを押します。以下の自動ファイル命名要素を使用できます。

カウンタ <###>- 増加する連続番号。[カウンタの挿入] ボタンを押すと、ファイル名にカウンタが付加されます。<#...>内の「#」は追加できます。連続番号の最小桁数は、「#」の数により決定されます。システムは毎回保存先フォルダを調べ、最新のファイル名の次の番号からナンバリングを開始するため、既存ファイルが上書きされることはありません。桁数は、必要に応じて自動的に増やされます。

例：ファイル名に *dogimage<###>* と入力してスキャンした場合、ファイル名は *dogimage001*、*dogimage002...*、*dogimage999...*、*dogimage1000...* のようになります。

ファイル保存時の最初のカウンタ番号を入力することで、特定の名前を持つファイルから開始して、以降のファイルに連番を振ることもできます。

例：ファイル名に *dogimage<015>* と入力した場合、作成されるファイルは *dogimage015*、*dogimage016*、*dogimage017...* のようになります。

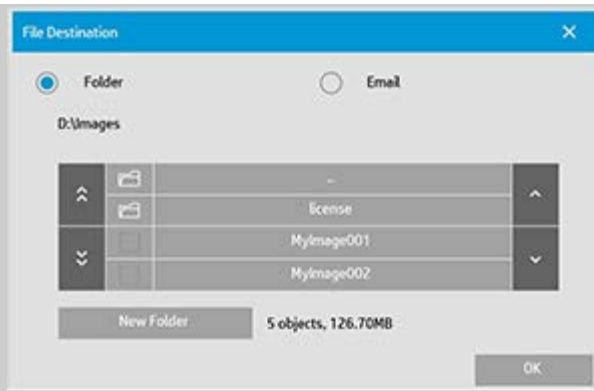
日付 <DATE> - 「yyyymmdd」形式の現在の日付列。[日付の挿入] ボタンを押すと、現在の日付がファイル名に付加されます。

時間 <TIME> - 「hhmmss」形式の現在の時刻。[時間の挿入] ボタンを押すと、現在の時刻がファイル名に付加されます。

次に生成されるファイル名の例が、[ファイル名の編集] フィールドの下に表示されるので、ファイル名の設定を調整できます。

ファイル名の自動割り当てはスキャンを1回だけ行う場合にも使用できますが、バッチスキャンで特に効果を発揮します。

- 出力ファイル形式を変更するには、[ファイルフォーマット] を押します。形式ごとにさまざまなオプションを使用できます。
- フォルダグループを変更するには、[ファイルフォルダ] ボタンを押します。



[フォルダの変更] ダイアログでは、以下のことを行えます。

- 矢印を使用してディスク上のフォルダを選択する。
- 上のフォルダに移動する為の[..] ボタンを使用して1つ上のフォルダに移動する。
- [新しいフォルダ] ボタンを押して、現在のフォルダに新しいフォルダを作成する。
- フォルダ名を押して、検索対象をそのフォルダに移動する。

ネットワークでの保存先：デフォルトでは、参照ダイアログにはローカルドライブとフォルダのみが表示されます。システムにはネットワークの場所を追加することができます。追加操作の完了後は、ネットワークの場所とそこにあるフォルダを、スキャンしてファイルに保存ジョブの保存先として使用できるようになります。手順については、ヘルプの「[ネットワークフォルダにスキャンファイルを保存してアクセスするには](#)」を参照してください。

ファイルの保存先フォルダを選択したら、[フォルダの変更] ダイアログで [OK] ボタンをクリックします。

共有ファイル：ネットワークで共有するファイルは、D:\imagesフォルダに置く必要があります。このフォルダに保存すると、ネットワーク上にあるどのオペレーティングシステムのコンピュータからでも、ファイルにアクセスできます。「[共有ファイルへのアクセス](#)」を参照してください。

10. [スキャン to ファイル] ボタンを押して、処理を開始し、イメージを保存します。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

ファイルから印刷

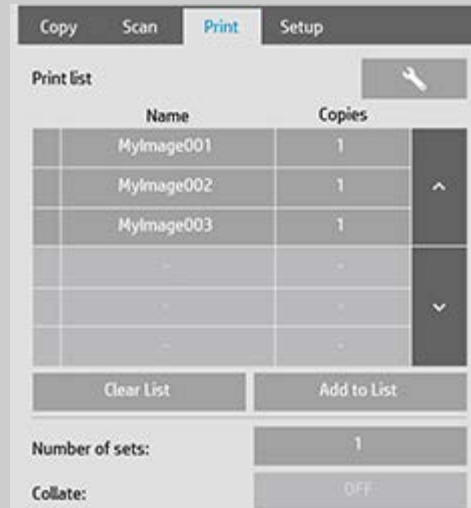
ファイルの印刷は、[印刷リスト] で設定および管理できます。


ファイルから印刷するには

1. [印刷] タブを押します。

[印刷リスト] には、現在選択されている印刷ファイルが表示されます。このリストが空の場合またはこのリストを変更する場合は、ファイルを選択してリストを新たに作成します。参照：

...[印刷リストの設定](#)



2.  を押して、印刷品質を設定します (ファイルから印刷)。「[出力品質を設定するには](#)」を参照してください。
3. [セットアップ] タブの現在の設定を確認または変更します。[マージン]、[レイアウト]、[プリンタ]、[メディアプロファイル] などの [セットアップ] タブの現在の設定は、印刷ジョブ全体に適用されます。
4. [印刷] ボタンを押して、リストされているファイルをプリンタに送信します。



スキャナソフトウェアの [ファイルから印刷] 機能は、スキャナソフトウェアの [スキャン] タブで作成したファイルを印刷するための機能であるため、他のソースで作成したファイルの出力にはお勧めしません。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



印刷リストの設定

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

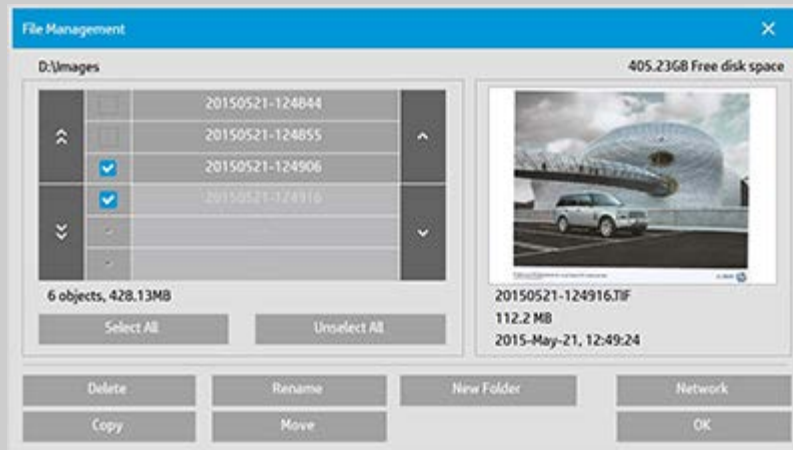
→ [アルファベット索引](#)

印刷するファイルは、[印刷リスト]で設定します。[印刷リスト]は、[印刷]タブからアクセスできます。ここでは、リストを設定する手順とディスクからファイルを削除する手順について説明します。以下も参照してください。

...リスト内のファイルに個別に設定を適用する手順については、「[印刷リストの管理](#)」を参照してください。

印刷リストを設定するには

1. [印刷] タブを押します。
2. [リストをクリア] ボタンを押すと、空の新しいリストが表示されます。
3. [リストに追加] ボタンを押して、以下の[ファイル管理]ダイアログを表示します。



フォルダ内にあるイメージファイルだけが表示されます。

4. ファイル名の左側にあるボックスをオンにして、印刷リストに追加するファイルを選択します。
注記：[リストに追加]では、印刷可能なファイル形式のファイルにのみアクセスできます (DWFまたはPDFにはアクセスできません)。
5. [全て選択] または [すべて選択解除] を使用して、現在のフォルダ内のすべてのファイルを一度に選択/選択解除することができます。

6. ファイルの選択方法の詳細については、「[\[ファイル管理\]ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」を参照してください。
7. リストを作成しているときに、ファイルを移動、コピー、名前の変更、または削除することもできます。詳細は、「[システム上のイメージファイルを管理するには](#)」を参照してください。
8. 注記：非アクティブタイムアウトがネットワーク接続に適用されている場合は、追加のログオン情報が必要になります。
詳細：「[ネットワーク接続の非アクティブタイムアウトを使用するには](#)」
9. [OK] ボタンを押して、オンにしたファイルを印刷リストに追加し、[印刷] タブに戻ります。[印刷] タブには、ファイルが挿入された状態の印刷リストが表示されます。

[リストに追加] ボタンを押して、ダイアログを再度表示して、別のフォルダのファイルを追加することもできます。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

印刷リストの管理

印刷リストを管理するには...

[印刷] タブでは、ジョブを印刷する前に、リスト内のファイルや印刷ジョブ全体に適用する設定を指定することができます。



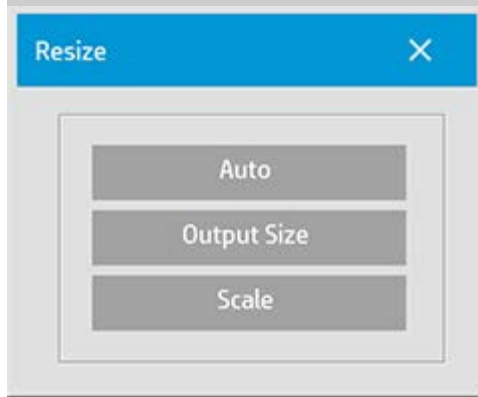
1. ファイル名の右横の [部数] ボタンを押して、各ファイルの部数を設定します。
2. [セット数] ボタンを押して印刷されるリスト全体のコピー回数を設定します。
3. 丁合いセットとして印刷するセットが複数ある場合は、[丁合い] をオンに設定します。
4. リストのファイル名を押して、ファイルの設定を変更します。以下のポップアップメニューが表示されます。



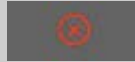
- [削除]：選択したファイルをリストから削除します (ディスクからは削除されません)。

- [出力サイズ]：このオプションを選択すると、[コピー] タブにある [入力サイズ]、[出力サイズ]、[倍率] ボタングループに似たダイアログが表示されます。ファイルの入力サイズは、ファイルに含まれている情報から取得されます。原稿のサイズを拡大/縮小して出力することもできます。コピーのサイズを変更するには、[出力サイズ] ま

または [倍率] ボタンを使用します。



- [プロパティ]：完全なパスと名前、サイズ、種類、作成日時など、ファイルのプロパティが表示されます。ダイアログの [上へ移動]/[下へ移動] ボタンを押して、印刷リストに表示されているファイルの順序を変更できます。印刷後にファイルをディスクから自動的に削除する場合は、[印刷後ファイルを削除] オプションをオンにします。
- [表示]：ファイルのプレビューを [プレビュー] ウィンドウに表示します。プレビューを途中でキャンセルするには、[停止] ボタンを押します。





アカウントを作成/削除/無効化するには

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

アカウントリング機能を利用して、コピー操作の状況を把握することができます。アクティブにすることができるアカウントは、合計アカウントを除いて一度に1つだけです。アカウントのダイアログで、アカウントのスキャン操作情報を表示できます。アカウント名はプリンタへのコピージョブの後ろに表示されます。ユーザは、アカウント名を参照してプリンタまたはネットワークプリントサーバ(プリンタモデルが対応している場合。確認するにはプリンタのマニュアルを参照してください)上のアカウント印刷情報を確認することができます。

注記：管理者パスワードを設定してアクティブにした場合、アカウントの名前変更、リセット、作成、および削除を行うにはパスワードを入力する必要があります。


トピックを選択してください...

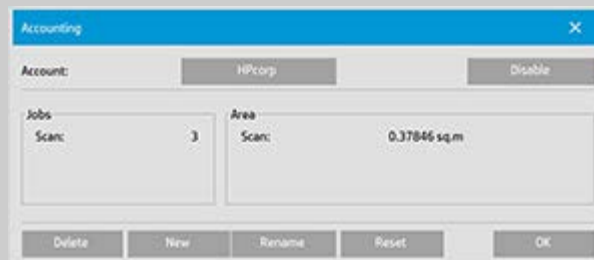
...[新しいアカウントを作成するには...](#)

...[アカウントを削除するには...](#)

...[アカウントをリセットするには...](#)

新しいアカウントを作成するには...

1. [セットアップ] タブを押します。
2. [アカウント] ボタンを押します。[ツール] ボタンを押します。

3. [アカウントリング] ダイアログで [新規] ボタンを押します。管理者パスワードを入力するように求められたら、それを入力します。



4. 新しいアカウントの名前を入力して決定します。

新しいアカウントが自動的に現在のアクティブなアカウント

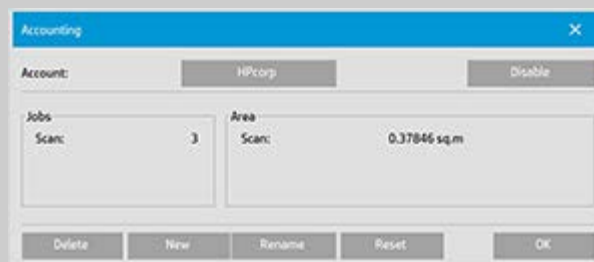
になります。[コピー] ボタンまたは[スキャンしてファイルに保存] ボタンを押すたびに[アカウント] ダイアログが表示され、アカウントの選択が求められます。

アカウントを削除するには...

1. [セットアップ] タブを押します。
2. [アカウント] ボタンを押します。[ツール] ボタンを押します。



3. [アカウントティング] ダイアログで [削除] ボタンを押します。管理者パスワードを入力するように求められたら、それを入力します。



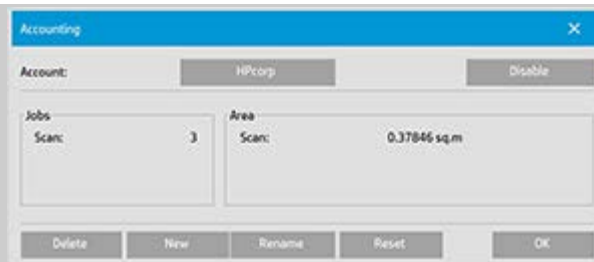
4. [OK] を押して削除を決定します。

アカウントをリセットするには...

1. [セットアップ] タブを押します。
2. [アカウント] ボタンを押します。[ツール] ボタンを押します。





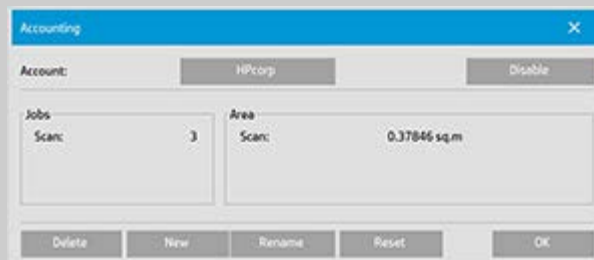
3. リセットするアカウントの名前を選択します。



4. [リセット] ボタンを押します。管理者パスワードを入力するように求められたら、それを入力します。

アカウントの名前を変更するには...

1. [セットアップ] タブを押します。
2. [アカウント] ボタンを押します。[セットアップ] タブ ->  -> [一般設定] -> [クイック選択リストを使用する] を選択した場合は、 ツール ボタンを押します。
3. [アカウント] ダイアログで [名前の変更] ボタンを押します。管理者パスワードを入力するように求められたら、それを入力します。



4. 新しいアカウント名を入力して、[OK] を押します。





既存のアカウントの選択/有効化

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

アクティブにすることができるアカウントは、合計アカウントを除いて一度に1つだけです。

既存のアカウントを選択/有効にするには...

1. [セットアップ] タブを押します。
2. [アカウント] ボタンを押します。

既存のアカウントのリストが表示されます。

- 矢印ボタンを使用してリストをスクロールし、アカウント名を押して選択します。



[コピー] ボタンまたは [スキャンしてファイルに保存] ボタンを押すたびに [アカウント] ダイアログが表示され、アカウントの選択が求められます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

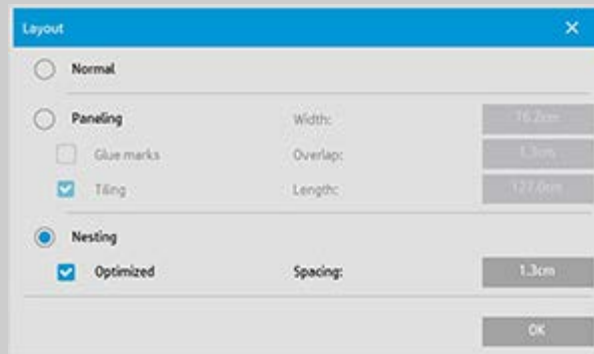
→ [アルファベット索引](#)

ネスティング

ネスティングを使用すると、ロールまたはシート幅を最も適切かつ経済的に使用して、複数のコピーを隣り合わせて並べてコピーすることができます。ネスティングは、複数部数、丁合いコピー、ファイル印刷リストの印刷の際に、出力中の少なくとも一部を並べてコピーする場合に最適な方法です。ネスティングは、イメージ全部の概要を示すための、大きなサイズのサムネイルカレッジの作成にも便利です。

ネスティングを使用するには...

1. [セットアップ] タブを選択します。
2. [レイアウト] ボタンを選択します。



3. [ネスティング] オプションを選択します。
4. ネスティング設定を行います。

[最適]：用紙の無駄を最大限省いてネスティングの最適の解決策を探し出します。

[最適] を選択しないと、コピーは入力順序で隣り合わせに並べられます。**[最適]** を選択しないと、コピーが順番に単純に並べられるのでカットしやすい場合があります。その代わりに、用紙を無駄使いします。**[最適]** を選択すると、より経済的な結果を常に得ることができます。

[間隔]：ネストされる各イメージ間の最小の空白スペースを決定します。

5. 通常のコピーの場合と同様に、[コピー] タブや[セット

アップ] タブの設定 ([原稿のタイプ]、[マージン]、[メディアプロファイル] など) を指定します。または、コピーするファイルを印刷リストから選択します。

複数のコピーを出力する以下のいずれかの機能でネスティング方法を指定します。

- [コピー] タブで、部数を1より大きい値に設定。
 - [印刷] タブから複数のファイル/セットを印刷。
6. [コピー] ボタン (ファイルから印刷する場合は [印刷] ボタン) を押して、ネスティングされたコピーを出力します。

複数のセットで印刷する場合、ネスティングはセットとセットの間ではなく各セットの中で実行されます。新しいセットのコピーは新しい用紙で開始され、それ以降、個々のセットの中でネスティングが実行されます。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

パネリング

パネリングを使用するには...

1. [セットアップ] タブを選択します。
2. [レイアウト] ボタンを選択して、[レイアウト] ダイアログを表示します。



3. [パネリング] オプションを選択します。
4. パネリング設定を行います。イメージ全体の長さと同じ長さのセクションを貼り合わせるのではなく、各セクションの長さを指定して複数の短いセクションを縦に組み合わせるには、[分割] オプションを選択します。各設定の詳細については、「[パネリングのオプションについて](#)」を参照してください。
5. [コピー] タブの [出力サイズ] に大きい値を指定します。[出力サイズ] の値には、最終的なサイズ、つまりパネルを組み合わせた全体イメージのサイズを指定します。
6. 通常のコピーの場合と同様に、[コピー] タブと [セットアップ] タブの設定 ([原稿のタイプ]、[入力サイズ]、[出力サイズ]、[マージン]、[部数]、[メディア プロファイル] など) を指定します。
7. [コピー] ボタン (ファイルから印刷する場合は [印刷] ボタン) を押して、パネルを出力します。

注記：[セットアップ] タブの [マージン] 設定は、パネルを組み合わせた全体のイメージに適用され、個別のパネルには適用されません。パネリングは、「スキャンして印刷」コピーと [印刷] タブを使用した「ファイルから印刷」コピーの両方で使用できます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

メディア プロファイルの選択

メディア プロファイルを選択するには...

1. [コピー] タブまたは [セットアップ] タブを選択します。
2. [メディアの種類] または [メディア プロファイル] ボタンを押します。
3. リストからメディア プロファイルを選択します。 "*" がついたプロファイルは、現在プリンタに取り付けられています。



注記：マルチロールプリンタでは、プリンタに異なる種類のメディアが取り付けられている場合、複数のプロファイルを選択できます。マルチロール管理の詳細は、プリンタのユーザガイドを参照してください。

注記：一部のプリンタでは、取り付けられているメディアまたは以前に取り付けたことのあるメディアのメディア プロファイルのみが表示されます。

以下も参照してください。

...[新しいメディア プロファイルの作成](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

メディア プロファイルの作成

以下の手順を実行する前に、スキャナのカラー キャリブレーションを実行したことで、作成するメディア プロファイルがメディア プロファイル リストに表示されていないことを確認してください。

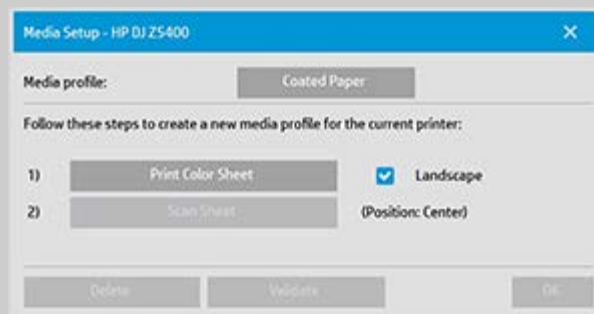
注記：一部のプリンタでは、プリンタに実際に取り付けられているメディアのメディア プロファイルしか作成できません。このような標準的なメディア タイプはシステムによって検出され、メディアの名前がメディア プロファイルのリストに表示されます。その中からいずれかを選択し、以下の手順でメディア プロファイルを作成できます。これらのプリンタでは、メディア プロファイルの名前を付けたり名前を変更することはできません。

新しいメディア プロファイルを作成するには...

1. [セットアップ] タブを押します。
2. [メディア プロファイル] ボタンを押し、[ツール] ボタンを押します。

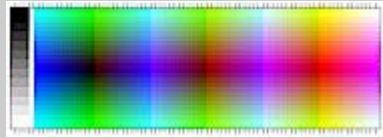


(代替パス：[プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [メディア プロファイル])



注記：一部のプリンタでは、[RIPのキャリブレート] オプションをダイアログの最初の段階で使用できます。この機能を使用するには、ボタンを押して画面の指示に従います。

3. [カラー シートの印刷] ボタンを押して、カラー パッチ リファレンス シートを印刷します。
(注記：一部のプリンタでは、カラー シートの前に特殊なテストシートが出力されます。このテストシートは使用しません。カラー シートのみを使用します。下図のようなカラー シートが印刷されます。)



4. シートの矢印をスキャナを中心矢印に揃えて、カラーシートをスキャナに取り付けます。
5. [メディアの名前とシートのスキャン] ボタンを押して、新しいメディアファイルの名前を指定します。注記：一部のプリンタでは標準的なメディアタイプに応じた標準的なメディアプロファイル名が使用されます。ユーザが独自の名前を選択することはできません。このようなプリンタが接続されている場合は、[メディアの名前とシートのスキャン] ボタンは表示されません。
6. 入力ボタンを押して新しい名前を適用し、カラーシートのスキャンを開始します。

メディアプロファイルがアクティブになり、使用可能なメディアプロファイルのリストに表示されます。

[削除] ボタンを使用してメディアプロファイルを削除できます。ただしユーザが作成したプロファイルのみが削除できます。

[名前の変更] ボタンを使用してメディアプロファイルの名前を変更することもできます。

注記：一部のプリンタでは、標準的なメディアタイプに応じた標準的なメディアプロファイル名が使用されます。このようなプリンタを使用している場合、このダイアログの[名前の変更] ボタンは使用できません。

[検証] ボタンを使用して、使用しているスキャナとプリンタの組み合わせでメディアプロファイルが有効であるかどうかを確認できます。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

問題の解決

[スキャナの問題](#)

(エラーインジケータの点滅、警告およびエラーメッセージ)

[ソフトウェアシステムエラーの問題](#)

(コピーソフトウェア、システム、オンラインヘルプ、エラーコード)

[印刷と印刷内容の問題](#)

スキャナの問題

トピックを選択してください...

[...エラーインジケータランプが点滅している](#)

[...スキャナに警告メッセージが表示される](#)

ソフトウェアシステムエラーの問題

トピックを選択してください...

[...スキャナが見つからない](#)

[...印刷エラーメッセージが表示される](#)

[...システムエラー](#)

[...インタフェース言語が正しくない](#)

印刷と印刷内容の問題

トピックを選択してください...

[...イメージが印刷されず、ジョブがキューで保留される](#)

[...イメージの一部が印刷されない](#)

...ネスティングでの余白



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



エラーインジケータが点滅している

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)



スキャナがエラーを検出すると、スキャナパネルのエラーインジケータが点滅します

1. エラーの実際の原因は、多くの場合メッセージとして画面に表示されます。
2. 表示されない場合は、WIDSystemを開き ([セットアップ] タブの [システム] から)、[ステータス] タブを選択してエラーに関する情報を確認します。
3. 画面上のエラー解決手順に従います。
4. このヘルプシステムの、「[問題の解決](#)」にあるエラー解決手順も参照してください。

技術的なサポートが必要となる場合もあります。サービス情報については、使用している装置に付属しているマニュアルを参照してください。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



スキャナが見つからない

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)



スキャナが見つからない場合...

1. スキャナの電源がオンになっていることを確認します。
2. スキャナとパネルPCスクリーンの中のイーサネットケーブルが正しく差し込まれていることを確認します。
3. イーサネットケーブルを取り外して再び挿入すると、スキャナとの通信を回復できる場合があります。
4. [再スキャン] ボタンを押します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

イメージの一部が印刷されない

イメージの一部が印刷されない場合...

イメージの一部が印刷されず、エラーメッセージも表示されない場合は、次の1つまたは両方を確認します。

コピーシステムソフトウェアで、使用しているプリンタデバイスの正しいメディア幅が設定されているかを確認してください。

...[プリンタのメディア幅の設定](#)およびプリンタのマニュアルの手順を参照してください。

[セットアップ] タブ -> [マージン] ダイアログで [マージン] が設定されている可能性があります。システムでは、定義したマージンのサイズでイメージが切り取られます。切り取りを行わない場合は、これらをゼロに設定し、切り取りなしで出力にマージンを追加するには、[外部マージン] オプションを使用します。[外部マージン] は、設定した出力サイズに追加され、それによって最終結果が拡張します。参照：手順については、「[出力マージンの設定](#)」を参照してください。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



システムエラー

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

システムが起動しない場合...

タッチスクリーンの電源をオンにしてもスキャナシステムが起動しない場合は、システム修復手順を実行してシステムを修復する必要があります。参照：

...[システムの修復](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

印刷エラーメッセージが表示される

印刷エラーメッセージが表示された場合...

プリンタを検出できません。

1. [セットアップ] タブを選択して、[プリンタ] ボタンにプリンタが表示されていることを確認します。
2. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
3. プリンタがネットワークに接続されているか、または（イーサネット経由で）パネル PC に直接接続されていることを確認します。詳細については「[プリンタの設置とプリンタドライバのインストール](#)」を参照してください。
4. プリンタ ジョブがキューで保留されていないことを確認します。保留されている場合は、その問題を解決します。詳細については「[イメージが印刷されず、ジョブがキューで保留される](#)」を参照してください。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



原稿のタイプのテンプレートを設定するには

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

原稿のタイプのテンプレートには、コピーまたはスキャンそれぞれにメソッドと関連する設定項目が含まれています。これにより、対象となる原稿で最高の結果を得ることができます。カラーコピー、白黒コピー、またはスキャンしてファイルに保存のいずれを選択したかによって、テンプレートに関連する設定項目が決まります。

HP スキャナソフトウェアには、ほとんどの作業に対応した標準的な原稿のタイプのテンプレートと最適なデフォルト値が用意されています。たとえば、通常ブローシャには写真とテキストが混在していて、地図は線で構成されています。

使用可能なテンプレートについては、以下を選択してください...

...[カラーコピー/スキャンのテンプレート](#)

...[白黒コピー/スキャンのテンプレート](#)

標準の原稿のタイプのテンプレートを多少調節したり、独自のテンプレートを作成する場合は、以下を参照してください。

...[原稿のテンプレートを定義するには](#)

カラー コピー/スキャンのテンプレート

テンプレート	概要
フォト	写真とポスター
CAD	非常に細かいCAD図面
ブローシャ	写真とテキストを含んでいる原稿
マップ	地図や非常に細かいグラフィック

白黒コピー/スキャンのテンプレート

テンプレート	概要
Photo	グレーの陰影が多い写真イメージ
地図	細密な地図とグラフィック
CAD (グレースケール)	細密な CAD 図面
CAD (白黒)	細密な CAD 線画
青焼き	表面と背面が歪んだはっきりしない原稿。イメージの

のモノクロ	背景に含まれているノイズの陰影とイメージデータを構成している陰影が似ていて区別するのが困難である場合
青焼きのグレースケール	青焼き原稿のコピー時に線の彩度を高くしたい場合、ブルースケールではなく、100%ブルーで印刷します。
Sepia (セピア)	青焼きと同様、テキストと背景がはっきりしないセピア調の原稿

原稿のテンプレートの設定について

メソッド

[メソッド]は、スキャナのイメージキャプチャ/デジタイズ方法に適用されます。組み込まれている原稿のタイプの設定テンプレートの[メソッド]のデフォルト設定は、その対象である原稿の種類に最適に設定されているため、変更しないでください。[メソッド]は白黒コピーにのみ適用されます。

選択した原稿のタイプに最適のメソッドが、[メソッド]ボタンに表示されます。メソッドは変更できますが、通常はそのまま使用することをお勧めします。メソッドを変更するにはボタンを押します。以下のオプションが使用可能になります。

[グレートーン]: 複雑な白黒イメージを高品質で再現します。

[スレッシュホールド]: 描画や線画に使用します。しきい値を使用して、ピクセルを黒にするか白にするかを指定できます。

[アダプティブ]: コントラストがあまりない、扱いの難しい描画に使用します。セピアや青焼きのような低コントラストの描画の明暗がはっきりわかるようにします。

明るさ

この同じ設定も、[コピー]タブダイアログから直接設定できます。[明るさ]のデフォルト値は0に設定されていて、この値はほとんどの原稿に適しています。この値を変更して、コピーを明るく(正の値)または暗く(負の値)して、不鮮明またはかすれた原稿を補正することができます。

鮮やかさ

[鮮やかさ]は、色の彩度、つまり色の強さを表します。[鮮やかさ]の値を大きくすると、[鮮やかさ]の値が小さい同じ色に比べて色の彩度が強くなります。正の値を指定すると彩度が

高くなり、負の値を指定すると彩度が低くなります。

赤、緑、青

イメージのキャプチャ中にコピーのカラーバランスを調節できます。赤、緑、青の3つの明度は、それぞれ個別に調節できます。色の量の変更は、色全体のバランスに影響を与えません。通常、3つの明度を同じレベルにすると最適な結果が得られます。プレビューでさまざまな効果を試してください。色の全体量を減らす場合は負の値を選択し、増やす場合は正の値を選択します。

黒レベルと白レベル

[黒レベル]は、暗いグレートーンを完全な黒に変更するのに使用します。

たとえば、テキストと図が混在するブローシャをコピーしている場合、テキストは、黒に見えるが実際には暗いグレートーンである色にデジタル化されます。プリンタはこのグレートーンデータを処理する際に、原稿のテキストをハーフトーンパターンで印刷します。つまり、黒の塗りつぶしではなく、まばらなドットで印刷します。

[黒レベル]の値を増やすことで、テキストを完全な黒でコピーして、はっきりと表示することができます。

グレーだけではなく他の暗い色も黒に変換されて小さな暗い点が現れることがあるため、[黒レベル]オプションは注意して使用してください。

[白レベル]は、バックグラウンドが完全な白ではない原稿で使用します。バックグラウンドを完全な白にする場合は、[白レベル]の値を大きくします。[黒レベル]の場合と同様、[白レベル]も注意して使用する必要があります。他の明るい色に影響が出る可能性があるためです。

[黒レベル]と[白レベル]はどちらもしきい値として機能します。つまり、この値より小さいまたはこの値より大きいピクセルが設定の影響を受けます。しきい値は、0~255の明るさの値で決定します。どちらのオプションもデフォルト値は0です。

例：

原稿のコピーが完了し、テキストをより黒くし、背景をより白くして品質を向上させるとします。

- この場合、[黒レベル]の値をデフォルト値の0から大きくします(たとえば25にします)。これで、明るさの値が小さいピクセルは黒になります。
- [白レベル]の値をデフォルト値の0から大きくします(たとえば25にします)。これで、明るさの値が大きいピクセルは白になります。

[シャープ/ぼかし]オプションにより、線をシャープにすることができます。シャープ機能は、イメージのエッジを識別し

て彩度を高めます。

シャープ/ぼかし

ぼかし機能は、色を合成して、イメージをキャプチャする際の不要なノイズを排除します。多くのイメージがディザを使用して作成されています。ディザは、原稿の各色を表すのに使用しますが、これにより不要なノイズがイメージに現れるようになります。ぼかし機能により、不要な中間色が排除され、色の変化が滑らかになります。白黒コピーでは、ぼかし機能によりシャープな中間階調が排除され、グレーのディザが滑らかになります。

ぼかし機能はシャープ機能の逆の機能ではありません。シャープ機能はイメージの端にだけ適用され、ぼかし機能は色またはグレートーン領域全体に適用され、それらを滑らかにします。

ヒント：シャープ機能とぼかし機能を一緒に使用すると、イメージ品質が向上します。まず、ぼかし機能を使ってイメージのノイズを排除し、その後シャープ機能でイメージをシャープにします。

グレーを強調させる

[グレーを強調させる]は、原稿のタイプの設定がカラーの場合に使用できます。[詳細] ボタンを押すと設定画面が表示されます。[グレー処理] オプションをオンにすると、彩度の低いオリジナルから作成したコピーまたは印刷のカラーの彩度を下げます。

ネガポジ反転

この設定により、イメージのカラーが反転します。このコマンドを使用して、たとえば、ポジティブの白黒イメージをネガティブに反転させることができます。

描画の最適化

図面用の最適化はカラーと白黒のオリジナルタイプの設定に使用できます。原稿のタイプの設定がカラーの場合は、[詳細] ボタンを押すと設定画面が表示されます。

テキストや描画をコピーする場合は、このオプションを設定することをお勧めします。エッジが明確でシャープになるように出力が最適化されます。写真を出力する場合は、帯状の線が入ることがあるため、この設定をアクティブにすることはお勧めしません。

高精細

[高精細]は、原稿のタイプの設定がカラーの場合でも白黒の

場合でも使用できます。原稿のタイプの設定がカラーの場合は、[詳細] ボタンを押すと設定画面が表示されます。
[高精細] を設定すると、詳細なグラフィックスを鮮明に出力できます。地図やCAD図面のような細かい部分を多数含む原稿の場合は、[高精細] をアクティブにすることをお勧めします。写真を出力する場合は、カラーマッチングとグレートーン出力に悪影響を及ぼすことがあるため、この設定はお勧めしません。

黒インクのみ

[黒インクのみ] は、原稿のタイプの設定が白黒の場合に使用できます。[黒インクのみ] を使用すると、完全に自然なグレートーン出力を作成できます。[黒インクのみ] でグレートーンを作成すると、照明条件にあまり左右されずに見ることのできる印刷結果が得られます。[黒インクのみ] をオンにすると、カラーインクも使用した通常のグレートーン出力よりも粒子が粗くなりますので注意してください。

注記：利用できるオプションは、プリンタモデルにより異なります。





HP Pro スキャナ


→ [使用方法...](#)

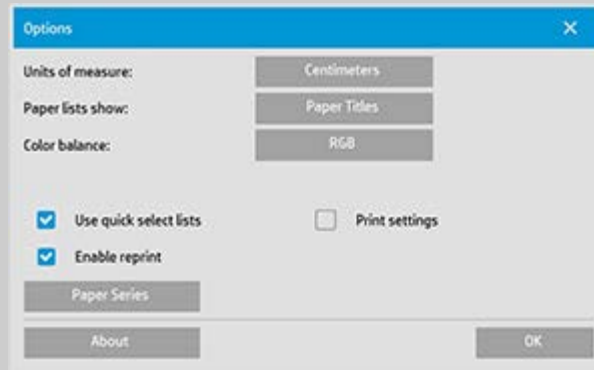
→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

ユーザインタフェースオプションの設定

ユーザインタフェースオプション

[セットアップ] タブ ->  -> [一般設定] を押して、以下の [オプション] ダイアログを表示します。



設定...

...[単位](#)

...[用紙リストの表示](#)

...[カラーバランス](#)

...[クイック選択リストを有効にする](#)

...[印刷設定](#)

...[再印刷を有効にする](#)

...[用紙の一覧](#)


単位

[セットアップ] タブ ->  -> [一般設定] -> [単位]

寸法単位 (ミリメートル、センチメートル、インチ) を選択できます。




カラーバランス

[セットアップ] タブ ->  -> [一般設定] -> [カラーバ
ランス]


[原稿のタイプ] オプションを設定するときに、色の値を CMY (シアン、マゼンタ、イエロー) または RGB (赤、緑、青) のどちらで表示するかを指定します。


用紙リストの表示

[セットアップ] タブ ->  -> [一般設定] -> [用紙リスト
の表示]

用紙サイズを寸法または規格名 (E-0、A3 など) のどちらで表示するかを指定します。

クイック選択リストを有効にする

[セットアップ] タブ ->  -> [一般設定] -> [クイック選
択リストを有効にする]

このオプションは、[原稿のタイプ]、[入力サイズ]、[出力サイズ]、[倍率]、[プリンタ]、[アカウンティング]、[スキャナ] を設定する際のインターフェースの動作を決定します。このオプションはデフォルトで設定されています。デフォルトでは、ダイアログの順序は、まずユーザが使いやすいリストダイアログにアクセスして、そこから [ツール] ボタン  を押し

て特定の [セットアップ] ダイアログを選択するという形になっています。

クイック選択リストの選択を解除すると、順序は上記の逆になります。インターフェースに特定の [セットアップ] ダイアログが表示され、そこから現在の定義済みの標準値が表示されるリストダイアログを表示して、オプションを選択します。

スキャナソフトウェアを、標準のカスタマイズされた定義済みオプション値で基本的な使用の場合は、このオプションを選択したままにします。各コピージョブであらかじめ定義されているリストよりも、特定のサイズに調節、設定を行うことが多い場合には、オプションをオフにしておきます。

以下に、[クイック選択リストを有効にする] オプションを選択した状態と選択していない状態の [入力サイズ] ボタンの動作を示します ([クイック選択リストを有効にする] がオンの状態 (上の図)、[クイック選択リストを有効にする] がオフの状態 (下の図))。[入力サイズ] ダイアログの [ツール] ボタンを押すと [入力サイズの設定] ダイアログが表示され、[入力サイズの設定] ダイアログの [入力サイズ] ボタンを押すと [入力サイズ]

ダイアログが表示されます。



印刷設定


[セットアップ] タブ ->  -> [一般設定] -> [印刷設定]

このオプションをオンにすると、コピーとともにすべての設定の情報が出力されます。

再印刷を有効にする

[セットアップ] タブ ->  -> [一般設定] -> [再印刷を有

効にする]

[コピー設定] ダイアログ ボックスの [再印刷] ボタンで再印刷の有効/無効を切り替えることができます。[再印刷を有効にする] オプションを選択して、[コピー] タブ ->  -> [再印

刷] オプション ボタンを選択すると、最後に印刷したイメージが再印刷されます。この機能は、追加コピーが必要になった際に便利です。

用紙の一覧

[セットアップ] タブ ->  -> [一般設定] -> [用紙リスト

の種類]

入力サイズまたは出力サイズを設定するときにサイズプリセットのリスト(サイズオプションダイアログ)に表示される、サイズプリセットのタイプを指定できます。[用紙の一覧] オプションを押すと用紙シリーズのリスト(ANSI、ARCH....)が表示されます。サイズオプションダイアログに表示させる用紙シリーズをすべて選択します(マークを付ける)。サイズダイアログに、標準サイズ以外にも[カスタムメディアサイズプリセット](#)を表示させるには、「カスタム」シリーズを選択してください。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

[プリンタのマージンによる内容のクリップ] オプションの使用

[セットアップ] タブのダイアログで設定するマージンは、コピーの「出力マージン」で、プリンタ自体にもマージンが生成されます。プリンタのマージンのサイズはプリンタモデルにより異なり、変更することはできません。プリンタのマージンを最小マージン(余白)として考慮してください。このマージンは、必要、不要に関わらず出力に含まれます。

[セットアップ] -> [マージン] ダイアログ：



[プリンタのマージンによる内容のクリップ] オプション ([セットアップ] タブ -> [マージン]) を選択すると制御不可能なマージンを補正できます。このオプションを選択することで、不要なマージンを必要最低限に抑えて用紙を経済的に使用することができます。

オプションを選択すると、出力マージンからプリンタのマージンが差し引かれ、合計マージンはコピーで指定した値になります。

マージンのない原稿をコピーする場合は、出力マージンも不要であるため、このオプションはオフにします。

オプションを使用するには：

プリンタのマニュアルに記載されているプリンタのマージン値を入力する必要があります。そのためには、[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定] ボタンの順に選択します (以下のようなダイアログが表示されます)。

プリンタによっては、[自動検出] ボタンを使用してプリンタマージンの手動設定を不要にすることができます。この場合、プリンタ デバイスの値が設定されます。



以下は、【プリンタのマージンによる内容のクリップ】オプションを使用するためのガイドラインです。

【プリンタのマージンによる内容のクリップ】を選択した場合：

1. プリンタのマージン以上の最小出力マージンを選択します。これを反映するように[セットアップ]タブの[マージン]の値が自動的に更新されます。出力マージンに0またはプリンタのマージン未満の値を指定した場合は、プリンタのマージンが出力マージンとして使用され、この値で[マージン]の値が更新されます。
2. 出力マージンにプリンタのマージンを超える値を指定した場合は、出力マージンからプリンタのマージンが差し引かれます。つまり、スキャナソフトウェアは、プリンタマージンに不足分だけを追加します。これにより合計マージン(用紙の物理的な端から測定したマージン)は、[セットアップ]タブの[マージン]オプションで指定した値になります。
3. 原稿が切り取られる状態は、値が自動的に計算されたかどうかに関わらず、常に[セットアップ]タブの[マージン]ボタンに表示される値で判断できます。実際に切り取られる状態は、WYSIWYGなプレビューに表示されます。

【プリンタのマージンによる内容のクリップ】を選択しなかった場合：

1. 設定した出力マージンは、プリンタのマージンに追加され、用紙の物理的な端の内側から測定したかのように適用されます。
2. プレビューに表示されているように、指定した出力マージンによってだけコピーが切り取られます。

プリンタに手動で挿入した定形サイズの内紙にコピーする場合は、通常、正確なマージンを指定します。ロール紙に印刷する場合は、コピーを切り取る必要があるため、あまり正確さは要求されません。

いくつかの例を示します。

マージンのない原稿の写真をコピーする場合に、出力マージンを0に設定して【プリンタのマージンによる内容のクリップ】オプションをオフにしたとします。この場合、プリンタのマージンによってコピーがオフセットされるため、イメージ

全体を印刷するにはロール紙または指定した出力サイズよりも大きいサイズの内紙に印刷します。

Dサイズのポスターを印刷していて、コピーに必要なマージンが1.5インチでプリンタのマージンが0.5インチであるとしします。そしてポスターを同じDサイズの用紙にコピーするとしします。このとき、[プリンタのマージンによる内容のクリップ]オプションを選択できます。出力マージンを1.5インチに設定しします。これで用紙の物理的な端から1.5インチのマージンを得ることができます。[プリンタのマージンによる内容のクリップ]オプションを使用すると、マージンと多少の切り取りが可能なジョブの場合に用紙を節約できます。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

パネリングと分割のオプションの設定とパネルの組み立て

パネリング機能により、巨大なポスターを作成できます。パネリング機能を使用すれば、幅の広いイメージの各部分を「パネル」として印刷し、その後パネルを貼り合わせてイメージを組み立てることができます。事実上、[パネリング] オプションは無限の幅を印刷できる仮想プリンタを創出します。HP スキャナソフトウェアにより、パネルの端に切り取り線とのりしろマークが正確に印刷されるため、ほとんど継ぎ目が見えない状態で簡単にパネルを貼り合わせることができます。

分割もパネリングの一種ですが、分割では、イメージが水平方向と垂直方向の両方で分割されたパネルセクションを作成することができます。

参照：

...[オプション](#)

...[パネルの組み立て](#)

オプション

1. [幅]：パネルの幅を設定します。

幅には、重なる領域も含まれます。パネルの幅には、プリンタの印刷可能領域までの値を指定できます。最大サイズのパネルを作成する場合は、パネルの幅にはプリンタの[メディアの幅]([セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [印字不可領域]) に設定した値からプリンタの左右の余白を引いた値を指定してください。

この値は、プリンタのマニュアルに記載されている印刷可能領域と同じになります。スキャナソフトウェアは、最終的なパネルのサイズを計算します。イメージを等しい幅のパネルに分割する場合など、特殊なパネル幅を計算する際には、パネルの重なる領域の余白を追加することを忘れないでください(以下の例を参照)。

2. [重なり]：重なる領域(隣り合わせになる2つのパネルで同じイメージデータを含んでいる端)の幅を決定します。

大きくて厚いパネルでは、小さいパネルの場合よりも重なる領域の幅を広くする必要があります。

3. [のりしろマーク]パネルの端に印刷される小さな灰色の矢印で、パネルを貼り合わせる際のガイドマークとして機能します。

のりしろマークは、大きなコピーでは見づらくなります。このため、サイズによって矢印の大きさが変わります。つま

り、重なる幅が大きい場合には、大きな矢印が印刷されます。一番大きい矢印のサイズは1インチ (2.54cm) です。

4. [分割]：パネルの長さを指定します。イメージ全体の長さと同じ長さのセクションを貼り合わせるのではなく、各セクションの長さを指定して複数の短いセクションを縦に組み合わせるには、[分割] オプションを選択します。

分割されたパネルは水平方向と垂直方向の両方で貼り合わせます。分割機能は、1枚のカット紙に印刷する場合に便利ですが、ロール紙に小さな分割されたパネルを印刷する場合にも使用できます。分割機能をオフにすると、イメージの上端から下端の内容が含まれたパネルが連続的に出力されます。各パネルの長さはイメージと同じになり、パネルは横に貼り合わせるだけになります。

5. [長さ]：分割を使用する場合に、長さを指定します。

パネルの組み立て

イメージ全体を完成させるために、分割されたパネルを貼り合わせる必要があります。大きなテーブルがなければ、分割されたパネルは床に正しい順序で並べて貼り合わせます。[のりしろマーク] オプションを選択した場合は、パネルに以下のガイドマークが印刷されるため作業しやすくなります。

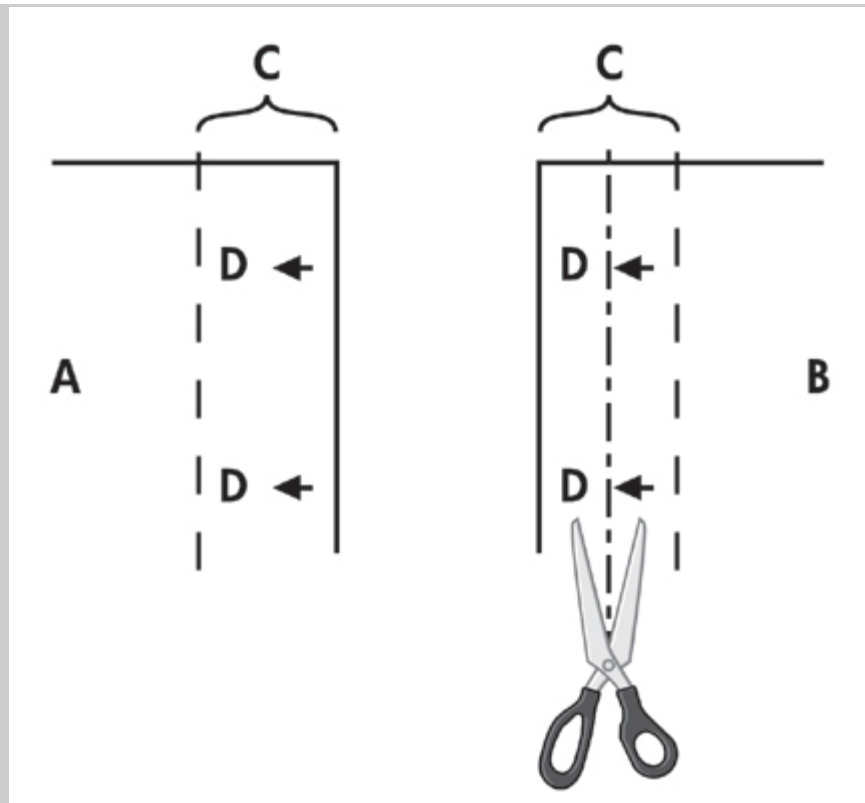
1. 切り取り線：線は、右側に位置する (列の最初 (左端) のパネル以外のすべてのパネル) パネルの左側に印刷されます。

ナイフやはさみなどを使用して、線の右側を切ります (線自体を切り取ります)。切り取り線は重なる領域の中央に印刷され、切り取られたイメージ データは隣のパネルの重なる領域と同じであるため、多少雑に切っても目立ちません。

2. のりしろマークの矢印：切り取り線で切断したら、右端のパネルを左側のパネルの上に重ねるようにして貼り合わせます。

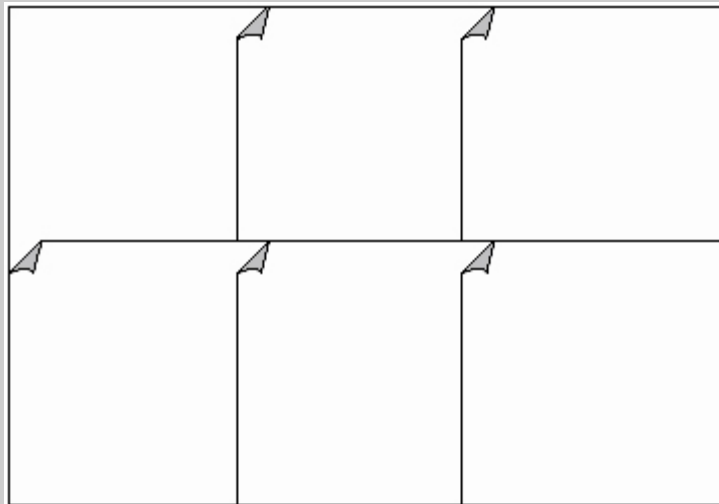
2番目のパネルが最初のパネルの上に重なり、3番目のパネルが2番目のパネルの上に重なるように貼り合わせます。のりしろマークの矢印を使用して、パネルを継ぎ目なく貼り合わせます (以下の図を参照)。

パネルを組み立てる際には、上に重なるパネルに印刷されている矢印を、下になるパネルに印刷されている矢印に重ねます。



[分割] オプションを選択した場合は、垂直方向(上図)と水平方向の両方の接合部に切り取り線とのりしろマーク(D)が印刷されます。

右端のパネル(B)が左側のパネル(A)の上になるようにパネルを重ねて貼り合わせます。以下の図で示しているように、ある列の2番目のパネルが最初のパネルの上に重なり、3番目のパネルが2番目のパネルの上に重なるように貼り合わせます。垂直方向を貼り合わせる場合は(分割時のみ)、最初の列を一番下にして、それ以降の列が前の列の上に重なるように貼り合わせます。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

アカウントिंगの使用

アカウントング機能により、コピー操作の状況を把握することができます。この機能は、コピー費用の記録をとったり、お客様に請求書を発行する際に使用します。アカウントングでは、システムのスキャン/印刷/コピー回数と用紙使用量に関する情報が記録されます。アカウントング情報は、単純な形式で保存されるため、スプレッドシートやデータベースに取り込むことができます。

詳細：


...[アクティブアカウント](#)

...[合計アカウント](#)

...[アカウントングの基準](#)

...[アカウントングログファイル](#)

アクティブアカウント

アクティブアカウントの名前は、[セットアップ] タブの [アカウント] ボタンに表示されます。新しいアカウントを作成した場合には、[コピー] ボタン  または [スキャンして

ファイルに保存] ボタン  を押すたびに [アカウント]

ダイアログが表示され、アカウントの選択を求められます。アクティブにすることができるアカウントは、合計アカウントを除いて一度に1つだけです。参照：

...[アカウントの作成/削除/無効化](#)

合計アカウント

合計アカウントは、システムのすべての操作を記録できるように常時バックグラウンドで実行されます。現在のアクティブアカウントに登録されている操作は、合計アカウントにも自動的に記録されます。合計アカウントは削除、リセット、または無効にすることはできません。

アカウントングの基準

アカウントを更新する操作は、[コピー]、[部単位コピー]、[スキャンしてファイルに保存]、[ファイルから印刷] です。アカウントングシステムは、システムがスキャン、印刷、およ

びコピー(スキャンして直接印刷)する回数を記録します。[スキャンしてファイルに保存]はスキャンフィールドだけを更新し、[ファイルから印刷]は印刷フィールドだけを更新しますが、[コピー]と[部単位コピー]は両方のフィールドを更新します。スキャンおよび印刷操作の平方フィートまたは平方メートルは、入力サイズと出力サイズの設定から計算されます。用紙使用量(平方フィート単位)の計算では、[セットアップ]タブ->[プリンタ]ボタン[ツール]ボタン->[プリンタのマージン]ダイアログで設定されているプリンタメディアの幅が使用されます。

スキャナソフトウェアの動作が[アカウントティング]フィールドをどのように更新するかを以下の表に示します。

動作	アカウントフィールド					
	ジョブ			面積		
	スキャン	印刷	コピー	スキャン	印刷	用紙
コピー	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	はい
部単位コピー	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい
スキャンしてファイルに保存	はい	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ
ファイルから印刷	いいえ	はい	いいえ	いいえ	はい	はい

アカウントティングログファイル

スキャナソフトウェアは、請求システムや会計システムに直接取り込むことが可能な特別なログファイルを作成します。アカウントティングデータは、スプレッドシートやデータベースに簡単に取り込めるように複数のファイルで編成されます。

アカウントティングデータファイルは、スキャナソフトウェア内のAccountingフォルダに保存されます。作成したアカウントごとに1つのファイルがあります。ファイルには、<アカウント名>.csvという名前が付けられます。これらの.csvファイルは、メモ帳などの標準的なテキストエディタで表示でき、一般的なスプレッドシートアプリケーションやデータベースアプリケーションに取り込むことができます。

ログファイルは、一行でそれぞれの項目をカンマで区切って構成されています。各行は、1つの操作を表し、各行の項目には操作中に記録された値が含まれています。新しい行が作成される操作は、[コピー]、[部単位コピー]、[スキャンしてファイルに保存]、[ファイルから印刷]です。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

ネスティングでの余白

ネスティングで余白が多すぎる場合...

ネスティングを使用していて、イメージをもう1つ印刷できるような余白ができた場合には、コピーシステムソフトウェアでプリンタのメディア幅を設定したことを確認してください。参照：

...[プリンタのメディア幅の設定](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



アルファベット索引

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

[A](#) - [B](#) - [C](#) - [D](#) - [E](#) - [F](#) - [G](#) - [H](#) - [I](#) - [J](#) - [K](#) - [L](#) - [M](#) - [N](#) - [O](#) - [P](#) - [Q](#) - [R](#) - [S](#) - [T](#) - [U](#) - [V](#) - [W](#) - [X](#) - [Y](#) - [Z](#)

A

[アクセス - 共有ファイル](#)

[アカウントティング](#)

[概要 - 使用](#)

[新規作成](#)

[削除](#)

[ログファイル](#)

[選択/有効化](#)

[合計アカウントとアクティブアカウント、概要](#)

[アダプティブ - メソッド](#)

[管理者パスワード - 有効/無効](#)

[自動アライメント - コピーおよびスキャンしてファイルに保存](#)

[自動検出スキャンの長さ制限](#)

[自動入力サイズ](#)

[自動横置き - 縦置きに入力して横置きに出力](#)

[自動出力サイズ](#)

[自動プレビュー - スキャナオプション](#)

[ファイルの自動命名](#)

B

[白黒のテンプレート](#)

[白レベル - 原稿のタイプのオプション](#)

[スキャン中のバックアップ - スキャン速度](#)

[バッチコピー、およびバッチスキャンしてファイルに保存](#)

[黒インクのみ - ファイルから印刷する場合の設定](#)

[黒インクのみ - 原稿のタイプ - コピー/スキャンしてファイルに保存](#)

[白黒のしきい値 - メソッド](#)

[ぼかし - 原稿のタイプのオプション](#)

C

[RIPのキャリブレード](#)

[キャリブレーション - スキャナ](#)

[プリンタのマージンによる内容のクリップ](#)

[CMYカラーバランス](#)
[部単位 - コピーセット](#)
[カラー精度 - 最適化](#)
[ネットワークへの接続](#)
[部数 - 作成](#)
[部数 - 設定](#)
[コピー - セット \(部単位\)](#)
[コピー - 厚いメディア](#)
[コピー品質](#)
[印刷されない一部のイメージ - 問題](#)

D

[ファイルのデバッグ - トラブルシューティング](#)
[デフォルト設定](#)
 [現在の設定の保存](#)
 [工場出荷時のデフォルトの復元](#)
[ファイルの削除 - システムから](#)
[ディスクリール](#)
[保存先 - スキャンしてファイルに保存](#)
[コピーの複製 \(ファイルに保存\)](#)

E

[排紙 - スキャナオプション](#)
[電子メール - スキャンして送信](#)
[有効にする - 再印刷](#)
[グレーを強調させる - 原稿のタイプのオプション](#)
[終了ボタン](#)
[標準以上の厚さ - スティッチングオフセット](#)

F

[\[ファイルの複製\] オプション](#)
[ファイル管理](#)
[ファイル - スキャンしてファイルに保存](#)
 [手順](#)
 [バッチスキャンしてファイルに保存](#)
 [品質設定](#)
 [ハードディスクからファイルを削除](#)
[共有ファイル - アクセス方法](#)
[\[フォルダ\] ボタン \(画面下部\)](#)
[折り畳みオプション](#)
[FTP/WebDAV](#)

G

[初めて使用する前に - セットアップ手順](#)
[ガラスプレート - HP HD Pro スキャナでの交換](#)

[ガラスプレート - HP SD Pro スキャナでの交換](#)
[グレートーン - メソッド](#)

H

I

[イメージの一部が印刷されない - 問題](#)
[イメージの概要 - ズーム表示](#)
[インクジェット プリンタの原稿 - コピー品質](#)
[インクジェット プリンタの原稿 - 印刷](#)
[入力サイズ](#)
[プリンタの設置とプリンタ ドライバのインストール](#)
[表示言語 - 変更](#)
[インタフェース オプション](#)
[挿入スロット - 厚いメディア向けに高くする](#)
[反転 - 原稿のタイプのオプション](#)

J

K

L

[ランプユニット - HP HD Pro スキャナでの交換](#)
[横置き\(自動\) - 縦置きに入力して横置きに出力](#)
[言語\(表示\) - 変更](#)
[長さ](#)
[入力サイズ](#)
[出力サイズ](#)
[明るさ - 原稿のタイプのオプション](#)
[自動検出スキャンの長さ制限 - スキャナ オプション](#)
[リンク\(マージン、外部マージン\)](#)
[リスト - 印刷](#)
[印刷リストの設定](#)
[印刷リストの管理](#)
[ハードディスクからファイルを削除](#)
[印刷リストからファイルを削除](#)

M

保守

[手順](#)

[スキャナの部品交換 \(HP HD Pro スキャナ\)](#)

[ガラスプレートの交換 - HP SD Pro スキャナ](#)

マージン

[マージン - 設定](#)

[外部マージン - 設定](#)

[プリンタのマージンに合わせて印刷内容を切り取る](#)

[高精細 - 原稿のタイプのオプション](#)

[高精細 - ファイルから印刷する場合の設定](#)

[プリンタ内のメディア、メディア プロファイル](#)

[メディア プロファイルの選択](#)

[メディア プロファイルの作成](#)

[メディアの処理機能](#)

[メディアのサイズ](#)

[用紙の一覧](#)

[幅、プリンタ](#)

[原稿のオフセット](#)

[メニュー、ショートカット-クイック選択リスト](#)

[メッセージ-スキャナについて](#)

[表示](#)

[警告](#)

[メソッド-原稿のタイプのオプション](#)

[左右反転-コピーおよびスキャンしてファイルに保存](#)

[\[イメージを移動\] ツール](#)

[複数のプリンタ](#)

[複数ページをスキャンしてファイルに保存](#)

N

[\[メディアの名前とシートのスキャン\] ボタン-メディア プロファイルの作成中に](#)

[ネスティング](#)

[方法](#)

[余白-問題](#)

[ネットワーク](#)

[システムの接続](#)

[設定](#)

[スキャン時のネットワーク上の保存先とフォルダへのアクセスの設定](#)

[設定](#)

[スキャンのためのFTP接続のセットアップ](#)

[\[スキャナが見つかりません\] メッセージ](#)

[コピー部数](#)

O

[等倍表示](#)

[光学解像度 \(デスクリーン\)](#)

[描画の最適化-原稿のタイプのオプション](#)

[描画の最適化-ファイルから印刷する場合の設定](#)

[最適化-カラー精度](#)

[原稿-タイプのテンプレート](#)

[設定](#)

[定義](#)

[選択する](#)

[テンプレート-カラー](#)

[テンプレート-白黒](#)

[排紙先](#)

[出力マージン-設定](#)

[外部マージン - 設定](#)
[出力品質](#)
[出力サイズ](#)
[設定](#)
[プリンタのメディア幅](#)

P

[ページ順序](#)
[パネリング](#)
[オプションの設定と組み立て](#)
[使用](#)
[用紙フレーム](#)
[用紙リストの表示](#)
[原稿の取り付け](#)
[取り付け方法の設定 - メディアの処理機能](#)
[用紙の一覧](#)
[用紙サイズプリセット - カスタムプリセットの作成](#)
[パスワード](#)
[管理者](#)
[ネットワーク - FTP/WebDAV](#)
[\[用紙フレームの配置\] ツール](#)
[電源オン/オフタイマー](#)
[環境設定 - スキャナとユーザインタフェース](#)
[プレビュー](#)
[解像度 - スキャンオプション](#)
[ツール](#)
[カラーシートの印刷](#)
[ファイルから印刷](#)
[手順...](#)
[リスト - 設定](#)
[\[ファイル出力\] \(デバッグ用\)](#)
[印刷リスト](#)
[全て選択](#)
[印刷リストの管理](#)
[部数 - リスト内](#)
[印刷リストの設定](#)
[印刷設定 - 概要の印刷](#)
[プリンタ](#)
[ドライバとインストール](#)
[マージン](#)
[メディアの幅](#)
[プリンタ - キュー](#)
[キューの表示](#)
[キューにジョブが保留される](#)
[印刷エラー](#)
[ファイルから印刷](#)
[ファイルから印刷 - 品質](#)

[\[用紙枠を印刷\]](#)

Q

品質設定

[コピー品質](#)

[スキャンしてファイルに保存するときの品質](#)

[ファイルから印刷する場合の品質](#)

キュー - プリンタ

[キューの表示](#)

[キューにジョブが保留される](#)

[クイック選択リスト](#)

R

[修復、システム](#)

[赤、緑、青 - 原稿のタイプのオプション](#)

交換 - スキャナの部品

[ガラスプレートの交換 - HP HD Pro スキャナ](#)

[ガラスプレート - HP SD Pro スキャナ](#)

[カバー裏の白い部分](#)

[ランプユニット](#)

再印刷、使用と有効化

[\[リセット\] ボタン](#)

[\[用紙フレームのサイズ変更\] ツール](#)

[解像度 - スキャンしてファイルに保存](#)

[プレビュー解像度](#)

[スキャン後、原稿を戻す - スキャナオプション](#)

[出力の90°回転](#)

S

[鮮やかさ - 原稿のタイプのオプション](#)

[倍率 - 設定](#)

[倍率 - カスタム倍率の作成](#)

[SCANdump](#)

スキャン - 厚いメディア

[手順...](#)

スキャンしてファイルに保存

[手順...](#)

[バッチスキャンしてファイルに保存](#)

[品質設定](#)

[複数ページの単一ファイルへのスキャン](#)

スキャナ デバイス

[オプションと設定](#)

スキャナの保守

[実行](#)

[スキャナの部品交換](#)

[スキャナメッセージ](#)

スキャナの部品 - 交換

[ガラスプレートの交換 - HP HD Pro スキャナ](#)

[ガラスプレート - HP SD Pro スキャナ](#)

[カバー裏の白い部分](#)

[ランプユニット](#)

スキャナソフトウェア

[言語の変更](#)

スキャナの速度 - スキャナオプション

[\[スキャン\] タブ](#)

セキュリティ セットアップ

[管理者パスワード](#)

[ネットワーク接続の保存](#)

[USB 記憶デバイスの無効化](#)

スキャナの設定

[スキャナのオプションと設定の概要](#)

[ユーザ インタフェース オプションの概要](#)

[自動プレビュー](#)

[排紙](#)

[長さの自動検出方法](#)

[言語](#)

[自動検出スキャンの長さ制限](#)

[プレビュー解像度](#)

[プリンタのメディア幅](#)

[スキャン後、原稿を戻す](#)

[スキャン速度](#)

[単位](#)

[ユーザ インタフェース オプション](#)

[シャープ - 原稿のタイプのオプション](#)

共有ファイル - アクセス方法

[ショートカット、メニュー](#)

[用紙サイズをリストに表示](#)

[システムのシャットダウン](#)

サイズ

[出力サイズ - 設定](#)

[入力サイズ - 設定](#)

[用紙サイズプリセット - カスタムプリセットの作成](#)

[問題の解決](#)

[\[停止\] ボタン](#)

[システムの修復](#)

[同期印刷](#)

T

[テンプレート - カラー](#)

[テンプレート - 白黒](#)

厚い原稿

[厚い原稿のコピーとスキャン](#)

[挿入スロットの高さ](#)

[標準以上の厚さの設定](#)
[分割](#)
[タイムゾーン-設定](#)
[タイマー-電源のオン/オフ](#)
[トラブルシューティング](#)
[ターボ解像度-スキャン、コピー品質](#)
[原稿-タイプのテンプレート](#)
[オプションの設定](#)
[定義と作成](#)
[選択](#)
[テンプレート-カラー](#)
[テンプレート-白黒](#)

U

[単位](#)
[ソフトウェアの更新](#)
[有効にする-クイック選択リスト](#)

V

W

[警告メッセージ](#)
[「ようこそ」ページ-ヘルプシステム](#)
[カバー裏の白い部分-交換](#)
[ネスティングでの余白](#)

WIDEsystem

[概要](#)

幅

[入力サイズ](#)
[出力サイズ](#)
[プリンタメディア](#)

X

Y

Z

[\[全て拡大\]ツール](#)
[\[拡大\]ツール](#)
[\[縮小\]ツール](#)



印刷手順

法律に関する注記

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P.



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

スキャナシステムの電源オン/オフタイマーの設定

注記：電源タイマーが使用できるかどうかは、使用しているスキャナのモデルによって異なります。


自動電源オン/オフ機能を利用すると電力を節約でき、スキャナランプの寿命を延ばすことができます。通常は、就業時間の終了後しばらくしたらスキャナがオフになり、朝出社する最低1時間前にスキャナの電源がオンになって、システムのウォームアップが完了してすぐに使用できる状態になっているように設定します。

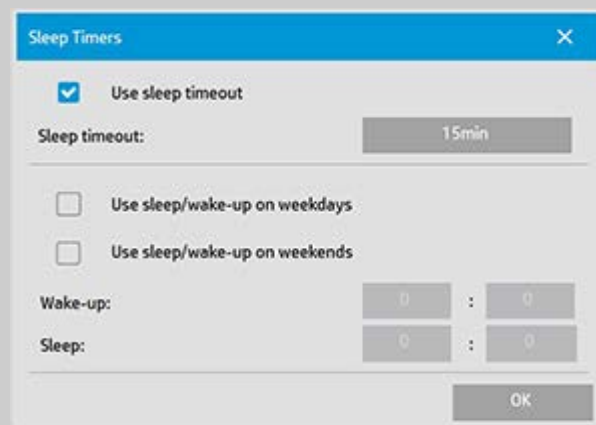
電源オン/オフタイマーが設定されている場合、以下のようになります。

電源オフの時刻に達したときにスキャンが実行されている場合、自動電源オフは15分延期されます。

スキャナを手動で起動した場合は、3時間後にスタンバイモードになります。

スキャナシステムの電源オン/オフタイマーを設定するには...

1. [セットアップ] タブを押します。
2.  > [システム] > [高度な設定] を選択します。
3. [スリープタイマー] ボタンを押します。



4. [スリープタイムアウトを使用する] - [スリープタイムアウト] ボタンで設定したアイドル時間が経過した後に、スキャナをスリープモードにするには、このオプションを選択します。
5. 2つのオプション[営業日はスリープ/ウェイクアップを使

用する]と [週末はスリープ/ウェイクアップを使用する] を使用すると、スキャナをスリープモードまたはウェイクアップモードにする曜日を定義できます。たとえば、営業日(平日)にのみスキャナの電源をオンまたはオフにすることができます。

6. 必要に応じて最適なウェイクアップ/スリープ時刻を設定してください。時刻は、「時間:分」(24時間表記)の形式で設定します。
7. [OK] ボタンを押して、設定内容を確定します。





ソフトウェアのアップデートまたはシステムの修復


HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

ソフトウェアのアップデートまたはシステムの修復を行うには...

1. [セットアップ] タブを押します。
2.  > [システム] > [高度な設定] を選択します。
3. [ソフトウェアのアップデート] ボタンを押します。
4. ソフトウェアのアップデートおよび修復モードに進むことを決定します。
5. システムがシャットダウンし、修復モードで自動的に再起動され、オプションが表示されます。
5. 画面に表示される指示に従ってください。
6. ソフトウェアのアップデートまたはシステムの修復後は、キャリブレーションを行う必要があります。参照：

...[使用方法](#)...[保守手順](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

プリンタのメディア幅の設定

作業によっては、異なるメディア幅の印刷を行う場合があります。たとえば、あるジョブでは36インチ幅のロール紙に印刷し、別のジョブでは24インチのロール紙に変更して印刷する場合があります。

どのような場合でも、プリンタに取り付けられているメディアの幅をプログラムに伝える必要があります。

プログラムでメディア幅を設定する手順は、プリンタモデルによって異なります。新しいプリンタモデルでは、メディア幅の自動検出をサポートしていますが、古いモデルでは、手動で設定する必要があります。メディア幅の自動検出が可能かどうかについては、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタモデルに関係なく、大量でコストのかかる印刷ジョブを開始する前には、プリンタのメディア幅設定を確認して制御しておくことをお勧めします。プリンタのメディア幅設定は、[セットアップ] タブ → [プリンタ] → [ツール] ボタン → [詳細設定] ダイアログで表示できます。別の幅のロール紙に変更する場合も、ここでメディア幅の設定を変更します。

このトピックでは、次の方法について説明します。

1. [プリンタのメディア幅の設定を表示およびアクセスする方法](#)
2. [メディア幅の自動検出をサポートするプリンタで、起動時およびロール紙の変更にプリンタのメディア幅を設定する方法](#)
3. [メディア幅の自動検出をサポートしていないプリンタで、起動時およびロール紙の変更に手動でプリンタのメディア幅を設定する方法](#)

プリンタのメディア幅の設定を表示およびアクセスするには...

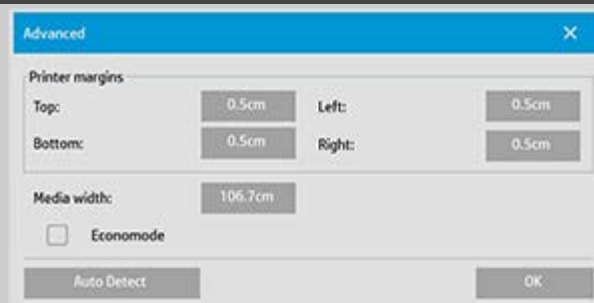
1. [セットアップ] タブを選択します。
2. [ツール] ボタンを選択して、[プリンタのセットアップ] ボタンを選択します 



3. [詳細設定] ボタンを選択します。現在のメディア幅の設定(値)が、[メディアの幅] ボタンに表示されます。



メディア幅の自動検出をサポートするプリンタで、メディア幅を設定するには...



1. 起動時 - 現在プリンタに取り付けられているロール紙の幅がプログラムによって自動的に検出されます。この値は、[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定] ダイアログの [メディアの幅] ボタンに表示されます。
2. 別の幅のロール紙に変更した場合 - ロール紙を変更後、[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定] ダイアログを開きます。[自動検出] ボタンを押し、プリンタから新しいメディアの幅の値を取得します。新しい値が [メディアの幅] ボタンに表示されます。
3. [OK] を選択して終了します。

メディア幅の自動検出をサポートしていないプリンタで、用紙のメディア幅を設定するには...



1. 起動時 - プログラムはプリンタドライバに保存されたメディア幅の値を設定します。これは通常はプリンタで利用できる最大出力幅です。プリンタの最大幅より狭いロール紙を使用している場合は、この幅を手動で変更する必要があります。[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定] ダイアログを開きます。[メディアの幅] ボタンを押して、オンスクリーンキーボードから新しい値を入力し、キーボードのEnterキーを押して終了します。メディア幅の値が[メディアの幅] ボタンに表示されます。
2. 別の幅のロール紙に変更した場合 - 幅の値を手動で変更してください。[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定] ダイアログを開きます。[メディアの幅] ボタンを押して、オンスクリーンキーボードから新しい値を入力し、キーボードのEnterキーを押して終了します。メディア幅の値が[メディアの幅] ボタンに表示されます。
3. [OK] を選択して終了します。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)


→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

インターフェース言語の変更

インターフェース言語を変更するには...

管理者パスワードを設定してアクティブにした場合、システムのインターフェース言語を変更するにはパスワードを入力する必要があります。

1. [セットアップ] タブ > ツール ボタン  を押し
ます。
2. [システム] を選択します。
3. [高度な設定] ボタンを押します。
4. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パス
ワードを入力します。
5. [言語の変更] ボタンを押します。
6. 選択可能な言語の一覧から目的の言語を選択します。
7. システムが再起動し、新しい言語でメニューが表示され
ます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

法律に関する注記

注記

商標

注記

このマニュアルに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

弊社は、本マニュアルに関して特殊目的に対する適合性、市場性などについて、一切の保証をいたしかねます。

また、本マニュアルにおける誤り、あるいは備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。

本マニュアルの内容の一部または全部を、無断でコピーや印刷をしたり、他の言語に翻訳することは法律で禁止されています。

商標

HP、HPロゴ、Designjet、PageWide、および Jetdirect は HP の商標です。

本マニュアルの上記以外の商標は各所有者の所有物です。

© Copyright 2015 HP Development Company, L.P.

Large Format Division

Camí de Can Graells 1-21 · 08174

Sant Cugat del Valles

Barcelona • Spain



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

ヘルプページの印刷

ヘルプページを印刷するには...

スキャナシステムのデフォルトのプリンタは、大判プリンタです。ヘルプページを印刷する場合は、『HP SD/HD Pro スキャナマニュアル』CDを使用することをお勧めします。内容はオンラインヘルプと同一で、ブラウザで開くことができます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

スキャナに関する情報の表示

WIDEsystem

WIDEsystem は、スキャナの機能を監視および制御するためのアプリケーションで、システムに必要なドライバを内蔵しています。

WIDEsystem を起動するには、[セットアップ] タブ ->



-> [システム] -> [WIDEsystem] を選択します。

このプログラムの主な機能は、以下のとおりです。

システムのステータス

スキャナシステムのステータスであるスキャナモードを表示するには、スキャナシステムを終了して Active Desktop のシステムトレイにある WIDEsystem スキャナアイコンを選択します。ステータスメッセージには、ウォームアップ完了までの残り時間、インタフェース接続エラー、スキャナがスキャン可能な状態になっていることが示されます。

現在のスキャナモードに関連する有用なエラーメッセージを表示します。

スキャン対象の原稿の取りつけ状況を表示します。

スキャナの情報

スキャナシステムのファームウェアおよびハードウェアのバージョン情報を表示します。この情報は、アップグレードの状況を把握するため、およびサポートを受けるために使用できます。

接続されている HP Pro スキャナのスキャンを開始します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)


→ [アルファベット索引](#)

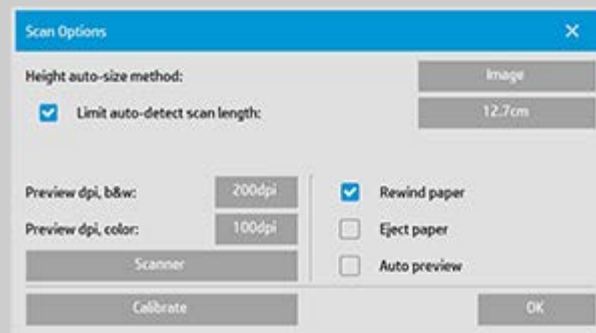
特殊なスキャナ設定オプションの定義

トピックを選択してください...

- ...[スキャナ設定オプションを表示するには...](#)
- ...[原稿の取りつけ方](#)
- ...[原稿のオフセット](#)
- ...[厚い原稿の処理設定](#)

特殊なスキャナ設定オプションを表示するには...

1. [セットアップ] タブを押します。
2.  を押します。
3. [スキャン中] ボタンを押します。



4. [スキャナ] ボタンを押します。

メディアの処理機能

[メディアの処理機能] ボタンを選択します。

1. [自動装填] を選択するか、手動取りつけの場合は選択解除したままにします。
2. 用紙の自動装填の場合は、装填遅延時間 (原稿を正しくセットするのに必要な時間) を設定します。
3. [ソフトハンドリング] - この設定を選択すると、スキャン中の紙詰まりエラーを解消できます。ただし、スキャン速度は低下します。

4. [高速給紙]- バッチ スキャンなど、原稿を特に高速で給紙する場合に使用します。

原稿のオフセット

[原稿のオフセット] ボタンを選択します。

1. 非常に高い精度が必要な場合は、垂直精度の値を0から-1%~1%の値に変更します。

正の値を指定するとスキャンラインの間隔が広がり、負の値を指定すると間隔が狭くなります。

[スキャナの設定] ダイアログを終了すると、変更値はスキャナの揮発メモリに保存されます。この値を変更するには、設定を再度実行する必要があります。

1. 用紙オフセット - 上、横、下

[用紙オフセット] の値によってスキャン領域の位置が決まります。このオプションを使用して、キャプチャ領域の位置を調整できます。調整は、領域を右方向および下方向に移動して行います。

- [上用紙オフセット]: 領域を上または下方向に移動します。上端に近い部分までスキャンしたり、スキャンから外すことができます。
- [下用紙オフセット]: スキャン領域の下マーカを上方または下方向に移動します。下端に近い部分までスキャンしたり、スキャンから外すことができます。また、スキャナの長さの計算結果を微調整できます。
- [横用紙オフセット]: 領域を左方向に移動し、原稿の左端に近い部分までスキャンしたり、スキャンから外すことができます。

標準以上の厚さ(スティッチング オフセット)

スティッチングを使用すると、カメラ間の境界が自動的に制御され、イメージデータが正しく重なるようになります。スティッチングエラーは、原稿がスキャナのガラスプレートに均一に押さえ付けられていない場合に起きることがあります。最も一般的なスティッチングエラーは、厚い原稿をスキャンするためにプレッシャ プラテンを上げて、厚くて硬い原稿をスキャンする場合に発生します。

注記：標準以上の厚さの設定は、HP HD Pro スキャナのみにも適用されます

硬いメディアだけが通常ステッチングに悪影響を与えます。柔軟性のあるメディアは厚さに関係なく正しくステッチングが行われます。

このオプションを使用すると、厚い原稿をスキャンできるように標準のステッチングパラメータを調整できるようになります。

[標準以上の厚さ] ボタンを選択します。

1. 線が均等になっていない場合は、[厚紙ハンドリング拡張機能を有効にする] チェックボックスをオンにします。
2. スキャナの各カメラの値を変更します。通常、正の値のみを使用します。
3. テスト スキャンを実行し、線が正しくステッチされるまで値を再調節します。
4. [OK] をクリックして設定を決定します。





HP Pro スキャナ


→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

システムのシャットダウン

システムをシャットダウンするには...

1. [終了] ボタンを押します 。
2. システムをシャットダウンすることを確認します。
3. スキャナの電源をオフにします。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

インターフェース言語が正しくない

ユーザ インターフェースが正しい言語になっていない場合...

スキャナ システムのインストールの最後の手順で正しくない言語をインストールした場合、表示言語を変更する必要があります。参照：
...[インターフェース言語の変更](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

任意の倍率の作成


[コピー] タブおよび [スキャン] タブで、拡大縮小の倍率を任意に設定できます。

任意の倍率を作成するには...

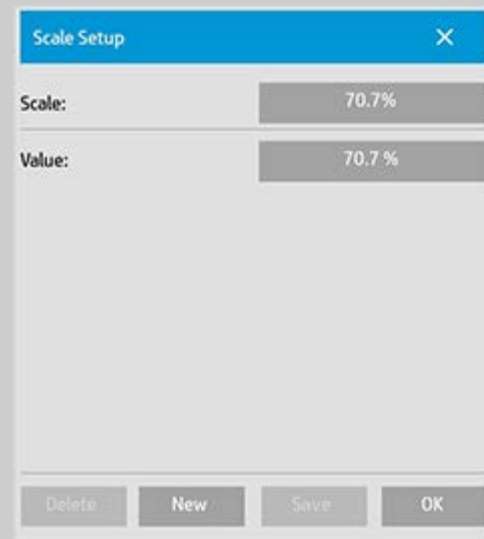
1. コピーを実行している場合は、[コピー] タブの [出力サイズ] を押します。

または...

スキャンしてファイルに保存するジョブを実行している場合は、[スキャン] タブの [サイズ変更] を押します。

2. [倍率] ボタンを押して、[ツール] ボタン  を押します。

3. [倍率の設定] ダイアログで [新規] ボタンを押します。



4. 新しい倍率の名前を入力します。倍率の値そのものを名前にするをお勧めします (「72%」など)。
5. [値] ボタンを押して倍率を指定します。
6. [保存] ボタンを押し、[OK] を押して決定します。

新しい倍率が、あらかじめ設定されている標準倍率のリストに追加されます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)



→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

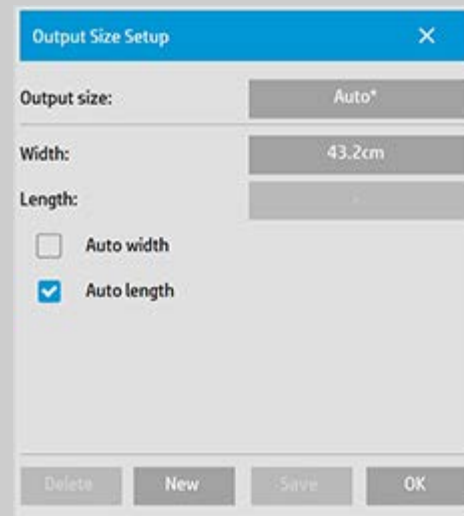
カスタム用紙サイズプリセット (入力サイズ/出力サイズ) の作成

カスタム用紙サイズプリセット (入力サイズまたは出力サイズ) を作成するには、以下の手順に従います。

カスタム入力/出力サイズを作成するには...

1. [コピー] タブまたは [スキャン] タブを押します。
2. [入力サイズ] を押して、[ツール] ボタンを押します。

3. [出力サイズ] ダイアログには、[コピー] タブからであれば [出力サイズ] -> [出力サイズ] を選択、また [スキャン] タブからであれば [サイズ変更] -> [用紙サイズ] オプションを選択し、次に [ツール] ボタンを押せばアクセスできます。


3. [サイズの設定] ダイアログで [新規] ボタンを押します。



4. 新しいサイズの名前を入力します。コピーのグループを示す名前か、サイズそのものを表す名前 (「23x50」など) を付けることができます。
5. [幅] と [長さ] ボタンを押して値を設定します。[自動] オプションも使用できます。
6. [保存] ボタンを押し、[OK] を押して決定します。

新しいサイズプリセットが、サイズプリセットリストに標準サイズと一緒に表示されます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

出力品質の設定

コピー、印刷、スキャンの品質の設定


コピー：[コピー] タブの品質設定には、スキャン品質と基本的な印刷品質を設定できるオプションがあります。スキャン品質と印刷品質の両方の設定を使用します。

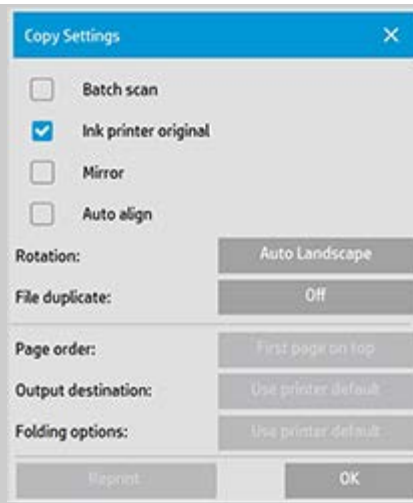
印刷：ファイルから印刷 - [印刷] タブで、特別な印刷品質設定を使用できます。

スキャン：スキャンしてファイルに保存 - [スキャン] タブで、スキャン品質 (解像度) を設定できます。

コピー品質

コピーの場合、スキャン (入力) と印刷 (出力) の両方の品質の値を設定できます。

1. [コピー] タブを押します。
2.  を押します。



[インクジェットプリンタの原稿]：スキャン対象の原稿がインクジェットプリンタで印刷されている場合は、これを選択するとコピーまたは印刷の品質を向上できます。[OK]を押して適用します。

3. [コピー] タブ -> [品質] ボタンを押します。

以下の説明に沿って、印刷品質とスキャン品質の両方に基づいて新しく品質を定義します。

スキャン品質

スキャナの場合、スキャン解像度は dpi (1 インチあたりのドット数) 単位で設定します。

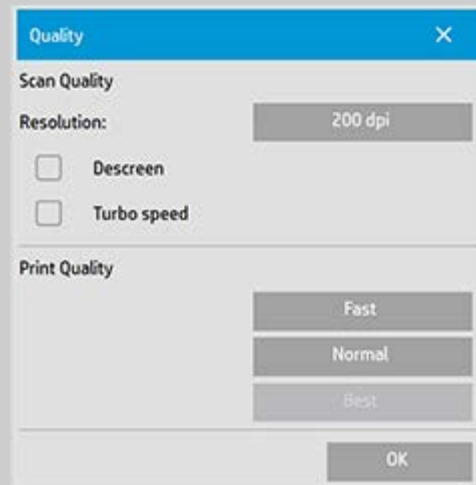
Descreen (ディスクリーン)には、スキャナがスキャナの光学解像度に基づいてスキャンを行い、データを補間することなくソフトウェアに中継することが表示されます。設定されたdpiまたは品質への変換が、最適な形でソフトウェアによって実行されます。ラスタ原稿の場合、これで優れた品質が得られます。スキャンスピードが遅くなります。

ターボ：[スキャン解像度]に値を設定してから、[ターボ]を選択します。このオプションを選択すると、イメージの品質が低下する代わりにスキャン速度が基本的に2倍になります。ターボ解像度処理では、[スキャン解像度]オプションで設定されたとおりのイメージ解像度を達成するため、用紙の移動が高速化され、取り込んだスキャンデータがスキャン方向に縮小され、最後に再サンプリングされます。ターボモードは 300 dpi 未満の解像

度には効果がありません。

印刷画質

[高速]、[標準]、[高品質] から選択します。



[OK] を押して適用します。

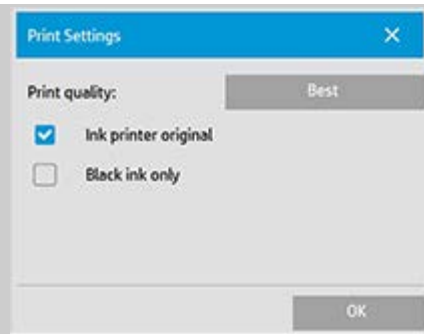
注記：HP PageWide プリンタでは、品質の設定は、[線画/高速]、[均一領域]、または[高詳細度]として定義します。

印刷画質

[印刷] タブで既存のファイルを印刷する場合、印刷(出力)品質オプションを選択します。

1. [印刷] タブを押します。

2.  を押します。



[印刷品質] ボタンを押して、[高速]、[標準]、[高品質] から出力品質設定を選択します。

[インクジェットプリンタの原稿]：スキャン対象の原稿がインクジェットプリンタで印刷されている場合は、これを選択するとコピーまたは印刷の品質を向上できます。

[黒インクのみ]：このオプションは、グレートーンのイメージファイルの印刷出力に対してのみ適用されます。中間調のグレートーン出力を作成する場合に適しています。[黒インクのみ]でグレートーンを作成すると、照明条件にあまり左右されずに見ることのできる印刷結果が得られます。[黒インクのみ]をオンにすると、カラーインクも使用した通常のグレートーン出力よりも粒子が粗くなりますので注意してください。

[描画の最適化]：テキストと描画に適しています。エッジが明確でシャープになるように出力が最適化されます。出力に帯状の線が入るため、写真の場合は使用をお勧めしません。

[高精細]：詳細なグラフィックスを鮮明に出力する場合に使用します。地図やCAD図面のような、細かい部分を多数含む原稿の場合にお勧めします。カラーマッチングおよびグレートーン出力に悪影響を及ぼすため、写真の場合はお勧めしません。

[OK] を押して適用します。

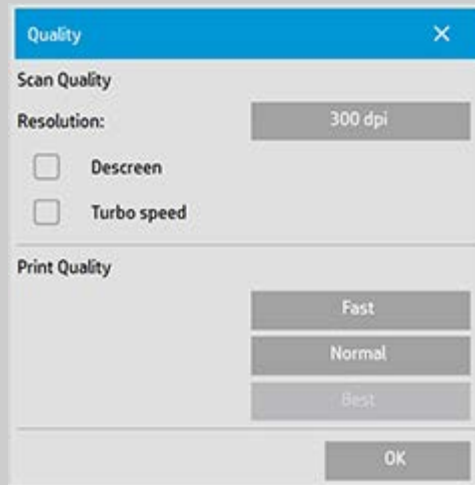
注記：利用できるオプションは、プリンタモデルにより異なります。

注記：上記の特殊な印刷品質オプションの中には、[コピー] タブの原稿のタイプのテンプレートで定義できるものもあります。詳細については、「[原稿のテンプレートの定義](#)」を参照してください。

注記：HP PageWide プリンタでは、品質の設定は、[線画/高速]、[均一領域]、または[高詳細度]として定義します。

[スキャン] タブの [スキャンしてファイルに保存] で、スキャン品質 (入力) の要素を設定できます。

1. [スキャン] タブを押します。
2. [スキャン解像度] ボタンを押します。



スキャン品質

Scan Resolution - スキャン解像度の値を dpi (ドット/インチ) で設定します。

自分で dpi 値を設定するには、[自動] をオフにします。

Descreen (ディスクリーン) には、スキャナがスキャナの光学解像度に基づいてスキャンを行い、データを補間することなくソフトウェアに中継することが表示されます。設定された dpi または品質への変換が、最適な形でソフトウェアによって実行されます。ラスタ原稿の場合、これで優れた品質が得られます。スキャンスピードが遅くなります。

ターボ：[スキャン解像度] に値を設定してから、[ターボ] を選択します。このオプションを選択すると、イメージの品質が低下する代わりにスキャン速度が基本的に 2 倍になります。ターボ解像度処理では、[スキャン解像度] オプションで設定されたおりのイメージ解像度を達成するため、用紙の移動が高速化され、取り込んだスキャンデータがスキャン方向に縮小され、最後に再サンプリングされます。ターボモードは 300 dpi 未満の解像度には効果がありません。

[OK] を押して適用します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



プリンタの設置とプリンタドライバのインストール


HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

LANによるローカル接続...

1. 使用するプリンタの構成とLANの設定が完了していて、他のデバイスがプリンタを認識できるようになっていることを確認します。
2. パネル PC を LAN に接続します。
3. [セットアップ] タブを選択します。
4.  > [システム] を選択します。
5. [プリンタドライバのインストール] を選択します。プリンタのインストールウィザードが開きます。画面に表示されるインストール手順に従ってください。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



ネットワークへの接続

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

スキャナをネットワークに接続するには...

以下の作業を完了すると、ネットワーク上の他の機器からこのシステムを認識できるようになります。

注記：管理者パスワードを設定してアクティブにした場合、ネットワークの設定を行うにはパスワードを入力する必要があります。

1. タッチスクリーンの背面にあるイーサネットポートにRJ45ネットワークケーブルを接続します。
2. [ネットワーク設定を確認します。](#)
3. ネットワークで共有するファイルは、D:\imagesフォルダに置く必要があります。このフォルダにファイルを保存すると、ネットワーク上にあるどのオペレーティングシステムのコンピュータからでも、ファイルにアクセスできます。「[共有ファイルへのアクセス](#)」を参照してください。

同じネットワークにプリンタを接続する方法については、プリンタのマニュアルを参照してください。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)


→ [アルファベット索引](#)

ネットワークの設定

以下の作業を完了すると、ネットワーク上の他の機器からこのシステムを認識できるようになります。

注記：管理者パスワードを設定してアクティブにした場合、ネットワークの設定を行うにはパスワードを入力する必要があります。

システムのネットワーク設定を行うには...

1. [セットアップ] タブを選択します。
2.  > [システム] を選択します。
3. [高度な設定] ボタンを選択します。
4. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
5. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
6. ネットワークにDHCPサーバがある場合は、[DHCP] オプションを選択します。これにより、システムが自動的にネットワーク接続情報を検出します。
7. 手動で接続する場合は、[手動] オプションを選択します。IPアドレスなどの関連するネットワーク接続情報をシステム管理者から入手してください。
8. 各設定で [OK] を押します。
9. **[FTPおよびWebDAV]** オプション領域でログインとパスワードを指定することで、システムの共有フォルダへの不正なネットワークアクセスを防止できます。[ログイン] および [パスワード] ボタンを押し、文字列を入力して適用します。
注記：入力したログイン名の後ろに、自動的に「@scanner」という文字列が追加されます。

[リセット] ボタンを押すと、FTP/WebDAVアクセスのログイン/パスワード保護が解除され、システムがデフォルトのモード (システムの共有フォルダへのアクセスが保護されない状態) に戻ります。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

デフォルトの管理者パスワードの変更方法


管理者パスワードを使用して、システム固有のオプションの設定を保護することができます。たとえば、[インタフェース言語](#)、[ネットワークパラメータ](#)、[アカウントिंग](#)などの主要な管理設定を保護できます。システムにはすでに、デフォルトの管理者パスワード「**hpinvent**」（すべて小文字）が設定されています。

デフォルトの管理者パスワードが「**hpinvent**」の場合 - パスワードを変更していない場合、または元の値にリセットした場合、パスワード保護は主要な管理設定に適用されず、すべてのユーザが編集できる状態になります。

デフォルトの管理者パスワードを変更した場合 - 管理者パスワードをデフォルトのパスワード「hpinvent」以外に変更した場合、システムの主要な管理設定は保護され、それらを変更する際には新しいパスワードの入力が求められます。

多数のユーザがシステムを使用する場合は、システム管理者が最初にシステムをセットアップするときにデフォルトのパスワードを変更することをお勧めします。

デフォルトの管理者パスワードを変更するには...

1. [セットアップ] タブを選択します。
2.  > [システム] を選択します。
3. [高度な設定] ボタンを選択します。
4. [セキュリティ セットアップ] ボタンを押します。
5. [パスワードの設定/変更] ボタンを押します。
6. 新しい管理者パスワードを入力します。
7. 新しい管理者パスワードの確認を求めるメッセージが表示されます。
8. [OK] をクリックして終了します。新しい管理者パスワードはすぐに有効になります。
8. 管理者パスワードをデフォルトのパスワード「hpinvent」にリセットすることで、保護を解除できます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ


→ [使用方法...](#)

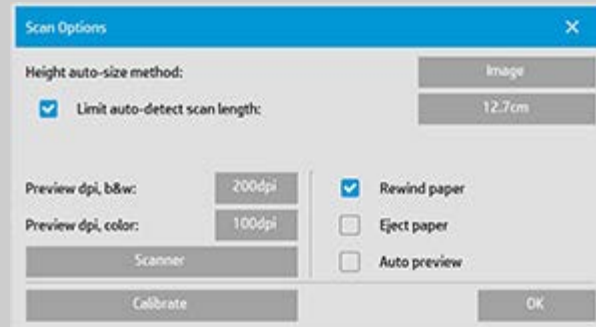
→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

スキャンオプションと設定について

スキャンオプションについて

[セットアップ] タブ ->  -> [スキャン中] を押して、[スキャンオプション] ダイアログを表示します。



オプションの説明...

...[プレビュー解像度](#)

...[排紙](#)

...[自動プレビュー](#)

...[スキャン速度-バックアップ処理が実行されないようにする](#)

...[スキャン後、原稿を戻す](#)

...[長さの自動検出方法](#)


...[自動検出スキャンの長さ制限](#)

プレビュー解像度

[セットアップ] タブ ->  -> [スキャン中] -> [プレビュー解像度]


スクリーンプレビュー用のイメージ解像度を決定します (50dpi と 300dpi のいずれか)。解像度を低くするほどプレビューが高速になります。

排紙

[セットアップ] タブ ->  -> [スキャン中] -> [用紙の取り出し]


このオプションを使用すると、スキャン終了時にスキャナが自動的に排紙を行います。

自動プレビュー

[セットアップ] タブ ->  -> [スキャン中] -> [自動プレビュー]


このオプションを使用すると、スキャナに原稿を取りつけると同時に、自動的に出力プレビューが実行されます。

スキャン速度-バックアップ処理が実行されないようにする

[セットアップ] タブ ->  -> [スキャン中] -> [スキャン速度]

ワークステーションの性能によっては、確実にスキャンデータを適正かつ連続して処理できるように、スキャン中に「バックアップ」を繰り返すようにスキャナに指示することがあります。最大スキャン速度を低下させ、スキャナの処理能力をワークステーションの処理能力に合わせることでバックアップが実行されないようになります。[デフォルト] ボタンを使用すると、スキャン速度をデフォルト値に戻すことができます。


スキャン後、原稿を戻す

[セットアップ] タブ ->  -> [スキャン中] -> [スキャン後、原稿を戻す]

通常、スキャン終了後、原稿はスキャナの背面から排紙されます。このため、スキャナを壁の近くに設置している場合は、原稿をスキャナから取り出しづらくなります。このような場合は、[スキャン後、原稿を戻す] オプションを選択すれ


ば、スキャン終了後に原稿は元の位置まで巻き戻され、スキャナ前面から排紙することができます。

長さの自動検出方法

[セットアップ] タブ ->  -> [スキャン中] -> [長さの自動検出方法]

スキャナソフトウェアでは、[用紙]と[イメージ]の2つの方法でイメージの長さを検出できます。[用紙]を選択すると用紙の端が機械的に検出され、[イメージ]を選択するとイメージがプレスキャンされ、ソフトウェアを使用して、プレスキャンされたイメージの長さが算出されます。[用紙]ではプレスキャンが行われなため[イメージ]よりも短時間で検出が終了しますが、[イメージ]の方が正確な結果を得られます(用紙がイメージよりも長い場合など)。

自動検出スキャンの長さ制限

[セットアップ] タブ ->  -> [スキャン中] -> [自動検出スキャンの長さ制限]

このオプションにより、自動的に検出するイメージの長さの上限を設定できます。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

複数のプリンタでの印刷

[コピー] タブまたは [印刷] タブを使用して複数の部数を印刷する場合は、同時に複数のプリンタで印刷して時間を節約することができます。

各コピーまたはセットは1台のプリンタで印刷されますが、ジョブ全体をできる限り早く印刷するために、異なるコピーまたはセットが異なるプリンタに自動的に割り当てられます。

例1：同期プリンタが3台定義されている環境で、印刷リスト内の3つの異なる大判ファイルを印刷する場合、印刷ジョブを送信すると、ファイル1つにつき1台の同期プリンタが割り当てられて同時に出力が行われます。

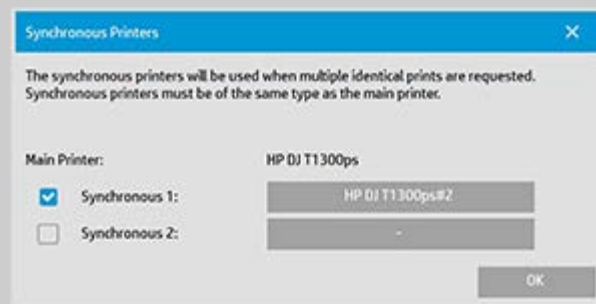
例2：同時プリンタが2台だけ定義されている環境で、1セット4枚のポスターを3回印刷する場合、4枚のポスターが1台のプリンタで2回印刷され (合計8枚)、もう1台のプリンタで1回印刷されます (合計4枚)。

複数のプリンタを使用するには...

1. [セットアップ] タブを選択します。
2. [プリンタ] ボタンを選択します。
3. ツール ボタンを選択して、[同期プリンタ] ボタン



を選択します。



4. メイン プリンタは常に最初のプリンタになります。その後、"メイン"プリンタと同時出力を行うプリンタを追加で1~2台選択することができます (選択できるプリンタの最高台数は3台です)。プリンタを追加するには、[同期1]、[同期2] ボタンを押します。

注記：同期プリンタは、メインプリンタと同じモデルである必要があります。

注記：[セットアップ]タブ ->  -> [システム]-> [プリ

ンタ ドライバのインストールセットアップ]タブ -> [プリンタ]
-> [ツール] ボタン -> [プリンタのセットアップ]を使用して、
すべてのプリンタを指定しておく必要があります。「[プリン
タの設置とプリンタドライバのインストール](#)」も参照してく
ださい。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



別のコンピュータからの共有ファイルへのアクセス

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

以下の手順では、同一のネットワーク上にある別のコンピュータから HP スキャナの共有ファイルフォルダにアクセスする方法を説明しています。

共有ファイルにアクセスするには、以下の情報が必要です。

HP スキャナシステムの IP アドレス。

システム管理者によって共有ファイルにアクセス保護が適用されている場合は、以下の情報も必要です。

2. FTP/WebDAVアクセスのログインおよびパスワード。

WebブラウザのアドレスフィールドにIPアドレスを入力するだけで、共有フォルダからファイルをダウンロードできます。システム管理者によって保護が適用されている場合は、FTP/WebDAVアクセスのログインおよびパスワードを入力するよう求められます。


ネットワーク上のコンピュータからの通常のアクセスを設定するには：

1. HP スキャナシステムの共有ファイルフォルダにアクセスするために使用するコンピュータで設定を行う必要があります。コンピュータは、HP スキャナシステムと同じネットワークにある必要があります。
 2. コンピュータのフォルダ共有オプション ダイアログを開きます。
 - **Windows**の場合：[ネットワーク ドライブの割り当て]-> [ドキュメントと画像の保存に使用できる Web サイトに接続します] オプション。
 - **Mac**の場合：[サーバへ接続] ダイアログ
 3. 画面の指示に従ってください。入力を求められた場合には、HP スキャナシステムの共有ファイルフォルダの URL を入力します。これは、**http://scanner_ip/images**となります。ここでは、*scanner_ip* はスキャナシステムの IP アドレスです (IP アドレスの確認方法については後述します)。
 4. ネットワーク コンピュータで設定を保存します。
-

システムから直接IPアドレス情報を取得するには：

注記：管理者パスワードを設定してアクティブにした場合、[詳細設定] ダイアログを表示してシステムから直接IPアドレス情報を確認する(以下で説明)には、パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードの入力が求められ、パスワードが分からない場合は、システムの管理者に IP アドレス情報をお問い合わせください。

1. [セットアップ] タブを選択します。
2.  -> [システム] -> [高度な設定] ボタンを選択します。
3. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
4. [ネットワーク設定] ボタンを押して、IPアドレス情報を表示します。

管理者の方へ - ログインとパスワードを設定して、システムを不正なネットワークアクセスから保護する方法については、「[ネットワークの設定](#)」を参照してください。

注記：FTPプロトコル経由で共有ファイルにアクセスすることもできます。この場合も上記と同様に、HP スキャナシステムの IP アドレスと、保護が適用されている場合は FTP/WebDAV アクセスのログインとパスワードが必要です。また、FTPクライアントプログラムも必要です。





システムに警告メッセージが表示される

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

システムにメッセージが表示された場合

1. メッセージに対応手順が記されています。
2. メッセージに関連する「問題の解決...」トピックを参照して、その手順に従います。

[スキャナの交換可能な部品の交換方法](#)

[スキャナのキャリブレーション方法](#)

以下も参照してください。
[システムメッセージの表示方法](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



使用方法 - システムメッセージの表示

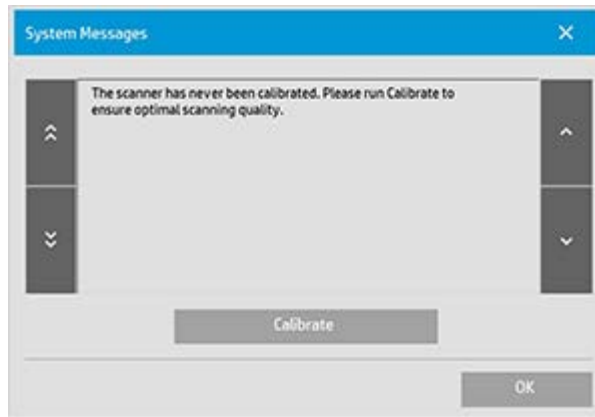
HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

このダイアログには、スキャナまたはプリンタに関するメッセージが表示され、キャリブレーションプログラムを起動する機能があります。



システムメッセージは、画面に一度だけ、自動的に表示されます。その後は、ステータスバーの赤く表示された「システムメッセージ(ここを押してください)」というテキスト(画面の左下)を押すと、メッセージを再表示できます。

システムメッセージには、報告されている問題の解決方法も表示されます。

【キャリブレーション】ボタン：

スキャナの問題はほとんどの場合、[キャリブレーション]を実行することで解決できます。このボタンを押すと、カメラのアライメントとキャリブレーションが開始されます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

スキャナの部品交換- HP HD Pro スキャナ

次の手順は、スキャナ モデル **HP HD Pro** のみに適用されます(システムのスキャナ モデルを特定する方法については、マニュアルを参照してください)。

HP HD Pro スキャナでは、長期間の使用によって消耗したスキャナの各種部品を交換することができます。

これらの部品を交換すると、スキャナが新しくなるため最適な結果が得られます。

部品を交換する前に、「[保守手順](#)」の説明どおりにスキャン領域をクリーニングして、それでエラーやイメージの問題が解消しないか確認します。

トピックの選択：

[ガラスプレートの交換](#)

[カバー裏の白いプラテンの交換](#)

[スキャナランプの交換](#)

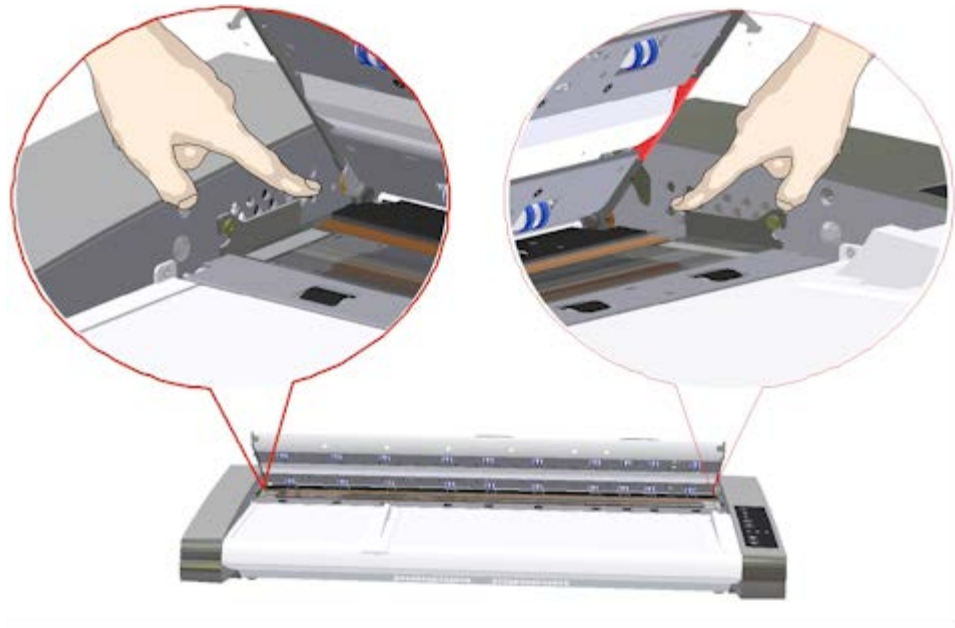
ガラスプレートの交換

ガラスプレートに小さな傷があっても、スキャン品質は低下します。そのような場合、新しいガラスプレートに交換することを勧めるメッセージが表示されます。このような場合、新しいプラテンに交換することをお勧めします。交換する前にクリーニングを行い、それによりエラーやイメージの問題が解消しないかを確認します。

ガラスプレートを交換するには：

1. スキャナの電源をオフにして、電源プラグを外します。カバー解除ボタンを押し下げて、スキャナカバーを開け、ガラスプレートが見えるようにします。
2. ガラスプレートレバーの引き上げ
 - a. ガラスプレートの左右に、内側に丸いレバーノブが付いた小さなレバーがあります。これがガラスプレートレバーです。

b.両方の丸いレバー ノブに指を当てます。

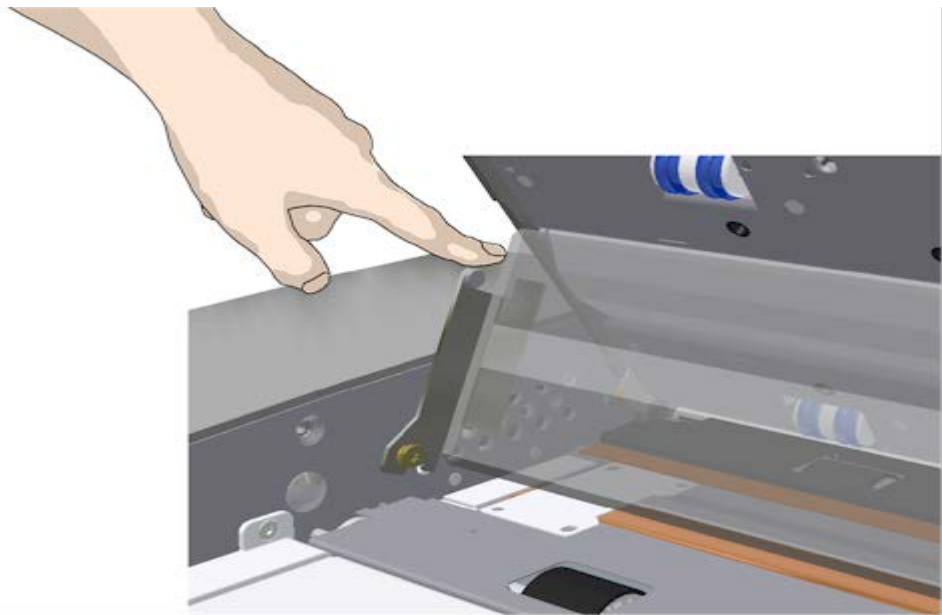


3. ガラス プレートを後ろに傾ける

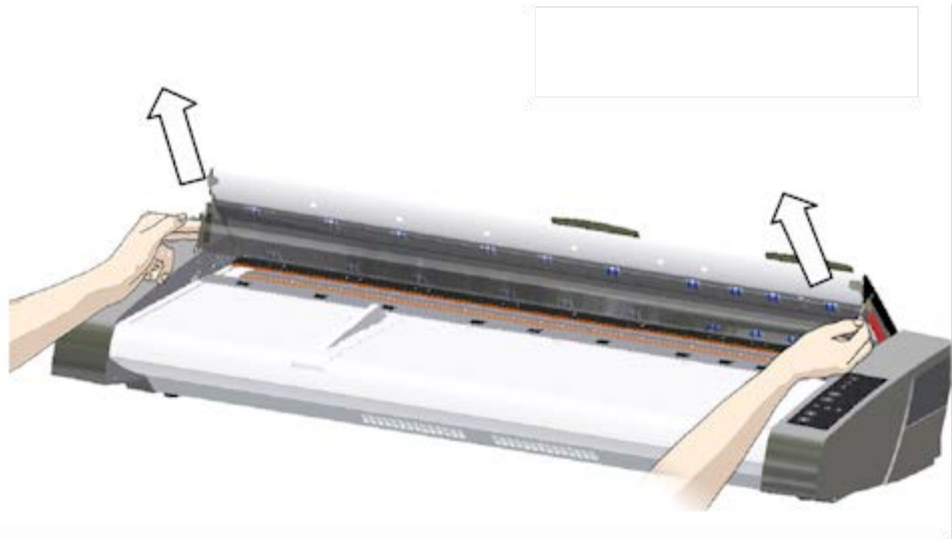
各ガラス プレート レバーの端に、円形のピンの上に載った小さなフックがあります。このフックによってガラス プレートがスキャナ本体に取り付けられているため、これを解除することによってガラス プレートをスキャナから取り外すことができます。まず、円形のピンを軸としてガラス プレートを上方に傾けます。

a.両方の腕で左右のレバーを同時に引き上げ、円形のピンを軸としてガラス プレートを自分の方へ傾けます。

b.ガラス プレートをフック上でスキャン領域の取り付け位置から完全に離れるまで後ろに傾け、ガラス プレートの両端に触れられる状態にします。



4. ガラス プレートをスキヤナの給紙台から持ち上げて外す
 - a. フックがピンから外れるまでガラス プレートを傾けて持ち上げます。
 - b. ガラス プレートをスキヤナから持ち上げます。



5. 新しいガラス プレートを取り付け

上記の手順を逆の順序で行い、新しいガラス プレートを取り付けます。ガラス プレートを慎重にスキャン領域にセットします。

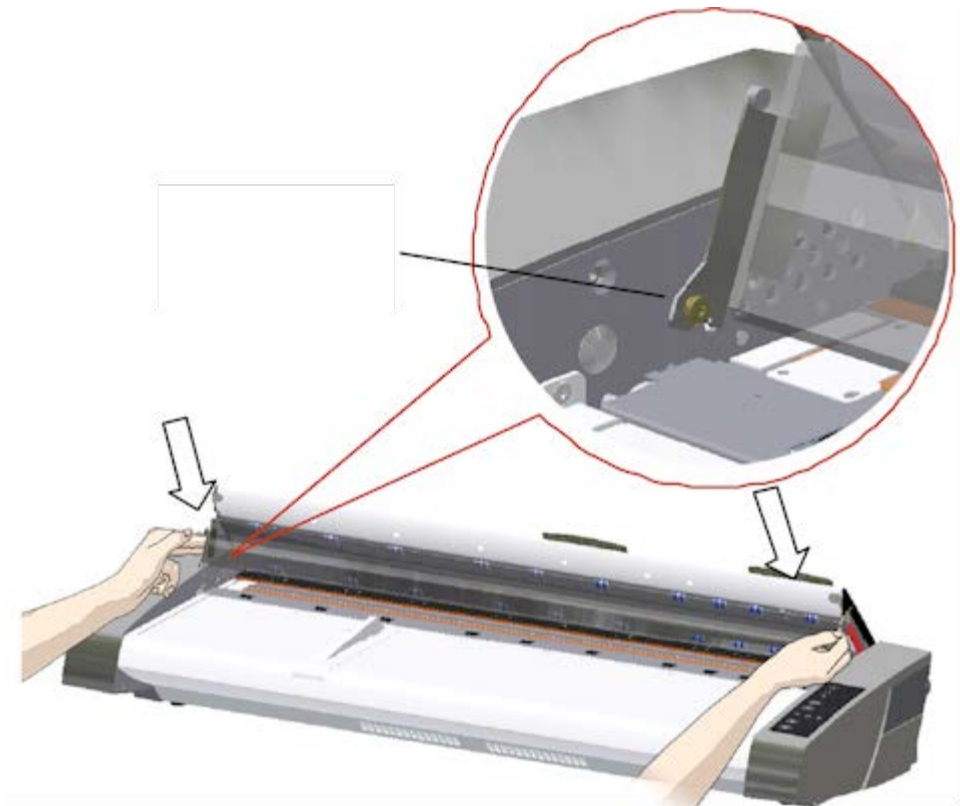
- a. 新しいガラス プレートのレバーのフックをスキヤナの左右にある円形のピンにはめ込みます。
- b. レバー ハンドルに指を添えて支えながらガラス プレートを慎重に下ろし (体から離す)、所定の位置にセットし

ます。

c. スキャン領域のカバーを閉めます。

注記：新しいガラスプレートを取り付けたときには、スキャンを行う前にガラスプレートをクリーニングすることをお勧めします。

注記：ガラスプレートを交換した後は再度キャリブレーションを実行することをお勧めします。



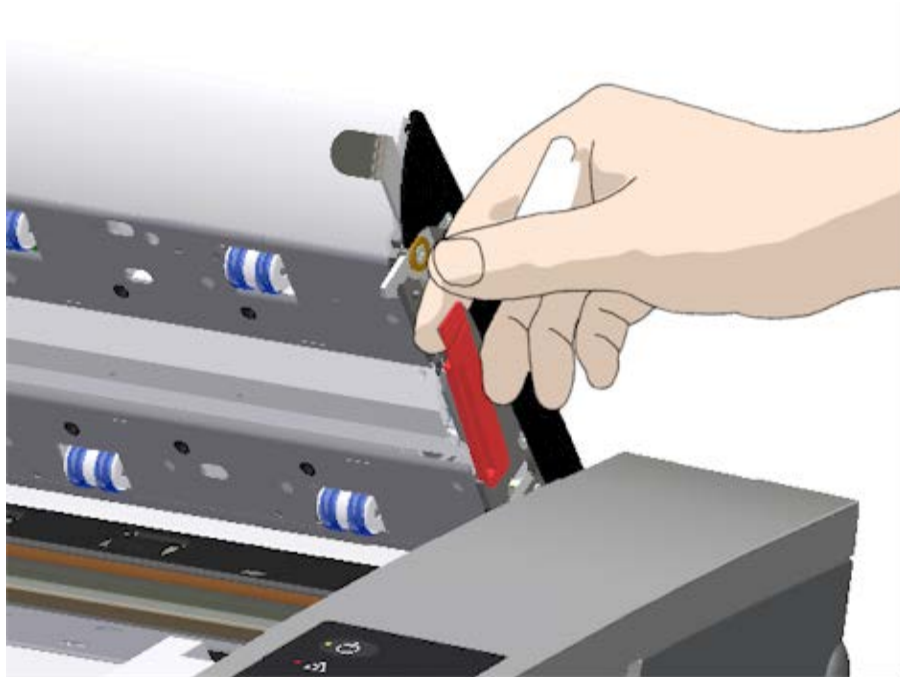
カバー裏の白いプラテンの交換

長期間の使用により、カバー裏の白いプラテンが劣化し変色してしまった場合は、新しいプラテンへの交換をお勧めします。カバー裏の白いプラテンは、交換する前にクリーニングを行い、それによりエラーやイメージの問題が解消しないかを確認します。

カバー裏の白いプラテンを交換するには：

1. スキャナの電源をオフにして、電源プラグを外します。カバー解除ボタンを押し下げてスキャナカバーを開きます。

2. カバーの右端に赤いストリップがあります。赤いストリップを取り外して、白いプラテンの端が見えるようにします。



5. 白いプラテンの端を指で握り、スキャナからスライドさせて外します。



6. 新しいプラテンを差し込みます。
7. 赤いストリップを再度取り付けます。
8. スキャン領域カバーを閉じると、カバーがロックされます。

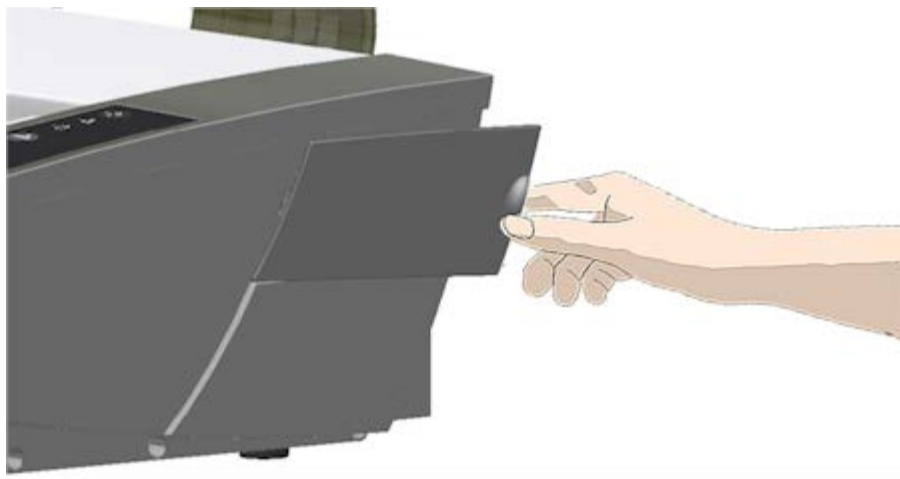
スキャナランプの交換

ランプの効率は時間とともに弱まっていきます。長期間使用した場合は、ランプユニット(ランプ、反射板、電源コネクタ)の交換をお勧めします。ランプを交換する前に、「[保守手順](#)」の説明どおりにスキャン領域をクリーニングして、エラーやイメージの問題が解消しないか確認します。

ランプユニットを交換するには：

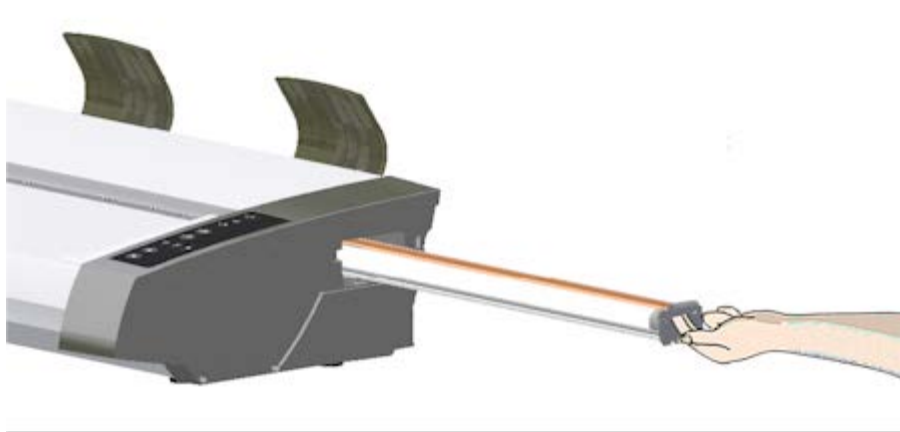
1. スキャナの電源をオフにして、電源プラグを外します。

2. ランプカバーは、スキャナの右端にあります。隙間に指を入れ、静かに後ろへ引いてカバーを外します。カバーを横へ引っ張り、ヒンジから外して取り外します。ランプユニットの端に手が届くようになります。

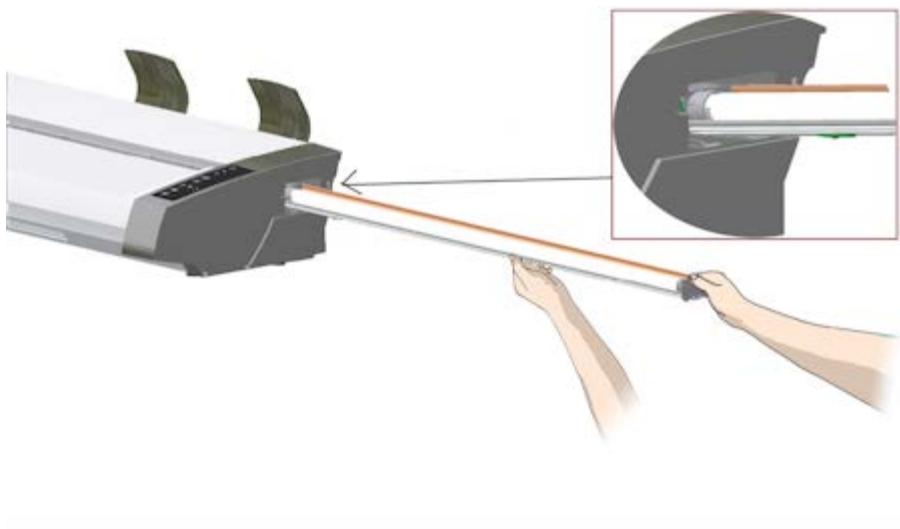


3. ランプユニットは全体を交換する必要があります。ランプユニット内には、リフレクタブレースに取り付けられたランプがあり、電源コネクタが固定されています。

ランプユニットの見える側にハンドルがあります。ハンドルを指で持ち、スキャナからランプユニットを慎重に引き抜きます。



4. 新しいランプユニットを挿入します。そのためには、電源コネクタがある側をスライダに合わせて、ランプユニットを慎重にスキャナに押し込みます。



5. ランプユニットの電源コネクタがスキャナ内部の電源接続部にはまるように、奥まで完全に押し込んでください。
6. ランプユニットのカバーをスキャナに取り付けるため、カバーの左側のタブをスキャナのノッチに合わせて、カバーをはめて閉めます。必ずカバーを取り付けてからスキャナの電源をオンにしてください。
7. 正しく交換されたことをテストするため、スキャナの電源をオンにし、ランプが点灯することを確認します。
8. 注記：必ずWIDSystemでランプユニット交換フラグをリ

セットしてください。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

ガラスプレートを交換するには- HP SD Pro スキャナ

次の手順は、スキャナモデル **HP SD Pro** のみに適用されます (システムのスキャナモデルを特定する方法については、マニュアルを参照してください)。

ガラスプレートに小さな傷があっても、スキャン品質は低下しません。そのような場合、新しいガラスプレートに交換することを勧めるメッセージが表示されます。

HP SD Pro スキャナのガラスプレートを交換できます。

ガラスプレートの交換

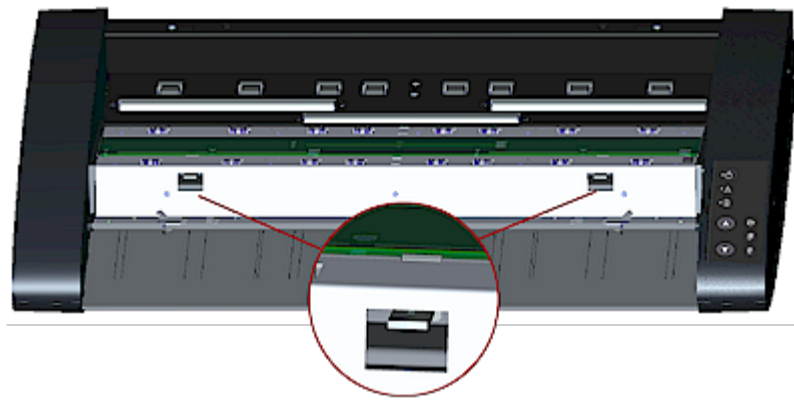
1. 電源をオフにしてカバーを開ける

スキャナの電源をオフにして、電源コードを抜きます。背面にある2つのカバー ロック解除ボタンをスキャナの中央に向かって押し、スキャナカバーを開きます。

2. ラッチ解除ボタンを確認する

次の図は、カバーを開けたスキャナを上から見たところです。摩耗したガラスプレートを交換するときに把握しておく必要のある主要な部品とボタンが示されています。

ガラスプレートは、2つの白い小さなプラスチック製ラッチで固定されています。各ラッチは、それぞれのラッチ解除ボタンを押し下げることによって、解除できます(下の図を参照)。ラッチ解除ボタンは、各ラッチの真下に位置する四角形の穴の中にあります。



3. ガラスプレートの取り外し-最初のラッチを解除

スキヤナの前に立ちます。スキヤナの右側から始めます。下の図を参照してください。

a.最初の(右端)ラッチを外すには、鉛筆や小さなねじ回しのような鋭利で平坦なツールが必要です。

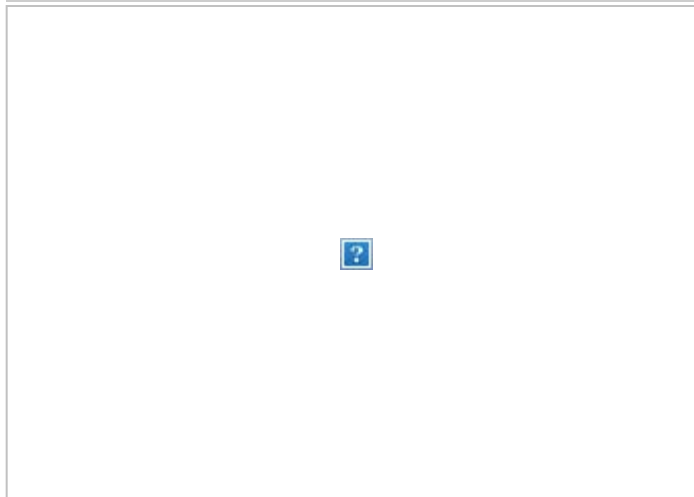
注記：残りのラッチを外すのに、ツールを使用する必要はありません。

b.スキヤナの右側にある矢印ラベルを見つけます。

c.矢印ラベルが示すガラスプレートの端の下にツールを差し込みます。同時に、最初の(右端)四角形の穴の中にあるラッチ解除ボタンを押します。

d.ボタンを押しながら、ツールを使ってガラスの端を慎重にめくり上げ、ガラスプレートが白いラッチから外れてラッチの上になるようにします。

e.ラッチ解除ボタンを放します。



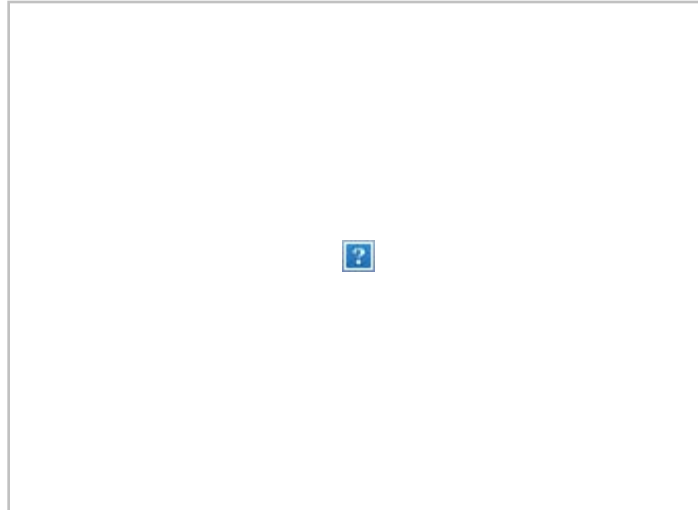
4. ガラスプレートの取り外し-2番目のラッチを解除

前の手順で最初のラッチを外した後は、2番目のラッチは

簡単に外せます。下の図を参照してください。

a.2番目の四角形の穴にあるラッチ解除ボタンを押します。

b.2番目のラッチはグリップを解除し、ガラスプレートはラッチから飛び出ます。



5. ガラスプレートの取り外し-ガラスプレートの端を持ち上げる

ラッチを解除した後、ガラスプレートを取り外すことができます。

a. スキャナの前面側に立ちます。

b. 右の図のように、スキャナの間中部に手を当て、親指をガラスプレートの下に入れます。

注記：ガラスの下に親指を入れることができない場合は、手順5で説明した鋭利で平坦なツールを使って、親指がガラスの下に入れられるまでガラスを傾けます。

c. ガラスプレートを後方に倒すように傾けて、両端を浮かせます。

d. 手を(一気に動かさず)徐々に、ガラスプレートの両端まで動かします。

e. それぞれの手に軽く力を入れて、ガラスプレートをスキャナから持ち上げて外します。



6. 新しいガラスプレートの挿入 - スキャナに新しいガラスプレートをはめ込む

a. 古いガラスプレートを取り外した時と同じやり方で、新しいガラスプレートを持ち上げます。ガラスプレートの表面に触れないように両端を持ってください。

注記：メンテナンス中に通常は清掃しないガラスプレートの裏面に触らないよう特に注意してください。

b. ガラスプレートを持ってスキャナの前に立ちます。ガラスプレートは、正しい面を下にして持ってください。両端のカットの方向によってガラスプレートの裏表を見分けることができます。下のガラスプレートの側面図を参照してください。1.=上面、2.=裏面

c. 下の側面図に示す裏面を自分の方に向けてガラスプレートを持ちます。

d. 下の側面図のように新しいガラスプレートを傾けてスキャナ内に下ろし、ガラスプレートの下側のエッジをスキャナの下側の溝に合わせます。

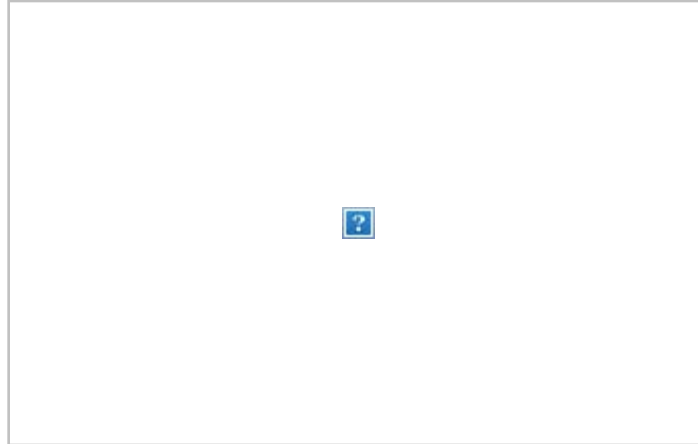
注意：ガラスプレートは長くて薄いため、割れやすくなっています。ガラスプレートを割らないように注意してください。

ガラスプレートはスキャナカバーに付いている上下の溝の間に収まります。カバー内の、ガラスプレートの下側にある溝を見つけます。これは、スキャナの前面に立った場合、ガラスプレートの向こう側に付いている溝です。

f. ガラスプレートの下側の端をガラスプレートの底にある溝に合わせます。

g. ガラスプレートがスキャナカバーの2つの溝(下側と上側にある溝)にはまるように、上側のエッジ(自分側に向い

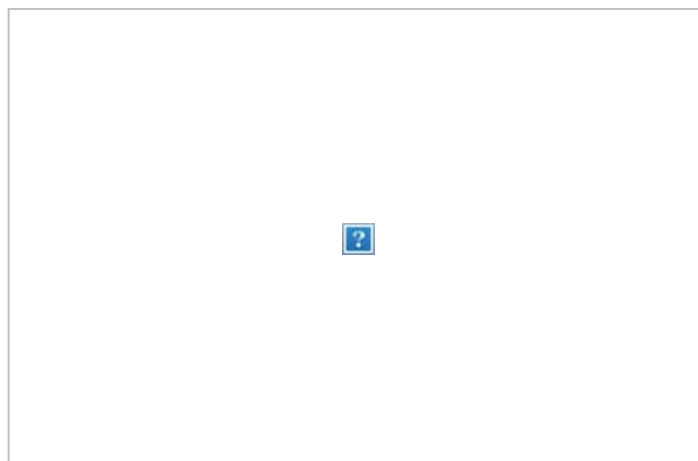
ている方)を慎重に下ろします。



7. 新しいガラスプレートを固定する

ガラスプレートは、2つのラッチで固定する必要があります。この時点では、ラッチはガラスプレートの下になっていますが上になるようにして、ガラスプレートの端を固定する必要があります。

- a. 右側から始めます。
- b. 最初の(右端)ラッチ解除ボタンを押します。
- c. もう片方の手で、ラッチ近くのガラスプレートを押込んでガラスプレートの端をラッチの下に押し込みます。
- d. もう一方のラッチにも同じ手順を繰り返します。
- f. 両方のラッチでガラスプレートの両端が固定されていることを確認します。



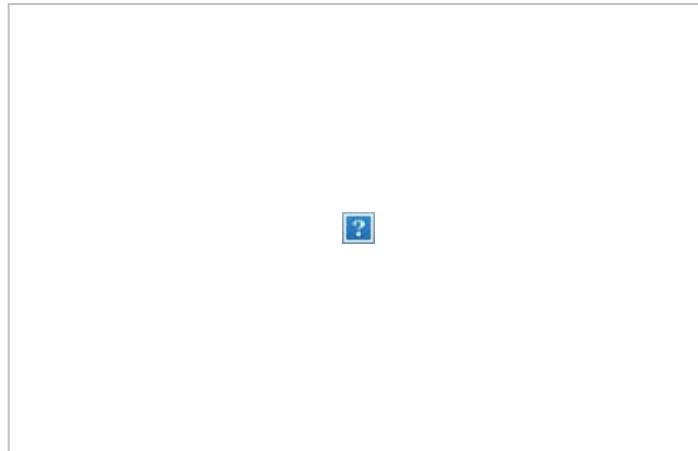
8. 新しいガラスプレートを清掃する

新しいガラスプレートの清掃には、糸くずの出ない新しいきれいな布を2枚使用します。

- a. スプレーなどを使用し、糸くずの出ない布に縞模様を残さないマイルドなガラスクリーナーを付けます。
- b. ガラスプレートを軽く拭きます。交換作業中にガラスプレートの表面に付いた可能性のある指紋や染みを探して拭き取ってください。
- c. もう1枚の糸くずの出ない乾いたきれいな布でガラスをから拭きして完全に乾かします。
- d. 液体がガラスの下に入り込まないように注意し、その部分を乾いた状態に保ってください。

注意：ガラスプレートやスキャンエリア内の他の箇所に液体をスプレーなどで直接かけないでください。

- e. 作業が終了したら、カチッという音がしてロックがかかるまで、スキャナカバーをゆっくり降ろします。





システムの日付と時刻の設定

HP Pro スキャナ


→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

日付と時刻を設定して、プログラムに認識させることができます。日付と時刻の設定は、アカウントティングに関係します。

日付と時刻を設定するには

1. [セットアップ] タブを押します。
2.  -> [システム] を押します。
3. [時刻と日付の設定] ボタンを押します。
4. まず、タイムゾーンを設定します。[タイムゾーン] ボタンを押して、現在地のタイムゾーンを選択します。
5. 必要に応じて、[夏時間の自動調整] を選択することもできます。
6. 現在地のタイムゾーンを選択したら、現在の日付と時刻を設定します。それぞれの値のボタンを押して設定します。値の設定にはキーボードを使用します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

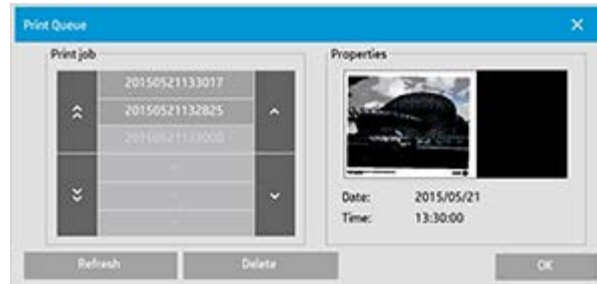
→ [アルファベット索引](#)

印刷キューの表示

一部のプリンタでは、メイン画面の下部に [印刷キュー] ボタンがあります。



現在のプリンタ ジョブのキューを表示するには、このボタンを押します。



印刷キューを表示するには

画面下部の [印刷キュー] ボタンを押します。



印刷キュー リスト ダイアログを利用して、出力待ちのジョブを管理できます。リスト内を移動して、不要なジョブを削除することができます。

印刷キュー ダイアログの [プロパティ] セクションには、キュー リストで選択したジョブのプレビューや追加情報を表示できる領域があります。

注記：この機能が使用できないプリンタ モデルもあります。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)


→ [問題の解決...](#)

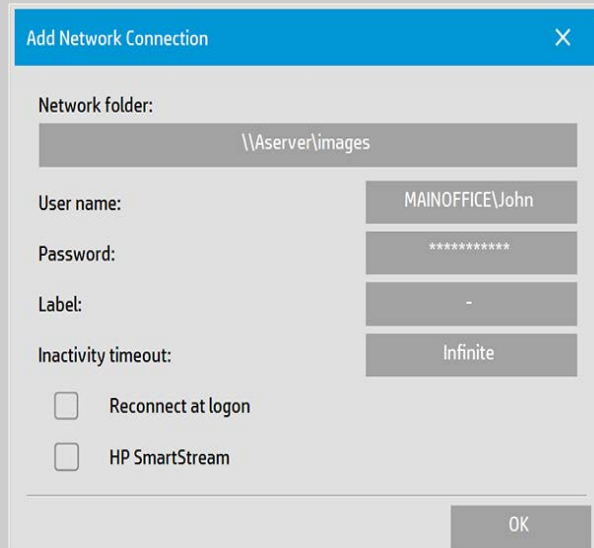
→ [アルファベット索引](#)

ネットワークフォルダにスキャンファイルを保存してアクセスするには

デフォルトでは、システムのフォルダ参照ダイアログには、ローカルドライブとフォルダのみが表示されます。このトピックでは、システムにネットワークの場所を追加する方法について説明します。追加操作の完了後は、ネットワークの場所とそこにあるフォルダを [スキャンしてファイルに保存](#) ([\[スキャン\] タブ](#)) ジョブの保存先として使用したり、[ファイルマネージャ](#) ([\[フォルダ\] ボタン](#)) を使ってアクセスしたりできるようになります。

ネットワーク接続を追加/保存/削除するには

1. システムをネットワークに接続しておきます。
2. [フォルダ] ボタンを押して [ファイル マネージャ] ダイアログを開きます。 
3. [ネットワーク] ボタンを押します。
4. [ネットワーク接続の追加] ボタンを押します。下のダイアログが開きます。これ以降の手順で説明するダイアログの設定について情報が必要な場合は、担当のネットワーク管理者にお問い合わせください。



5. [ネットワーク フォルダ] – ネットワーク上にあるフォルダへのフルパス名を入力します。ここでは、サーバ名、IPアドレスなど、ネットワークで認識される、有効な接続/場所を表す名前を指定できます。
6. [ユーザ名] – ネットワーク サーバ/マシンへのログインに使用するユーザ名です。コンピュータがネットワークド

メイン上にある場合は、組み合わせ

<domain name>\<user>をフィールドに入力します。例：
"MAINFOFFICE\John"

7. [パスワード]- ネットワーク サーバ/マシンへのログインに使用するパスワードです。
8. [ラベル] このラベルは、お使いの HP スキャナ システムの参照ダイアログに表示されるようになります。ネットワーク接続先の名前には他と識別できる名前を付けてください。
9. [非アクティブ タイムアウト]- この機能を使用して、ネットワーク接続の各タイムアウト値 (分単位) を設定し、セキュリティを強化できます。
注記：タイムアウト値を0 (無制限) に設定すると、ネットワーク接続はタイムアウトになりません。参照：[「ネットワーク接続の非アクティブ タイムアウトを使用するには」](#)
10. [ログイン時に再接続]- このオプションがオフの場合、パネルPCのシャットダウン時にネットワーク接続定義が自動的に削除されます。このオプションをオンにすれば、接続を保存しておき、システム起動時に必ずそれを有効にするように設定できます。
注記：[ログイン時に再接続] はユーザ機能です。このオプションは、システム管理者が有効にしている場合のみ表示されます。参照：[ネットワーク接続を保存できるようにするには](#)
11. HP SmartStream 追加したネットワークの場所を HP SmartStream のホットフォルダとして識別するにはこのオプションを選択します。
注記：HP SmartStream 基本設定のホットフォルダとして、同じネットワークの場所を追加する必要があります。

注記：ネットワーク接続は必要な数だけ追加することができます。ただし、このシステムでは同一のサーバで複数のユーザによる2つ以上のネットワーク接続は確立できません。

例：

最初にユーザ名「John」、
「\\server1\colorphotos」でネットワーク接続します。

その後、ユーザ「Judy」(または他のユーザ)が
「\\server1\pdffiles」

でネットワーク接続を試みます。すると、接続はシステムによって拒否されます。

ネットワーク接続の削除：

手動による削除：ネットワーク接続は、[フォルダ] ボタン



-[ネットワーク]-[ネットワーク/FTP接続の削除]の順に選択して削除します。


自動削除：ネットワーク接続定義が保存されていない場合(上記参照)は、パネルPCのシャットダウン時に自動的に削除されます。

保存された接続は手動で削除してください。たとえば、サーバの状況や権限が変更されたため、システム起動時に保存されたネットワーク接続で接続できない場合には、これを削除する必要があります。

ネットワーク フォルダにスキャンファイルを保存するには

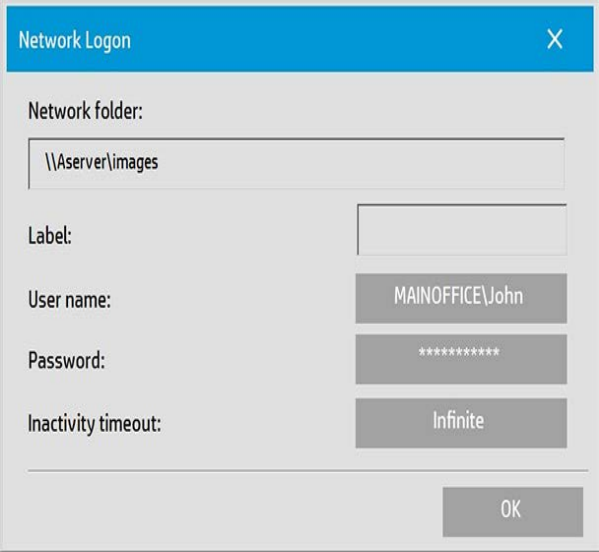
1. 前述の「ネットワーク接続を追加するには」のすべての手順を実行します。
2. [スキャン] タブを選択し、スキャンしてファイルに保存するジョブと同様の設定を行います。
3. [ファイル フォルダ] ボタンを押します。
4. 1つ上の階層に移動ボタン ([..]) を表示されなくなるまで押し、最上位の階層に移動します。最上位の階層にはアクセス可能なドライブのリストが表示されます。
5. このリストから、ネットワークの場所(前述の「ネットワーク接続を追加するには」の手順⁸で入力したラベルなど)を見つけます。
6. 目的のネットワークの場所を選択します。
7. 接続が完了すると、選択したネットワークの場所の下にあるフォルダに移動して、保存先として選択できるようになります。
8. 保存先フォルダとして使用するフォルダをハイライトして[OK]を押します。

ネットワークフォルダのファイルにアクセスするには

1. 前述の「ネットワーク接続を追加するには」のすべての手順を実行します。
2. [フォルダ] ボタンを押して [ファイル マネージャ] ダイアログを開きます。 
3. 1つ上の階層に移動ボタン ([..]) を表示されなくなるまで押し、最上位の階層に移動します。最上位の階層にはアクセス可能なドライブのリストが表示されます。
4. このリストから、ネットワークの場所 (前述の「ネットワーク接続を追加するには」の手順8で入力したラベルなど) を見つけます。
5. 目的のネットワークの場所を選択します。
6. ネットワーク上の場所でアクセスするフォルダに移動します。
7. 開くフォルダをハイライトして [OK] を押します。

ネットワーク接続の非アクティブ タイムアウトを使用するには

1. ネットワーク接続を追加する場合は、セキュリティのために、非アクティブ タイムアウトを指定できます。タイムアウト値を0 (無制限) に設定すると、ネットワーク接続はタイムアウトになりません。
参照：「[ネットワーク接続を追加/保存/削除するには](#)」
2. 非アクティブな期間が経過した後に、ネットワーク接続へのアクセスを試みると、下の [ネットワーク ログオン] ダイアログが表示されます。



3. [ネットワーク ログオン] ダイアログでは、ユーザ名、パスワード、または非アクティブ タイムアウト値を変更することができます。
注記：パスワードは必須であり、ネットワーク接続を再確立する場合は、必ず入力する必要があります。

4. ログオン情報またはタイムアウト値を変更したら、[OK] を押して接続します。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)


→ [問題の解決...](#)

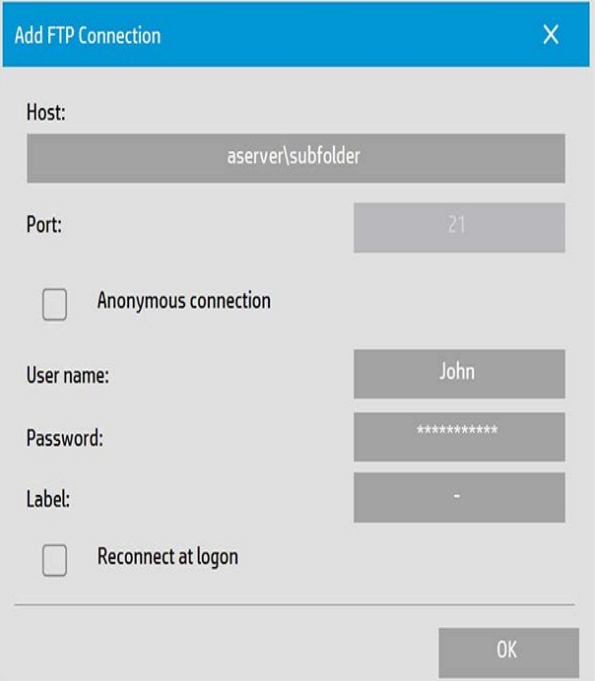
→ [アルファベット索引](#)

スキャンしてFTPサーバに保存する方法

デフォルトでは、システムのフォルダ参照ダイアログには、ローカルドライブとフォルダのみが表示されます。このトピックでは、スキャンして、ネットワーク上のFTPサーバに保存する方法について説明します。追加操作を完了すると、[スキャンしてファイルに保存 \(\[スキャン\] タブ\)](#) ジョブでこの保存先を使用できるようになります。

FTP接続を追加/削除するには

1. システムをネットワークに接続しておきます。
2. [フォルダ] ボタンを押して [ファイル マネージャ] ダイアログを開きます。 
3. [ネットワーク] ボタンを押します。
4. [FTP接続の追加] ボタンを押して、以下のようなダイアログ ボックスを開きます。これ以降の手順で説明するダイアログの設定について情報が必要な場合は、担当のネットワーク管理者にお問い合わせください。



Add FTP Connection X

Host: aserver\subfolder

Port: 21

Anonymous connection

User name: John

Password: *****


Label: -

Reconnect at logon

OK

5. [ホスト] – FTPサーバ上の場所 (サブフォルダを含む) の完全パス名を入力します。

6. [ユーザ名] – FTPサーバのログインユーザ名。
例：John
7. [パスワード] – FTPサーバのログインパスワード。
8. [ラベル] このラベルは、お使いの HP スキャナ システムの参照ダイアログに表示されるようになります。FTP 保存先だということがわかる名前を入力します。

FTP接続の削除：FTP接続は、[フォルダ] ボタン  -> [ネットワーク] -> [ネットワーク/FTP接続の削除] の順に選択して削除します。

スキャンしてFTPサーバに保存するには

1. 「FTP接続を追加するには」のステップを完了します。
2. [スキャン] タブを選択し、スキャンしてファイルに保存するジョブと同様の設定を行います。
3. [ファイル フォルダ] ボタンを押します。
4. 1つ上の階層に移動ボタン ([..]) を表示されなくなるまで押し、最上位の階層に移動します。最上位の階層にはアクセス可能なドライブのリストが表示されます。
5. FTPの場所、つまり、「FTP接続を追加するには」の手順8で作成したラベルが表示されるまでリストをナビゲートします。
6. FTP保存先を選択します。
7. 保存先フォルダとして使用するフォルダをハイライトして [OK] を押します。

注記：すべてのスキャンが、FTP接続の作成時に指定したFTPサーバ(またはサブフォルダ)に直接保存されます。FTP接続でファイル管理タスク(ファイルの削除、サブフォルダの作成など)は実行できません。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

HP Pro スキャナを初めて使用する前に

HP Pro スキャナをお選びいただき、ありがとうございます。

このヘルプ ページでは、このスキャナ システムを使用する前に必要となる最終的な手順について説明します。

まずこの手順を完了し、その後で、操作について疑問があればこのヘルプ システムを使用して答えを調べてください。

情報は以下の3つのカテゴリーに分かれています。

1. [プリンタを設置してプリンタ ドライバをインストールする。](#)
2. [キャリブレーションを実行する。](#)
3. [メディア プロファイルを作成する。](#)

ヘルプの手順の表示に関する注記：このページを印刷する必要はありません。ヘルプ トピックを表示中の場合は、[非表示] ボタンを押すとヘルプ ウィンドウが閉じるので、初めて使用する前に必要な手順を画面全体で確認できます。最後に表示していたヘルプ トピックはシステムに記憶されているので、再度 [?] ボタンを押すとそのヘルプ トピックが再表示されます。



まずこの手順を完了し、その後で、操作について疑問があればこのヘルプ システムを使用して答えを調べてください。このヘルプ システムの使用方法については、「[HP Designjet スキャナへようこそ](#)」を参照してください。

手順1：プリンタを設置してプリンタ ドライバをインストールする

スキャナ、ソフトウェア、およびプリンタを連係させて使用するには、まず HP スキャナ システムにプリンタを認識させる必要があります。

プリンタはLANで接続される必要があり、セットアップ時に正しいドライバを選択してインストールします。

プリンタとプリンタ ドライバのセットアップ手順については、以下のリンクを参照してください。

1. [プリンタの設置とプリンタドライバのインストール](#)

手順2：キャリブレーションを実行する

あらかじめキャリブレーションを実行しておくことで、最初から信頼性のある正確な性能が保証されます。スキャナが届き、開梱してセットアップしたら、クリーニングとキャリブレーションを実行してから使用を開始してください。その後は定期的にスキャナの保守を実行すると、すべてのジョブで信頼性のある安定した結果を得られるようになります。

1. [キャリブレーション\(クリーニング、キャリブレーション\)の手順を参照する](#)

手順3：プリンタのメディア プロファイルを作成する

メディア プロファイルには、特定のメディアでスキャナの色とプリンタの色を一致させるためのデータが保存されます。特定のカラー プリンタで使用するメディアのタイプごとに、メディア プロファイルを作成する必要があります。新しいメディア プロファイルは、カラー コピーに使用されます。コピー ジョブを開始する前に、プリンタに取り付けたメディアに対応したメディア プロファイルを選択します。この操作により、スキャナ、プリンタ、メディアというそれぞれの要素を調和させて、原稿とコピーの色を一致させることができます。

1. [...使用しているプリンタとメディアに合った新しいメディア プロファイルを作成するには](#)

おめでとうございます。HP スキャナシステムのセットアップが完了しました。いつでも高品質のコピーを作成することができます。





[サイズ変更] オプションを使用した出力サイズの設定方法

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

出力サイズを選択するには...

1. [スキャン] タブを押します。
2. [サイズ変更] ボタンを押します。

以下のいずれかのオプションを選択できます。

- [なし]：サイズは変更されません。出力サイズと入力サイズは同じサイズになります。
- [サイズ]：[出力サイズ] ダイアログが表示されます。ここで、カスタムまたは標準のサイズを設定できます。 [操作手順はこちらを参照してください](#)。
- [倍率]：[倍率] ダイアログが表示され、そこで倍率を指定できます。 [操作手順はこちらを参照してください](#)。

以下も参照してください。

...[入力サイズの設定](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)



→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

カラー精度の最適化

カラー精度を最適化するには、以下のガイドラインに従ってください。

ガイドライン...

1. スキャナのガラスプレートとカバー裏の白いプラテン/白いローラが汚れていないか、クリーニングやキャリブレーションなどのスキャナ保守を最近実行したかどうかを確認します。[キャリブレーション手順については、こちらを参照してください。](#)
2. スキャナをウォームアップしてからコピーを開始するまでに、最低1時間経過していることを確認します (HP HD Pro スキャナの場合のみ)。
3. プリンタに取り付けられている特定のメディアタイプ用のメディアプロファイルが存在することを確認します。存在しない場合は、新しいメディアプロファイルを作成します。[メディアプロファイルの作成手順については、こちらを参照してください。](#)
4. プリンタに取り付けられている特定のメディアのために作成されたメディアプロファイルが現在のジョブで選択されていることを確認します。選択されていない場合は、[コピー] タブ -> [メディアプロファイル] で選択します。[メディアプロファイルの選択手順については、こちらを参照してください。](#)
5. コピーする原稿が、このシステムまたは別のインクジェットプリンタで印刷したものであるかどうかを確認します。その場合は、[コピー] タブ ->  ダイアログ、または [印刷] タブ ->  ダイアログで [インクジェットで出力されたオリジナル] オプションをオンにします。[出力品質の設定手順については、こちらを参照してくだ](#)

[さい](#)。

6. カラー マップをコピーしていて、コピーの色の一部がグレーに見える場合は、原稿のタイプのテンプレートの[グレーを強調させる]オプションがオフになっていることを確認します。確認するには、[コピー] タブ -> [原稿のタイプ] -> [ツール] ボタン -> [詳細] -> [グレーを強調させる] を選択します。
「[原稿のテンプレートを定義するには...](#)」も参照してください。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

イメージが印刷されず、ジョブがキューで保留される

プリンタからイメージの印刷が開始されない場合は、ジョブが印刷キューで保留されている可能性があります。一部のプリンタでは、プリンタのキューを表示してこの問題を確認することができます。表示するには、画面下部の[印刷キュー]ボタンを押します。



プリンタでジョブが保留されて印刷されなくなる原因は、いくつか考えられます。以下を参照して問題を解決してください。

ジョブがキューで保留される場合...

1. 選択したメディア プロファイルがプリンタに取り付けられているメディアと対応していない場合、ジョブは保留されます。メディア プロファイルの設定が正しくないことがわかった場合は、「[メディアプロファイルの選択](#)」を参照してください。
プリンタに現在取り付けられているメディアのメディア プロファイルがシステムに存在しない場合は、「[新しいメディアプロファイルの作成](#)」を参照してください。
2. ジョブに定義されている出力サイズの幅が、プリンタに取り付けられているロール紙の実際の幅より広い場合、ジョブは保留されます。ロール紙を交換するか、出力サイズの幅を変更してください。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

バッチコピー、およびバッチスキャンしてファイルに保存

バッチコピーとバッチスキャンを利用すれば、パラメータを再調節したり[コピー]ボタンや[スキャン]ボタンを繰り返しクリックしたりせずに、1回のセッションで大量の原稿を処理することができます。



バッチスキャンの場合、スキャナに原稿を取り付けたら、後は作業の終了を待つだけです。同じ設定を必要とする原稿をひとまとめにスキャンする場合に便利です。


バッチスキャンにより、スキャンしてプリンタに出力(コピー)することもファイルに保存することもできます。コピーによるバッチスキャン、つまりスキャン後に直接印刷するオプションは、白黒描画などの原稿を高速印刷する場合に使用されます。

注記：HP PageWide プリンタでは、バッチスキャン機能はデフォルトで有効になっています。


...バッチコピー、またはスキャン to ファイルを実行するには

1. 同じ設定でスキャンする原稿を用意します。
2. 原稿のいずれかをスキャナに取り付けます。
3. 1枚の原稿をスキャンするときと同じようにパラメータを設定します。コピーの場合は[コピー]タブ、スキャンしてファイルに保存する場合は[スキャン]タブで設定を行います。

4. コピーの場合：
[コピー]タブ ->  -> [バッチスキャン]を選択して、[OK]を押します。  の準備ができれば、[コピー]ボタンを押します。

注記：HP PageWide プリンタの場合は[コピー]ボタンを  押します。

スキャンしてファイルに保存する場合は、次を選択します。

[スキャン]タブ ->  -> [バッチスキャン]を選択して、[OK]を押します。準備が完了したら、[スキャン to ファイル]ボタンを押します。



5. プログラムがバッチ スキャン モードで実行されます。オリジナルをフィードして直ちに保存、または印刷することができます。
6. [停止] ボタンをクリックすると、バッチ スキャン モードを中断できます。



その場合、原稿を取り付けてもすぐにスキャンされて保存されなくなります。バッチ スキャンを再開するには、[コピー] ボタンまたは[スキャンしてファイルに保存] ボタンを押します。

7. [設定] ボタンを使用してバッチ スキャン オプションをキャンセルするまでは、スキャナはバッチ スキャン モードのままの状態です。

ヒント：スキャナを、各スキャンが終了した時点で原稿を排出するように設定することができます。このように設定すると、次の原稿をフィードする経路をクリアすることができます。

そのように設定するには、[セットアップ] タブ ->



->

[スキャニング] -> [用紙排出] を選択します。

ヒント：バッチ スキャンしてファイルに保存する場合、自動的にファイル名を割り当てる機能を使用することができます。ファイル名の自動割り当ては、[スキャン] タブ -> [ファイル名] フィールドで、ファイルへのスキャンの設定を行う際に定義できます。詳しくは、[ヘルプトピックのファイルへのスキャン方法](#)を参照してください。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)


イメージを自動的に揃えるには

最高のスキャン結果を得るには、原稿をスキャナに挿入する際に正しい位置に取り付け、原稿がまっすぐに送られるようにする必要があります。しかし、大きい原稿を挿入する場合、向きがわずかに偏ることがあります。スキャン中にこれを電子的に修正するには、[自動アライメント] オプションをオンにします。

[自動アライメント] がオンにされていると、原稿のイメージの特徴に基づいて、スキャン中にアプリケーションがイメージの位置を揃えます。

[自動アライメント] は、コピー ([コピー] タブから実行) の場合にもスキャンしてファイルに保存する ([スキャン] タブから実行) 場合にも適用できます。

...コピーまたはスキャンしてファイルに保存するジョブで自動アライメントを適用するには

1. 原稿をできるだけ均等にスキャナに挿入します。
2. [コピー] タブまたは [スキャン] タブで、ジョブに必要なすべての設定を行います。
3. コピーの場合：
[コピー] タブ →  → [自動調整] を選択して、[OK] を押します。準備が完了したら、[コピー] ボタンを押します。



スキャンしてファイルに保存する場合：

[スキャン] タブ →  → [自動調整] を選択し

て、[OK] を押します。準備が完了したら、[スキャン to ファイル] ボタンを押します。



調整オプションの無効化

[自動調整] の選択を解除すると、調整がリセットされます。調整角度 (自動および手動のいずれも) がゼロ (調整なし) に設定されます。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

イメージの左右反転

[ミラー] オプションをオンにしてから [コピー] ボタンまたは [スキャン] ボタンを押すと、スキャン中にイメージが左右反転されます。

[ミラー] オプションは、コピー ([コピー] タブから実行) の場合にもスキャンしてファイルに保存する ([スキャン] タブから実行) 場合にも適用できます。

...コピーまたはスキャンしてファイルに保存する場合にイメージを左右反転させるには

1. 原稿をスキャナに挿入します。
2. [コピー] タブまたは [スキャン] タブで、ジョブに必要なすべての設定を行います。


3. コピーの場合：

[コピー] タブ ->  -> [ミラー反転] を選択し

て、[OK] を押します。準備が完了したら、[コピー] ボタンを押します。



スキャンしてファイルに保存する場合：

[スキャン] タブ ->  -> [ミラー反転] を選択し

て、[OK] を押します。準備が完了したら、[スキャン to ファイル] ボタンを押します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

出力マージンの設定

標準の[マージン]と追加の[外部マージン]を設定できます。

どちらの設定でも、上、下、左、右の値を定義できます。

注記：[マージン]は、スキャンしてファイルに保存するジョブには関係ありません。[スキャン]タブで作業する場合は、すべてのマージン値は自動的にゼロに設定されます。

「[マージン](#)」は、選択したスキャン領域内に作成され、イメージのエッジを[マージン]の値によって定義された幅の余白と置き換えます(イメージの「切り取り」)。

[マージン]の値は、設定した[出力サイズ]から差し引かれます。つまり、最終的なコピーサイズが維持されます。

拡大縮小を行う場合、スキャン領域のマージンの切り取り効果(エッジの切り取り幅)が、入力サイズと出力サイズ(拡大縮小値)の関係に合わせて調整され、実際のマージン値が印刷結果に適用されます。

拡大縮小を行わない場合(1対1コピー)、実際のマージン値が印刷結果に適用され、スキャン領域で切り取られたエッジの幅に等しくなります。

詳しい説明については、[例](#)を参照してください。

[外部マージン] オプションを使用すると、スキャン領域に追加マージンを加算できます。したがって、スキャン領域をそのままにしてコピーのエッジに余白を加算できます。最終的なコピーサイズは、設定した出力サイズに合わせて拡大します。

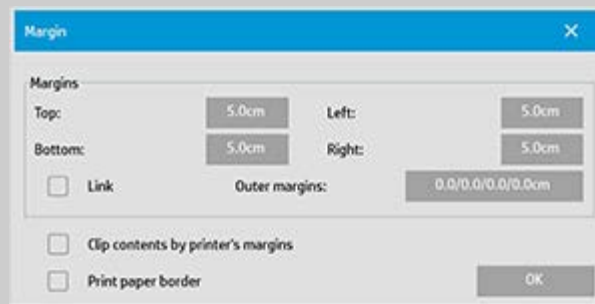
例では、マージンと外部マージンを実際に適用した場合について説明します。

[マージン]と[外部マージン]を使用して、不要なエッジを切り取ることができます。また、原稿の低品質(変色、不鮮明)のマージンを切り取り、最終結果に追加の余白マージンを加算できます。

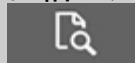
...マージンの設定

[マージン] オプションは、コピーのエッジに余白を適用しません。[マージン]は、イメージ(スキャン領域)のエッジを余白で置き換えます。

1. [セットアップ] タブを選択します。
2. [セットアップ] ダイアログで [マージン] ボタンを押します。[マージン] ダイアログが表示されます。



3. [マージン] ダイアログで、[上]、[下]、[左]、[右] マージンを設定します。
4. イメージの四辺ですべて等しいマージンを使用する場合は、[リンク] オプションを使用します。[リンク] オプションをチェックすると、マージン値の入力は、4つのフィールドの1つだけで済みます。
5. 大部分のプリンタでは、用紙の一番端から印刷を開始できないので、出力にマージンが必要になります。[プリンタのマージンに合わせて印刷内容を切り取る] オプションを有効にすることにより、この強制マージンを考慮するように選択できます。詳細については、[\[プリンタのマージンに合わせて印刷内容を切り取る\] オプション](#)を参照してください。
6. 出力サイズ枠の周りを薄い黒線で囲むには、[用紙枠を印刷] オプションをクリックします。大判プリンタ用ロール紙に幅の広い印刷をする際には、このオプションによって切り取り線が印刷され、正確に定義した出力サイズで印刷を終了できます。
7. [プレビュー] 画面に表示された [用紙フレーム] の幅は、[出力サイズ] に関連したマージン設定を反映し、[入力サイズ] (スキャン領域) も考慮するため、入力イメージがどのように切り取られるかが正確に表示されます。[プレビュー] ボタンを押すと、設定で定義したマージンでプレビューがロードされます。[マージン] をゼロに設定した場合、[プレビュー] 画面に取り込む範囲を表すために細いフレームが表示されます。



...外部マージンの使用

[外部マージン] オプションは、スキャン領域をそのままにして、コピーのエッジに余白を追加します。

1. [セットアップ] タブを選択します。
2. [セットアップ] ダイアログで [マージン] ボタンを押します。[マージン] ダイアログが表示されます。



3. [外部マージン] ボタンを押します。
4. [外部マージン] ダイアログで、[上]、[下]、[左]、[右] マージンを設定します。
5. イメージの四辺ですべて等しい外部マージンを使用する場合は、[リンク] オプションを使用します。[リンク] オプションをチェックすると、外部マージン値の入力は、4つのフィールドの1つだけで済みます。
6. 大部分のプリンタでは、用紙の一番端から印刷を開始できないので、出力にマージンが必要になります。[マージン] ダイアログの [プリンタのマージンに合わせて印刷内容を切り取る] オプションを有効にすることにより、この強制マージンを考慮するように選択できます。詳細については、[\[プリンタのマージンに合わせて印刷内容を切り取る\] オプション](#)を参照してください。
7. 新しい出力サイズ枠の周りを薄い黒線で囲むには、[用紙枠を印刷] オプションをクリックします。大判プリンタ用ロール紙に幅の広い印刷をする際には、このオプションによって切り取り線が印刷され、正確に定義した出力サイズで印刷を終了できます。

...[マージン]および[外部マージン]の使用例

例1：

入力サイズ：10x10インチ

出力サイズ：10x10インチ (拡大縮小なし)

[マージン] 設定：すべての端で1インチ

[外部マージン] 設定：すべての端で0インチ

結果：合計サイズ10x10インチ、スキャン領域8x8インチ、すべての端で1インチの余白

説明：1インチのマージンは、スキャン領域のすべての端(四辺)から差し引かれて、8x8インチのスキャン領域を作成します。合計サイズは、[マージン] 設定による余白が出力サイズから差し引かれ、加算されるものがないため、出力サイズ(拡大縮小がない場合は入力サイズ)と等しくなります。

例2：

入力サイズ：10x10インチ

出力サイズ：10x10インチ (拡大縮小なし)

[マージン] 設定：すべての端で0インチ

[外部マージン] 設定：すべての端で1インチ

結果：合計サイズ12x12インチ、スキャン領域10x10インチ、すべての端で1インチの余白

説明：[マージン] は0インチに設定されているので、スキャン領域からは何も差し引かれず、10x10インチのスキャン領域はそのまま残ります。合計サイズは、[外部マージン] が1インチに設定されており、余白の1インチがすべての端(四辺)に加算されるため、12x12インチとなります。

例3：

入力サイズ：10x10インチ

出力サイズ：10x10インチ (拡大縮小なし)

[マージン] 設定：すべての端で1インチ

[外部マージン] 設定：すべての端で1インチ

結果：合計サイズ12x12インチ、スキャン領域8x8インチ、すべての端で2インチの余白

説明：1インチのマージンは、スキャン領域のすべての端から差し引かれて、8x8インチのスキャン領域を作成します。1インチの外部マージンがこの余白に加算されて、合計2インチの余白になります。加算された1インチの[外部マージン] (外部マージンのみ) が、四辺すべてで1インチだけ合計出力サイズを拡張するので、12x12インチの出力結果になります。

例4：

入力サイズ：10x10インチ

出力サイズ：20x20インチ (2倍率)

[マージン] 設定：すべての端で1インチ

[外部マージン] 設定：すべての端で1インチ

結果：合計サイズ22x22インチ、スキャン領域9x9インチ、すべての端で2インチの余白

説明：例4では、拡大縮小倍率をスキャン領域(入力)に適用し

たマージン値を示しています。つまり、出力サイズが入力サイズより大きい場合です。前の例のように、1インチのマージン値は出力サイズから差し引かれ、この1インチの余白と1インチの外部マージンがプリンタに出力され、合計で2インチ幅の余白になります。しかし、拡大縮小倍率により、入力中のスキャン領域内で取られる1インチのマージンは、自動的に相対的に削減される（この場合、1対2なので2分の1）ので、入力中にすべての端から1/2インチのみスキャン領域から差し引かれます。このように、スキャン領域の切り取りは、拡大された最終結果に対して定義された[マージン]と、通常の目的に合わせるために、論理的に調整されます。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)


→ [アルファベット索引](#)

縦方向入力および横方向出力

[自動横置き] オプションは、スキャナの幅が狭く、原稿を縦置き方向(短い端から送る)にしか差し込むことができないので、スキャナに横置きに入力できない原稿を横置きでコピーをする場合に便利です。

注記：イメージを回転させる処理は多くの時間がかかり、またリソースも消費します。したがって、このオプションは、原稿を横置きに差し込むことができない場合にのみ使用してください。

...自動横置きの設定

1. [コピー] タブを選択します。
2. [コピー] タブで  を押すと、次のダイアログが表示されます。



3. [回転] ボタンを押し、[自動横置き] を選択します。
[OK] を押して設定を保存し、終了します。
4. 自動横置きが有効なときは、出力を 90°回転させます。この処理は、コピー原稿がスキャンの最大幅より長くプリンタの [メディア幅の設定](#) より短い場合にのみ実行されます。つまり、スキャナがスキャンできる幅より広く印刷するプリンタの場合に、この設定が有効であれば、印刷

幅全体を使用できます。

5. この設定は、プリンタ (メディア幅) がスキャナと等しいか狭い状態では効果がありません。このような状況では、プリンタの出力方向としてスキャナを取り付けることにより読み込み方向が等しくなる場合、ユーザがコピー方向を手動で制御できます。

...印刷マージンの設定方法

1. [セットアップ] タブを選択します。
2. [セットアップ] タブで、[プリンタ] ボタン、[ツール] ボタン、[高度な設定] ボタンの順に押します。次のダイアログが表示されます。



3. プリンタ マージンを選択し、設定します。
[OK] をクリックして、保存し、終了します。





部単位コピー

HP Pro スキャナ


→ [使用方法...](#)

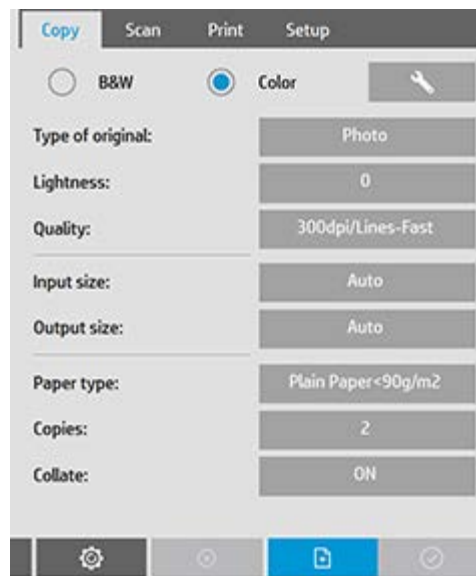
→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

丁合い機能により、複数のコピーをセットとしてグループ化して、それらのセットを指定した数だけプリンタに出力することができます。1枚の原稿のコピーで使用可能なすべてのプレビューおよび拡張機能のオプションを、丁合い機能を使用しているときも使用できます。

HP PageWide プリンタ モデルでは、丁合い機能の動作が異なります。HP PageWide プリンタで丁合いセットを作成する方法を[参照してください](#)。

注記：バッチ スキャンが有効になっている場合、 は使用できません。



注記：[丁合い] オプションは、セット数(部数)が2以上の場合にのみ指定できます。


丁合い(照合)コピー - コピーセットの作成


1. セット内の最初の原稿をスキャナに挿入します。
2. [コピー] タブを押します。
3. [コピー] タブ ダイアログでコピーの設定を指定します。

必要に応じて、[プレビュー] ボタンを押して、画面を調

節したり、テストしたりできます。

4. [部数] ボタンを押して、セット数を指定します。
部数は、プリンタに出力されるセット数(入力したすべての原稿が含まれている)を表します。

5. [ページを追加] ボタンを押します。 
原稿は1枚の場合と同様に入力(キャプチャ)されますが、プリンタに出力されるのではなく、システム内部に一時的に保存されます。

6. セットに属する次の原稿を挿入して、ページを追加ボタン  を押します。セット内のすべての原稿がスキャンされるまで、この作業を繰り返します。


セット内のそれぞれのコピーは、1枚の原稿をコピーする場合と同様に調節できます。

7. [完了] ボタンをクリックして全体のコピージョブを開始します。



キャンセル ボタンを押すことで、丁合いセッションをいつでもキャンセルできます。 

HP PageWide プリンタで丁合いセットを作成するには

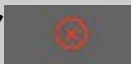
1. セット内の最初の原稿をスキャナに挿入します。
2. [コピー] タブを押します。
3. [コピー] タブ ダイアログでコピーの設定を指定します。
4. [部数] ボタンを押して、セット数を指定します。
部数は、プリンタに出力されるセット数(入力したすべての原稿が含まれている)を表します。
5. [ページを追加] ボタンを押します。 
原稿は1枚の場合と同様に入力(キャプチャ)されますが、次のオリジナルがスキャンされ、プリンタに送信されるまで、システム内部に一時的に保存されます。
6. セットに属する次の原稿を挿入して、セット内のすべての原稿がスキャンされるまで、この作業を繰り返します。

セット内のそれぞれのページは、1枚の原稿をコピーする場合と同様に調節できます。

注記：HP PageWide プリンタでは、[バッチスキャン](#)はデフォルトで有効になっています。

7. [完了] ボタンをクリックして全体のコピー ジョブを開始します。



キャンセル ボタン  を押すことで、丁合いセッションをいつでもキャンセルできます。キャンセル ボタンを押すと、追加された最後のページを削除するか、マルチページセッション全体を削除するかを選択するオプションが提示されます。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

システム上のイメージファイルを管理するには

アクセスおよび管理する必要があるイメージファイルを、いつでもシステムのハードディスクに含めることができます。

以下の場所にあるファイルを含めることができます。

- [スキャン] タブを押してシステムに保存したイメージファイル
- ネットワーク上の別のコンピュータからインポートされた、または別のコンピュータにあるイメージファイル
- 外付けドライブ (USB) に保存されているイメージファイル

これらのファイルで、以下の操作を行うことができます。

- [リストに追加]：[印刷] タブから印刷リストにファイルを追加する。注記：[ファイル管理] ダイアログでファイルを移動、削除、または名前を変更した場合、操作結果は印刷リストに反映されず、ファイルが印刷できなくなります。
- ハードディスク/システム、またはアクセス可能な場所からファイルを削除する。
- システム上のフォルダ間でファイルをコピーまたは移動する。
- ファイル名を変更したり、新しいフォルダを作成する。

これらのすべての操作は、[ファイル管理] ダイアログで実行します。

[ファイル管理] ダイアログでは、以下のファイル形式のファイルにアクセスできます。

- Jpeg、Jpeg 2000、Tiff、Cal、PDF*

* 詳細は、「[ファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」と「[\[印刷\] タブの印刷リストにファイルを追加するには](#)」を参照してください。

[ファイル管理] ダイアログを開くには

以下の2つの方法で [ファイル管理] ダイアログを表示できます。

1. 画面下部の [フォルダ] ボタンを押します。



2. [印刷] タブ ダイアログの [リストに追加] ボタンを押しま

す。



【ファイル管理】ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには

1. 上のフォルダに移動するための [..] ボタンを押すと、1つ上のフォルダに移動します。

ローカルフォルダ：外付けドライブを含め、システムが利用できるすべてのドライブにあるフォルダを参照できます。Cドライブはシステムファイル専用として予約されているため、システムは利用できません。

ネットワークフォルダ：デフォルトでは、このダイアログには、ローカルドライブとフォルダのみが表示されません。システムにはネットワークの場所を追加することができます。手順については、ヘルプの「[ネットワークフォルダにスキャンファイルを保存してアクセスするには](#)」を参照してください。

2. フォルダ名をクリックすると、そのレベルに移動します。
3. ファイル名の左側のボックスをオンにして、操作対象のファイルを選択します。
4. [全て選択] を押すと、現在表示されているフォルダ内のすべてのファイル名の左側のボックスがオンになります。
5. [すべて選択解除] を押すと、現在表示されているフォルダ内のすべてのファイル名の左側のボックスがオフになります。

6. イメージのプレビューや情報(名前、形式、サイズ、ファイルサイズ、作成日時)を表示するには、イメージをクリックします。
7. 注記：非アクティブタイムアウトがネットワーク接続に適用されている場合は、ファイル管理の操作で追加のログオン情報が必要になります。
参照：[「ネットワーク接続の非アクティブタイムアウトを使用するには」](#)

プレビューに関する注記： PDFファイルは、あらかじめ生成されたサムネイルが含まれている場合のみプレビューできます。[スキャン]タブを使ってシステム上に作成したPDFファイルにはサムネイルが含まれていますが、外部からインポートしたPDFファイルの場合、サムネイルが含まれていないことがあります。

【印刷】タブの印刷リストにファイルを追加するには

1. 【印刷】タブを押します。
2. 【リストをクリア】ボタンを押すと、空の新しいリストが表示されます。
3. 【リストに追加】ボタンを押して、【ファイル管理】ダイアログを表示します。
4. ファイル名の左側にあるボックスをオンにして、印刷リストに追加するファイルを選択します。
注記：【リストに追加】では、印刷可能なファイル形式のファイルにのみアクセスできます(PDFにはアクセスできません)。
5. 【全て選択】または【すべて選択解除】を使用して、現在のフォルダ内のすべてのファイルを一度に選択/選択解除することができます。
5. ファイルの選択方法の詳細については、上記の「[【ファイル管理】ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」を参照してください。
6. ファイルの移動、コピー、削除、および名前の変更方法の詳細については、このページのファイル管理に関する説明を参照してください。
7. 【OK】ボタンを押して、オンにしたファイルを印刷リストに追加し、【印刷】タブに戻ります。【印刷】タブには、ファイルが挿入された状態の印刷リストが表示されず。

印刷リスト(【印刷】タブ)内のファイルに関する注記：【ファイ

ル管理] ダイアログでファイルを移動、削除、または名前を変更した場合、ファイルは印刷リストに表示されたままになりますが、印刷できなくなります。

システムからファイルを削除するには

新規ファイル用の空き容量を確保するためには、スキャンしたファイルをアクセス可能なフォルダから随時削除する必要があります。それには、以下の2つの方法があります。

1. 削除するファイルを検索して、ファイル名の左側にあるボックスをオンにして選択します。ファイルの選択方法の詳細については、「[「\[ファイル管理\]ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには」](#)」を参照してください。
2. [削除] ボタンを押して確認します。

印刷リスト ([印刷] タブ) 内のファイルに関する注記：[ファイル管理] ダイアログでファイルを移動、削除、または名前を変更した場合、ファイルは印刷リストに表示されたままになりますが、印刷できなくなります。

システム上のファイルの名前を変更するには

1. 名前を変更するファイルを検索して、ファイル名の左側にあるボックスをオンにして選択します。ファイルの選択方法の詳細については、「[「\[ファイル管理\]ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには」](#)」を参照してください。
2. [名前の変更] ボタンを押します。現在のファイル名が表示された編集ボックスが表示されます。名前を変更して、[OK] を選択します。
3. 一度に複数のファイルを選択することもできます。複数のファイルを選択して [名前の変更] ボタンを押すと、各ファイルの名前を順に入力できるようになります。

印刷リスト ([印刷] タブ) 内のファイルに関する注記：[ファイル管理] ダイアログでファイルを移動、削除、または名前を変更した場合、ファイルは印刷リストに表示されたままになりますが、印刷できなくなります。

システムに新しいフォルダを作成するには

1. 新しいフォルダを作成するディレクトリ/フォルダを検索して選択します。ファイルシステムの参照方法の詳細については、「[「\[ファイル管理\]ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには」](#)」を参照してください。
2. [新しいフォルダ] ボタンを押します。
3. 編集ボックスに新しいフォルダの名前を入力して [OK] を押します。
4. 新しいフォルダが、現在のディレクトリのサブフォルダとして挿入されます。

システムの別のフォルダにファイルをコピーするには

1. コピーするファイルを検索して、ファイル名の左側にあるボックスをオンにして選択します。ファイルの選択方法の詳細については、「[「\[ファイル管理\]ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには」](#)」を参照してください。複数のファイルを選択して、それらを同じ保存先フォルダにコピーすることもできます。
2. [コピー] ボタンを押します。
3. [保存先フォルダ] ダイアログが表示されます。保存先フォルダを選択するか、システム上に新しいフォルダを作成します。
4. [OK] を押して、保存先フォルダにファイルをコピーします。

システムの別のフォルダにファイルを移動するには

1. 移動するファイルを検索して、ファイル名の左側にあるボックスをオンにして選択します。ファイルの選択方法の詳細については、「[「\[ファイル管理\]ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには」](#)」を参照

してください。複数のファイルを選択して、それらを同じ保存先フォルダに移動することもできます。

2. [移動] ボタンを押します。
4. [OK] を押して、保存先フォルダにファイルを移動します。

印刷リスト ([印刷] タブ) 内のファイルに関する注記：[ファイル管理] ダイアログでファイルを移動、削除、または名前を変更した場合、ファイルは印刷リストに表示されたままになりますが、印刷できなくなります。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

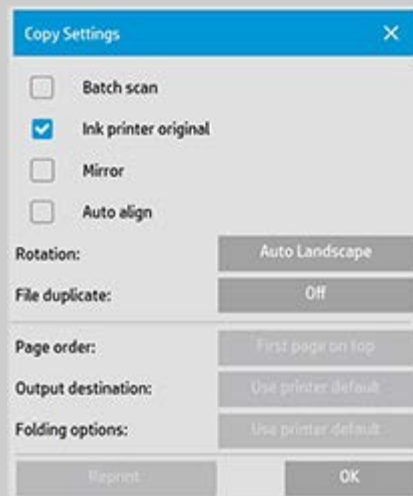
コピーの複製をファイルに保存するには

コピーの複製を保存するように設定できます。このオプションを有効にすると、[コピー] ボタンを押して「スキャンして印刷」処理を開始するたびに、スキャンしたイメージが含まれたファイルがシステムに保存されます。

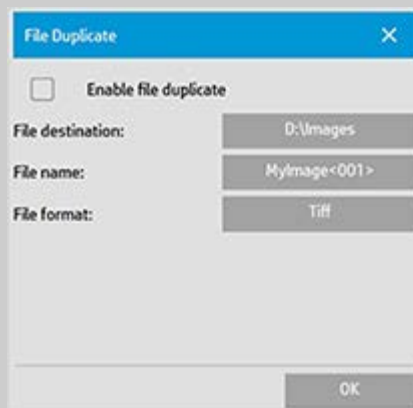
コピーの複製をファイルに保存するには...

1. [コピー] タブを押します。

2.  を押します。



3. [ファイルの複製] ボタンを押します。



4. [ファイルの複製の有

効化]オプションをオンにします。

5. イメージファイルの保存先を変更するには、[ファイル保存先]ボタンを押します。
6. イメージファイルに特定の名前を付けるか、既存ファイルが上書きされないようにするには、[ファイル名]ボタンを押します。フィールドには自動命名パラメータ(カウンタ、日付、時刻など)が含まれており、新しいファイルを動的に作成できます。ファイルの自動命名パラメータの使用についての詳細は、[こちら](#)を参照してください。
7. ファイルの保存形式を変更するには、[ファイル形式]ボタンを押します。
8. この機能を無効にするには、[ファイルの複製の有効化]オプションをオフにします。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)



→ [アルファベット索引](#)

ネットワーク接続の保存を有効にするには

ユーザがネットワーク接続定義(ユーザ名とパスワードの組み合わせ)を保存できるように設定し、システムを再移動するたびに接続が再確立されるようにすることができます。

ユーザがネットワーク接続を保存できるようにシステムを設定するのは、管理者の機能です。[管理者パスワードを設定し有効にしてある場合は](#)、この機能を適用する前にその入力が必要されます。

ネットワーク接続を保存できるようにするには...

1. [セットアップ] タブ > ツール ボタン  を押します。
2. [システム] を選択します。
3. [高度な設定] ボタンを押します。
4. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
5. [セキュリティ セットアップ] ボタンを押します。
6. [ネットワーク接続の保存] ボタンを押します。
7. [ネットワーク接続の保存] オプションボックスをオンにして、[OK] を押します。
8. [ネットワーク接続の保存] オプションをオンにすると、ダイアログに [ログイン時に再接続] オプションが表示されるようになります(オフの場合、非表示)。オプションにアクセスするには：
[フォルダ] ボタン  -> [ネットワーク] -> [ネットワーク接続の追加] を選択します。このダイアログと [ログイン時に再接続] オプションをネットワーク接続とともに使用する方法については、[「ネットワークフォルダにスキャンファイルを保存してアクセスするには」](#) を参照してください。
9. ネットワーク上の変更などにより、保存された接続が無効になった場合は、[フォルダ] ボタン -> [ネットワーク] -> [ネットワーク接続の削除] を使用して、手動で削除できます。

注記：システムにユーザ名とパスワードを保存すると、セ

セキュリティ上のリスクが増加します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)


→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

サポートとデバッグ用のデータファイルを作成および取得するには

システムには、エラーのデバッグに役立つデータファイルを作成する機能が含まれています。通常は、ユーザがこのファイルを作成し、サポート サービスに送ってデバッグを依頼します。

各種のデバッグ ファイル作成オプションにアクセスするには：

[セットアップ] タブ ->  -> [システム] -> [高度な設定]
-> [トラブルの解決]


[SCANdump]：問題のデバッグに使用するデータファイルを作成するには、スキャナ デバイスで [SCANdump] オプションを使用します。

[ファイルに出力]：プリント出力の問題をデバッグするには、[ファイルに出力] オプションを使用して、プリント出力データをファイルに出力します。

[画面の印刷]：画面のイメージを保存して、ユーザ インタフェース設定やエラー メッセージを伝えるには、[画面の印刷] ボタンを使用します。


[ログ ファイルのエクスポート]：サポートとデバッグ用のデータファイルを取得します。上記のオプションを使用した後、デバッグ出力ファイルは保護された領域にあるため、これにアクセスするにはエクスポートする必要があります。[ログ ファイルのエクスポート] ボタンを押し、D:\Images フォルダまたはUSBドライブにファイルをエクスポートします。

スキャナのデータファイル(スキャンダンプ)を作成するには...


1. [セットアップ] タブ ->  -> [システム] -> [高度な設定] -> [トラブルの解決] を押します。
2. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
3. [トラブルの解決] ボタンを押します。
4. [SCANdump] ボタンを押します。SCANdump プログラムが起動します。

5. SCANDumpプログラムは、ランププロファイルデータ、エラーログ、スキャナの動作についての統計情報を含むデータファイルscandump.conを作成します。
6. 【ログファイルのエクスポート】ボタンを押して、D:\ImagesフォルダまたはUSBドライブにファイルをエクスポートします。
7. D:\Imagesフォルダへのエクスポートを選択し、ファイルを別のコンピュータに移動して処理/送信する必要がある場合、パネルPCのD:\Imagesフォルダは、IP経由で別のコンピュータからアクセスできます。手順は「[別のコンピュータからの共有ファイルへのアクセス](#)」を参照してください。

印刷出力のデータファイルを作成するには...

1. [セットアップ] タブ ->  -> [システム] -> [高度な設定] -> [トラブルの解決] を押します。
2. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
3. [トラブルの解決] ボタンを押します。
4. [印刷 to ファイル] ボタンを押します。これにより、プリント時にプリンタではなくファイルにプリンタ データを送信するようにプログラムに伝えます。
5. プリンタ データはファイルD:\Images¥print.prnに保存されます。
6. ファイルprint.prnを別のコンピュータに移動して処理/送信する必要がある場合、パネルPCのD:\Imagesフォルダは、IP経由で別のコンピュータからアクセスできます。手順は「[別のコンピュータからの共有ファイルへのアクセス](#)」を参照してください。

画面イメージファイルを作成するには...

1. [セットアップ] タブ ->  -> [システム] -> [高度な設定] -> [トラブルの解決] を押します。
2. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パス

ワードを入力します。

3. [トラブルの解決] ボタンを押します。
4. [画面の印刷] ボタンを押します。
5. 画面右上の [PrnScn] ボタンを有効にし、画面のスナップショットを連続的に作成できます。
6. 画面イメージはフォルダD:\Images\に保存されます。
7. ファイルを別のコンピュータに移動して処理/送信する必要がある場合、パネルPCのD:\Imagesフォルダは、IP経由で別のコンピュータからアクセスできます。手順は「[別のコンピュータからの共有ファイルへのアクセス](#)」を参照してください。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

スキャンして電子メール送信するには

ファイルをスキャンするとき ([ファイル] タブ)、電子メールの添付ファイルとしてスキャンを作成できます。

スキャンして電子メール送信する機能を使用する前に、[送信する電子メールの情報](#)をシステムに設定する必要があります。

スキャンして電子メール送信するには


1. [スキャン] タブを選択します。
2. スキャン設定を行います。
3. [ファイル フォルダ] ボタンを選択します。
4. [電子メール] オプションを選択します。

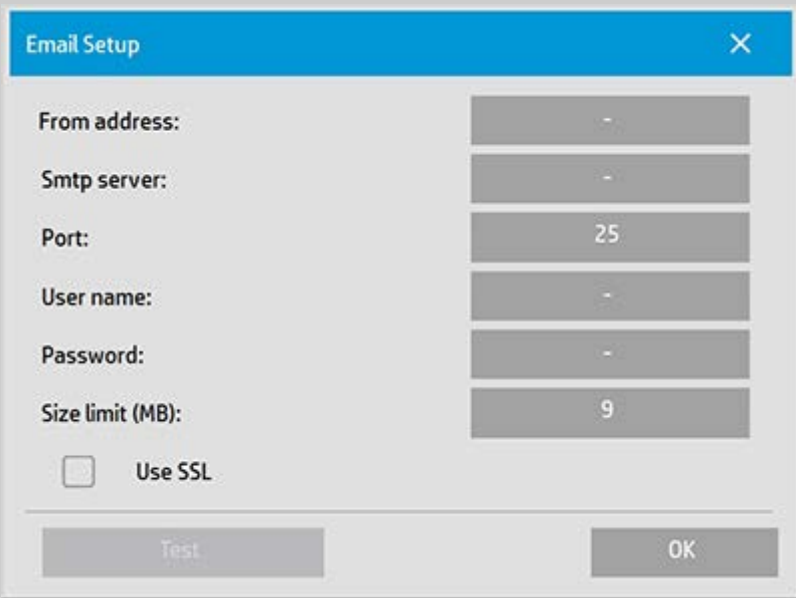
The screenshot shows a dialog box titled "File Destination" with a close button (X) in the top right corner. It has two radio buttons: "Folder" (unselected) and "Email" (selected). Below the radio buttons are three text input fields labeled "Address:", "Subject:", and "Message:". An "OK" button is located at the bottom right of the dialog.

5. 宛先電子メールアドレス、[件名] 行、電子メール受信者へのメッセージを入力します。
6. [OK] を押して適用します。

送信電子メールを設定するには

スキャンして電子メール送信する機能を有効にするには、送信電子メールアカウントを設定する必要があります。

1. [セットアップ] タブを押します。
2.  > [システム] > [高度な設定] を選択します。
3. [電子メール設定] ボタンを押します。



From address:	-
Smtp server:	-
Port:	25
User name:	-
Password:	-
Size limit (MB):	9

Use SSL

Test OK

4. 電子メールのアカウント情報を入力します。
5. [テスト] ボタンを押して、設定を確認します。

注記：いずれかの設定が不明な場合は、システム管理者に問い合わせてください。





HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)



→ [アルファベット索引](#)

複数ページを単一ファイルにスキャンするには

マルチページスキャン機能では、複数のスキャン結果を1つのPDFファイルに結合できます。1枚の原稿のスキャンで使用可能なすべてのイメージ設定、プレビューおよび拡張機能のオプションを、マルチページ機能を使用しているときも使用できます。

マルチページスキャンを有効にするには、スキャンファイルの【形式】を [PDF マルチページ] に設定する必要があります。

複数ページを単一のPDFファイルに結合するには

1. セット内の最初の原稿をスキャナに挿入します。
2. [スキャン] タブを押します。
3. [スキャン] タブ ダイアログでスキャンの設定を行い、保存先フォルダを設定します。
4. [ファイル名] ボタンを押してファイル名を設定します。
5. [ファイル形式] ボタンを押し、形式として [PDF マルチページ] を選択します。
6. ページを追加ボタン  を押します。
原稿は1枚の場合と同様に入力(キャプチャ)されますが、ファイルや保存先フォルダーに保存されるのではなく、システム内部に一時的に保存されます。
7. セットに属する次の原稿を挿入して、ページを追加ボタン  を押します。マルチページファイル内のすべての原稿がスキャンされるまで、この作業を繰り返します。

マルチページファイル内のそれぞれのスキャンは、1枚の原稿をスキャンする場合と同様に設定を調節できます。

7. [スキャンを保存] ボタンを押してジョブを保存します。



注記：マルチページセッション中にキャンセル ボタン



を押すことで、このセッションをいつでもキャンセル

ルできます。
キャンセル ボタンを押すと、追加された最後のページを削除するか、マルチページセッション全体を削除するかを選択するオプションが提示されます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)


→ [アルファベット索引](#)

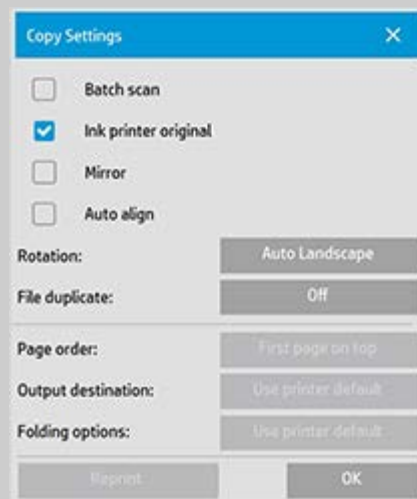
出力を 90°回転させる方法

[90 度右] オプションは、コピー出力を右側に 90 度回転させる場合に利用できます。このオプションは、たとえば、折り機などで、出力を回転させる場合に役立ちます。

注記：イメージを回転させる処理は多くの時間がかかり、またリソースも消費します。したがって、このオプションは、出力を 90°回転させる必要がある場合に限って使用してください。

...出力の 90°回転

1. [コピー] タブを選択します。
2. [コピー] タブで  を押すと、次のダイアログが表示されます。



3. [回転] ボタンを押し、[90 度右] を選択します。
[OK] を押して設定を保存し、終了します。
4. [90 度右] を有効にすると、スキャンした入力から、強制的に右側に 90°回転させた出力が生成されます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P



各種出力オプションの設定

HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)


→ [問題の解決...](#)

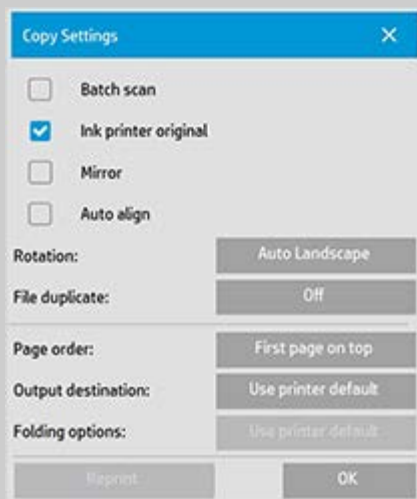
→ [アルファベット索引](#)

出力オプションは、印刷するコピーを高度なオプションによって制御する場合に利用できます。

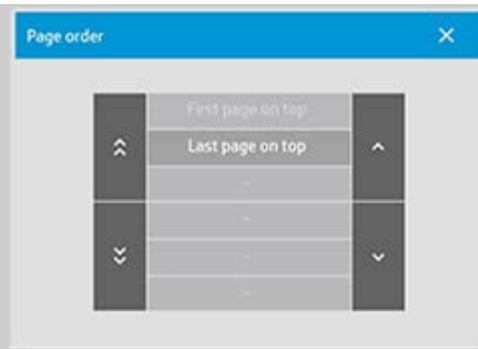
注記：利用できる出力オプションは、システムにインストールされたプリンタモデルによって異なります。

...ページ順序の設定

1. [コピー] タブを選択します。
2. [コピー] タブで  を押すと、次のダイアログが表示されます。




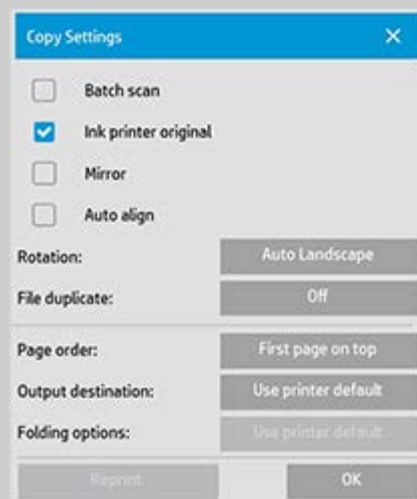
3. [ページ順序] ボタンを押して、出力を印刷する順序を選択します。



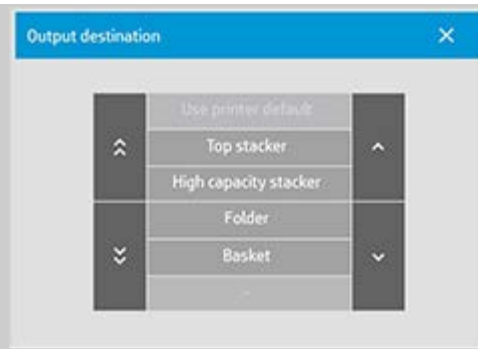
注記：利用できるページ順序オプションは、システムにインストールされたプリンタ モデルによって異なります。

...出力先の設定

1. [コピー] タブを選択します。
2. [コピー] タブで  を押すと、次のダイアログが表示されます。




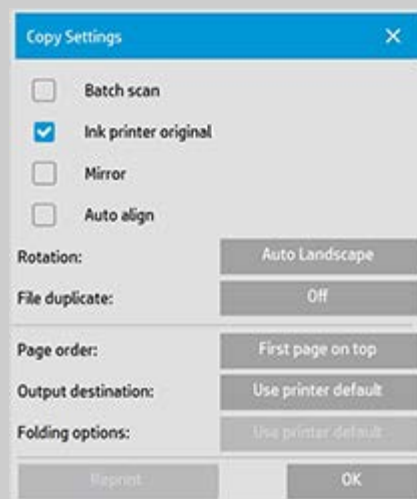
3. [出力先] ボタンを押して、どの出力先を使用するかを選択します。



注記：利用できる出力先オプションは、システムにインストールされたプリンタ モデルによって異なります。

...折り畳みオプションの設定

1. [コピー] タブを選択します。
2. [コピー] タブで  を押すと、次のダイアログが表示されます。



3. [出力先] ボタンを押して、[フォルダ] を選択します。
出力先を選択すると、[折り畳みオプション] ボタンが利用可能になります。



4. [折り畳みオプション] ボタンを押して、使用する折り畳みタイプを選択します。



注記：利用できる折り畳みオプションは、システムにインストールされたプリンタモデルによって異なります。





USB の無効化

HP Pro スキャナ


→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [アルファベット索引](#)

USB 記憶デバイスを無効にするオプションは、USB で接続された記憶デバイスへのスキャンを抑制する場合に利用できます。

...USB 記憶デバイスの無効化

1. [セットアップ] タブ > ツール ボタン  を押します。
2. [システム] を選択します。
3. [高度な設定] ボタンを押します。
4. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
5. [セキュリティ セットアップ] ボタンを押します。
6. [USB 記憶デバイスの無効化] ボタンを押します。
7. [USB 記憶デバイスの無効化] オプションボックスをオンにして、[OK] を押します。
8. [USB 記憶デバイスの無効化] オプションボックスを選択すると、[ファイル管理](#)、または[ファイル保存先](#)を使用するときに、システムによって USB 記憶デバイスは表示されなくなります。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P.



デフォルトの設定方法


HP Pro スキャナ

→ [使用方法...](#)


→ [問題の解決...](#)

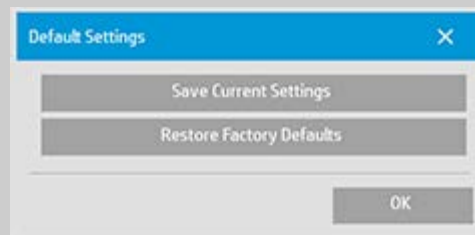
→ [アルファベット索引](#)

デフォルト設定の変更は、ある一定期間に限り同じ設定を使用する場合に利用できます。

リセットボタン  をクリックすると、保存されたデフォルト設定が初期の状態に戻されます。


...現在の設定を新しいデフォルトとして保存

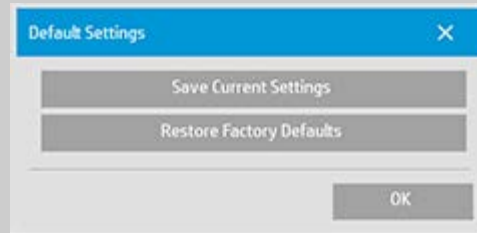
1. [セットアップ] タブ > ツール ボタン  を押します。
2. [システム] を選択します。
3. [高度な設定] ボタンを押します。
4. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
5. [デフォルト設定] ボタンを押します。
6. [現在の設定の保存] ボタンを押します。



7. 設定を保存するかどうかを [はい] または [いいえ] で確認します。

...工場出荷時のデフォルトの復元

1. [セットアップ] タブ > ツール ボタン  を押しま
す。
2. [システム] を選択します。
3. [高度な設定] ボタンを押します。
4. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パス
ワードを入力します。
5. [デフォルト設定] ボタンを押します。
6. [工場出荷時のデフォルトの復元] ボタンを押します。



7. 工場出荷時のデフォルトに戻すかどうかを [はい] または
[いいえ] で確認します。

<p class="BodyfirstinBlock"> </p>



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© Copyright 2012, 2015 HP Development Company, L.P